

第7章 高齢者の生活に関する調査

第7章 高齢者の生活に関する調査

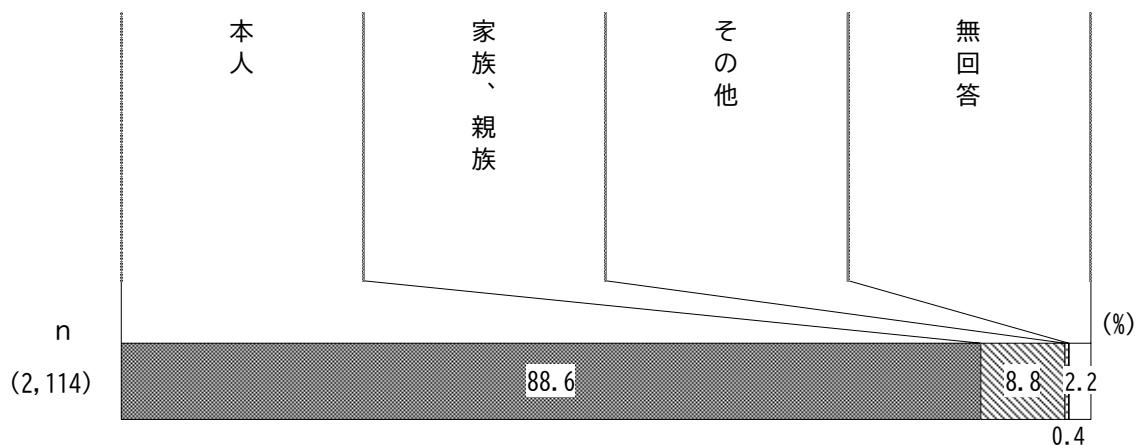
1. 調査票の記入者と居住場所について

(1) 調査票の記入者

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

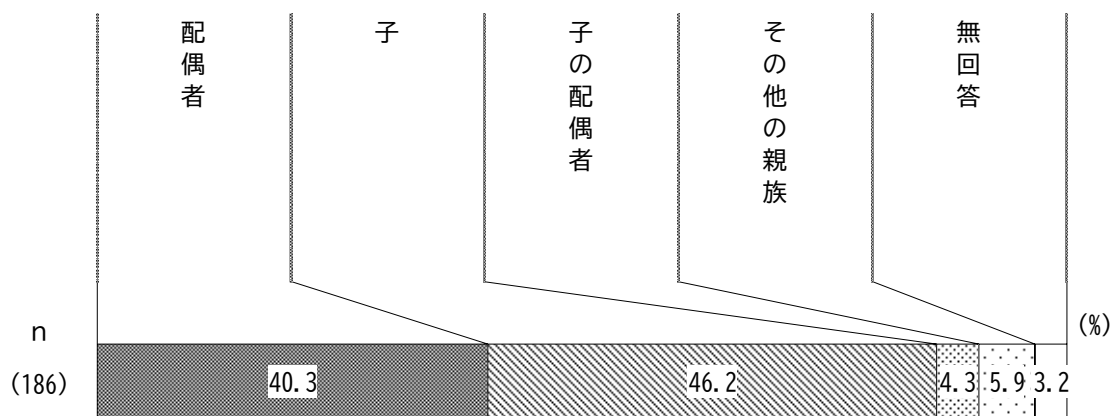
調査票の記入者は、「本人」が88.6%で最も高く、次いで「家族、親族」が8.8%となっている。

図表7-1-1 調査票の記入者



家族、親族の内訳は、「子」が46.2%で最も高く、次いで「配偶者」が40.3%、「子の配偶者」が4.3%、「その他の親族」が5.9%となっている。

図表7-1-2 家族、親族の内訳

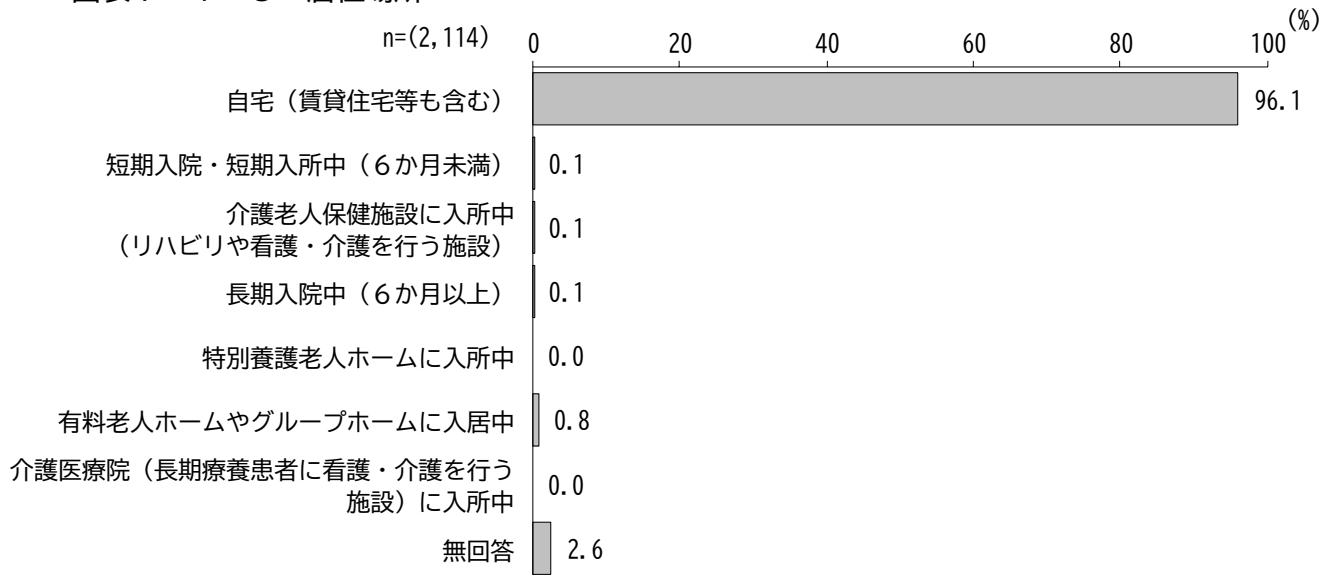


(2) 現在の居住場所

問2 あなたは、現在どちらにいらっしゃいますか。(○は1つ)

現在の居住場所は、「自宅（賃貸住宅等も含む）」が96.1%で最も高く、「有料老人ホームやグループホームに入居中」が0.8%となっている。

図表7-1-3 居住場所

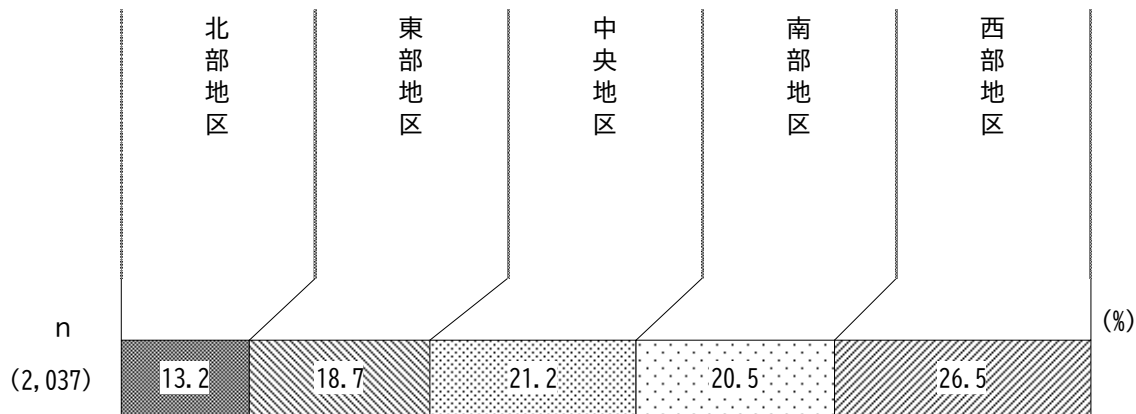


【以下の設問以降は、問2で「1. 自宅」「2. 短期入院・短期入所中(6か月未満)」「3. 介護老人保健施設に入所中(リハビリや看護・介護を行う施設)」と回答した方におたずねします。】

(3) 居住地区

居住地区は、「西部地区」が26.5%で最も高く、次いで「中央地区」が21.2%、「南部地区」が20.5%、「東部地区」が18.7%となっている。

図表7-1-4 居住地区



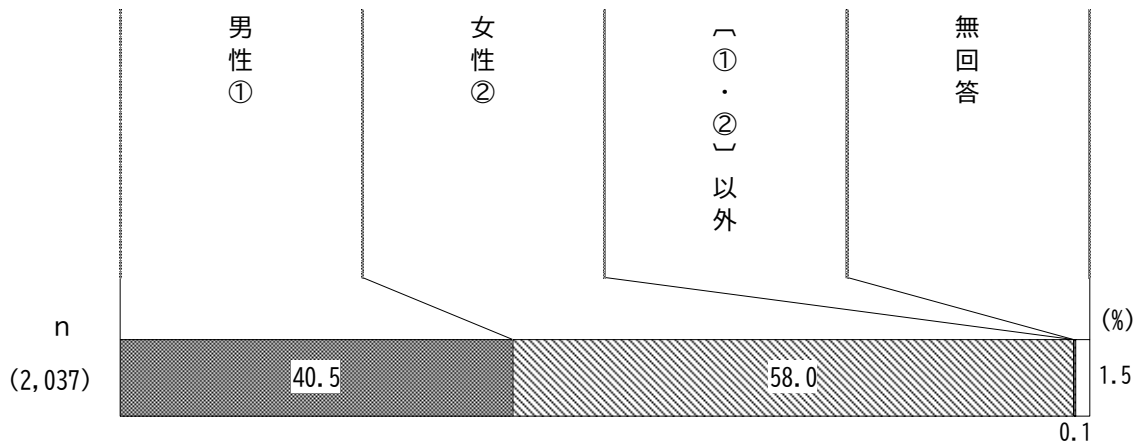
2. 本人や家族の状況について

(1) 性別

問3 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

性別は、「男性」が40.5%、「女性」が58.0%となっている。

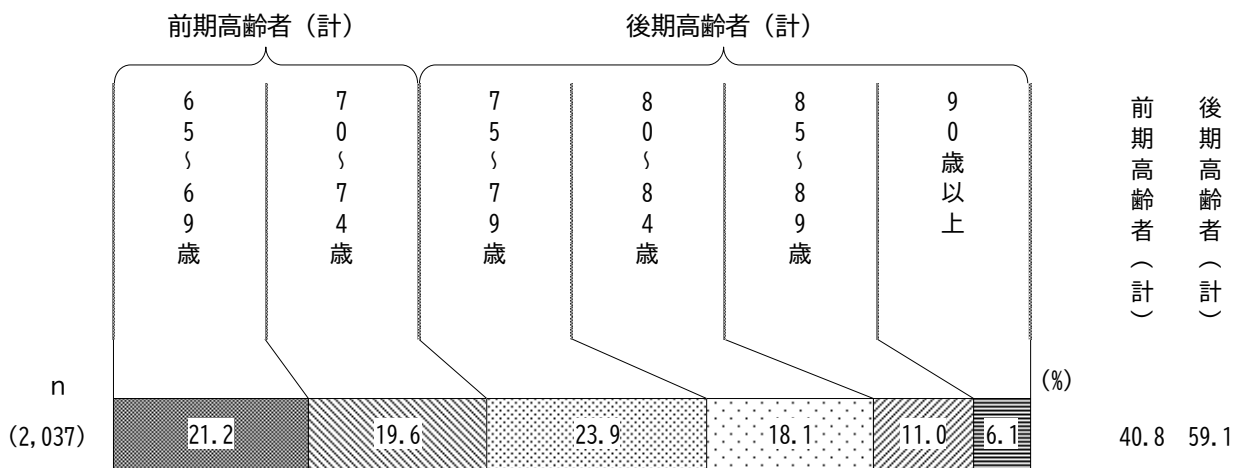
図表7-2-1 性別



(2) 年齢

年齢は、「75～79歳」が23.9%で最も高く、次いで「65～69歳」が21.2%、「70～74歳」が19.6%、「80～84歳」が18.1%となっている。また、65歳から74歳までの「前期高齢者（計）」が40.8%、75歳以上の「後期高齢者（計）」が59.1%となっている。

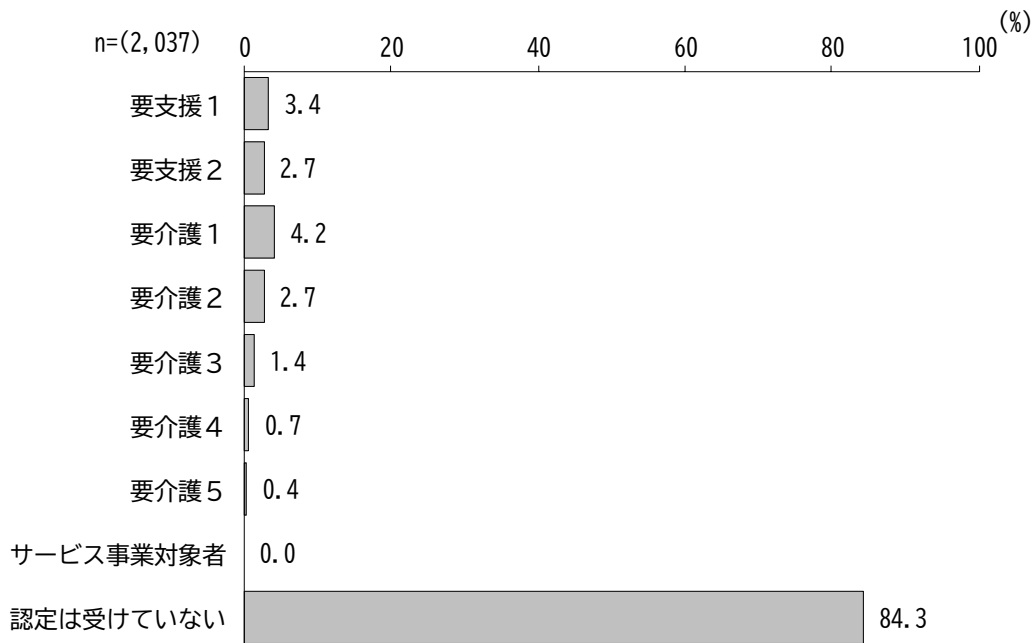
図表7-2-2 年齢



(3) 要介護認定の状況

要介護認定の状況は、「認定は受けていない」が84.3%で最も高く、次いで「要介護1」が4.2%、「要支援1」が3.4%、「要支援2」と「要介護2」が2.7%となっている。

図表7-2-3 要介護認定の状況



(4) 家族構成

問4 あなたの家族構成を教えてください。(○は1つ)

家族構成は、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が35.5%で最も高く、次いで「子供との同居（子供は64歳以下）」が24.7%、「ひとり暮らし」が24.2%となっている。

図表7-2-4 家族構成

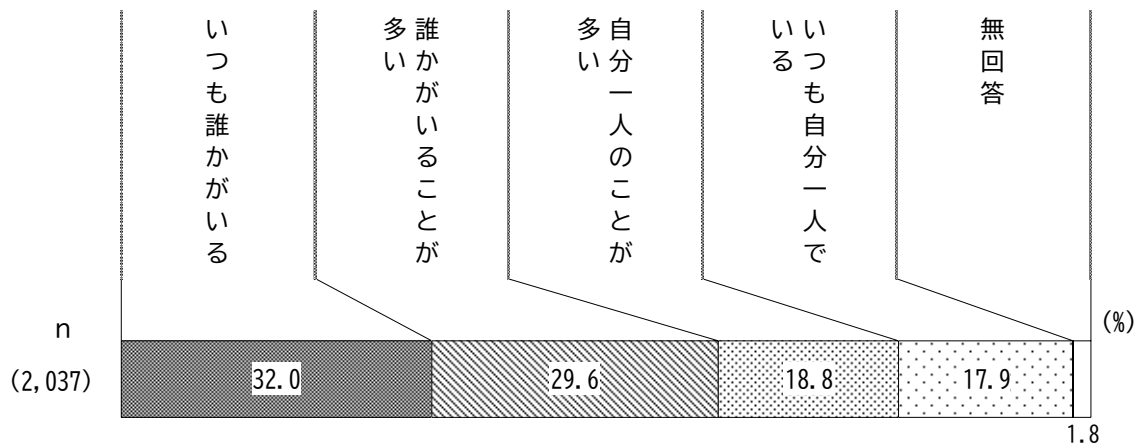


(5) 日中の家族の有無

問5 あなたが日中に家にいるとき、ご家族（同居・別居関係なく）はいらっしゃいますか。
 (〇は1つ)

日中の家族の有無は、「いつも誰かがいる」が32.0%で最も高く、次いで「誰かがいることが多い」が29.6%、「自分一人のことが多い」が18.8%、「いつも自分一人である」が17.9%となっている。

図表7-2-5 日中の家族の有無



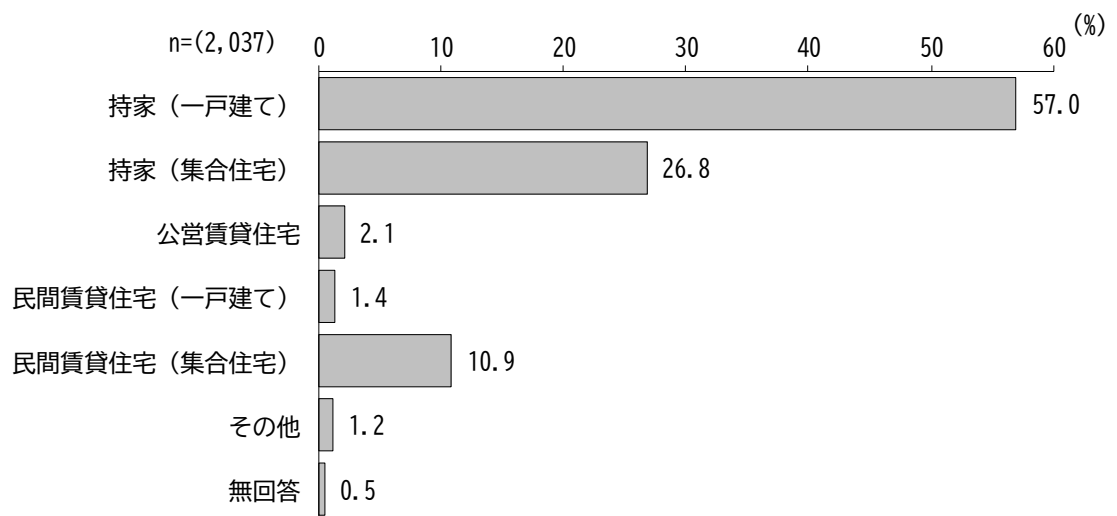
3. 住まいについて

(1) 現在の住まいの種類

問6 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

現在の住まいの種類は、「持家（一戸建て）」が57.0%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が26.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が10.9%、「公営賃貸住宅」が2.1%となっている。また、「持家（一戸建て）」「持家（集合住宅）」を合わせた割合は83.8%となっている。

図表7-3-1 現在の住まいの種類



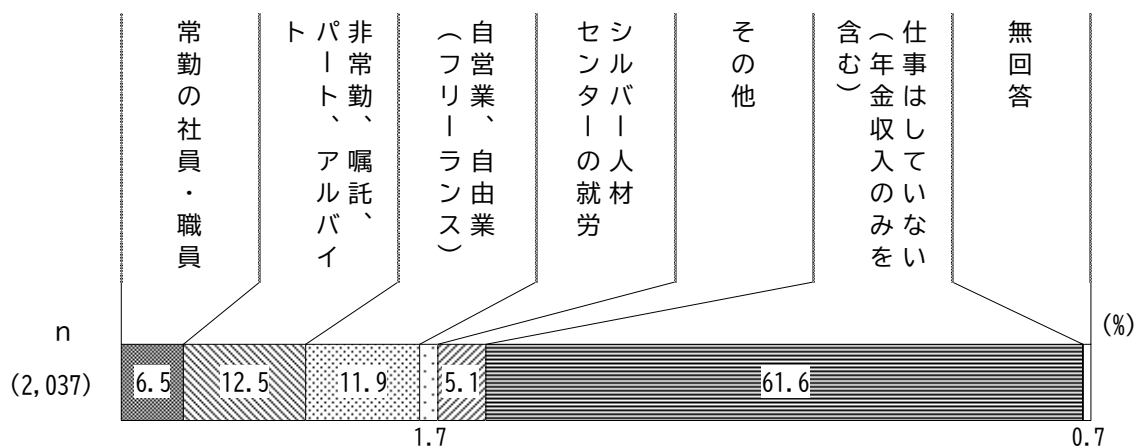
4. 家計について

(1) 職業

問7 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

職業は、「仕事はしていない（年金収入のみを含む）」が61.6%で最も高くなっている。就労している人の職業では、割合の高い順に「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が12.5%、「自営業、自由業（フリーランス）」が11.9%、「常勤の社員・職員」が6.5%となっている。

図表7-4-1 職業

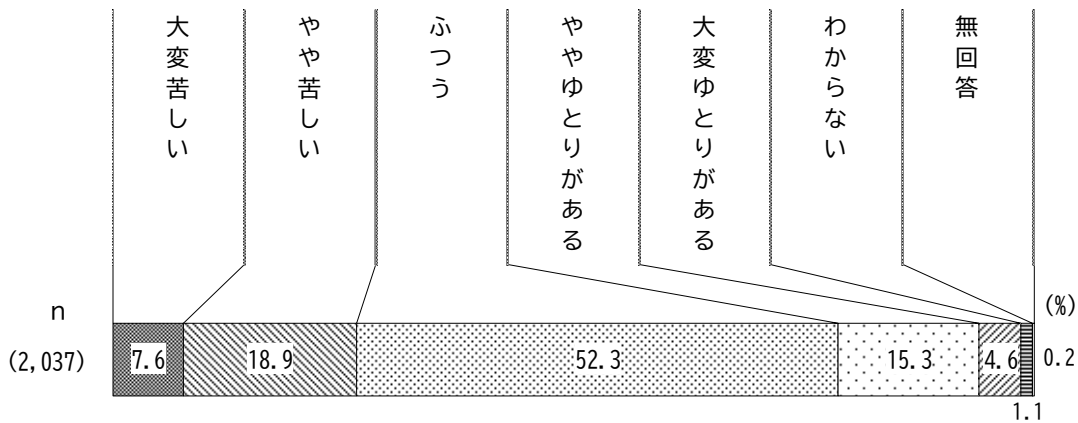


(2) 現在の暮らしの状況

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況は、「ふつう」が52.3%で最も高く、次いで「やや苦しい」が18.9%、「ややゆとりがある」が15.3%、「大変苦しい」が7.6%となっている。

図表7-4-2 現在の暮らしの状況



職業別にみると、「仕事はしていない」を含むすべての職業で「ふつう」が最も高くなっている。また、「ややゆとりがある」は「常勤の社員・職員」で26.5%、「やや苦しい」は「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」で23.9%となっている。

図表7-4-3 現在の暮らしの状況 (職業別)

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	わからない	無回答	
全体	2037	155	384	1066	312	93	22	5	
	100.0	7.6	18.9	52.3	15.3	4.6	1.1	0.2	
職業	常勤の社員・職員	132	7	17	58	35	14	1	-
		100.0	5.3	12.9	43.9	26.5	10.6	0.8	-
	非常勤、嘱託、パート、アルバイト	255	17	61	135	31	8	3	-
		100.0	6.7	23.9	52.9	12.2	3.1	1.2	-
	自営業、自由業 (フリーランス)	243	14	31	125	47	25	1	-
		100.0	5.8	12.8	51.4	19.3	10.3	0.4	-
	シルバー人材センターの就労	34	1	8	19	6	-	-	-
		100.0	2.9	23.5	55.9	17.6	-	-	-
その他	104	7	13	51	23	8	1	1	
	100.0	6.7	12.5	49.0	22.1	7.7	1.0	1.0	
仕事はしていない (年金収入のみを含む)	1255	109	252	669	168	38	16	3	
	100.0	8.7	20.1	53.3	13.4	3.0	1.3	0.2	
無回答	14	-	2	9	2	-	-	1	
	100.0	-	14.3	64.3	14.3	-	-	7.1	

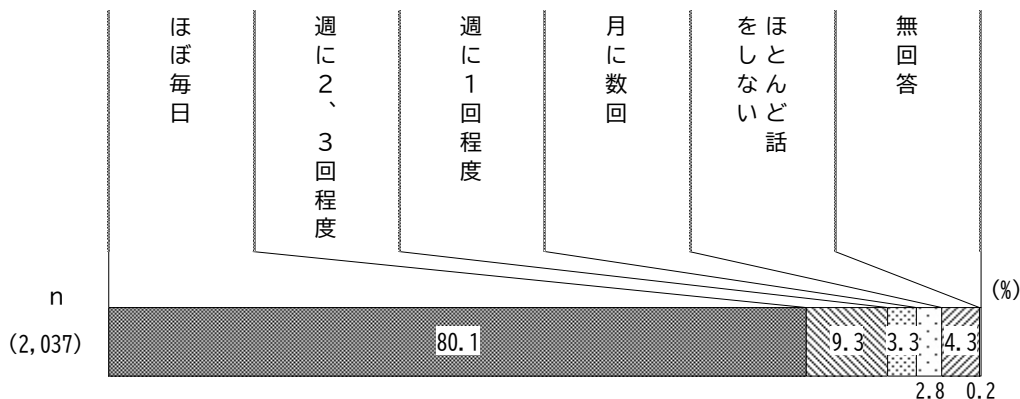
5. 近隣や知人・友人とのお付き合いについて

(1) 人と話す頻度

問9 あなたは、ふだんどの程度、人（同居の家族を含む）と話をしますか。（○は1つ）

人と話す頻度は、「ほぼ毎日」が80.1%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が9.3%、「ほとんど話をしない」が4.3%、「週に1回程度」が3.3%となっている。

図表7-5-1 人と話をする頻度



家族構成別にみると、すべての家族構成で「ほぼ毎日」が最も高くなっており、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」「子供との同居（子供は64歳以下）」で9割以上となっている。一方、「ひとり暮らし」では「ほぼ毎日」は47.5%となっており、「週に2、3回程度」の回答が他の家族構成と比べて高い。

図表7-5-2 人と話をする頻度（家族構成別）

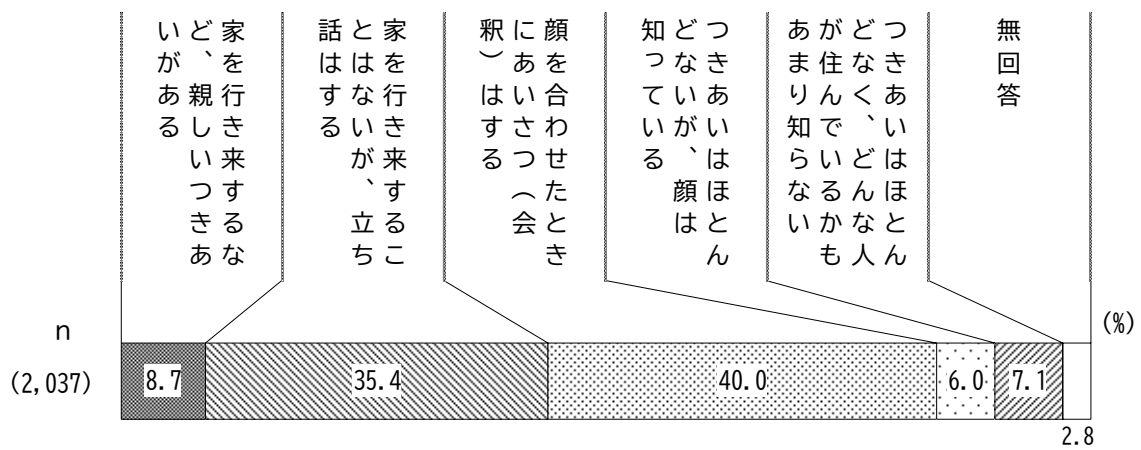
項目		(上段:回答数、下段:%)						
		調査数 (n)	ほぼ毎日	週に2、3回程度	週に1回程度	月に数回	ほとんど話をしない	無回答
全体		2,037	1631	190	67	58	87	4
		100.0	80.1	9.3	3.3	2.8	4.3	0.2
家族構成	ひとり暮らし	493	234	121	42	43	52	1
		100.0	47.5	24.5	8.5	8.7	10.5	0.2
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723	664	29	8	7	15	-
		100.0	91.8	4.0	1.1	1.0	2.1	-
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62	57	4	-	-	1	-
		100.0	91.9	6.5	-	-	1.6	-
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62	54	3	2	2	1	-
		100.0	87.1	4.8	3.2	3.2	1.6	-
子供との同居 (子供は64歳以下)	504	455	20	11	5	11	2	
	100.0	90.3	4.0	2.2	1.0	2.2	0.4	
その他	144	127	8	4	1	4	-	
	100.0	88.2	5.6	2.8	0.7	2.8	-	
無回答	49	40	5	-	-	3	1	
	100.0	81.6	10.2	-	-	6.1	2.0	

(2) 隣近所の人との交流

問10 あなたは、ふだん隣近所の人とどのような交流がありますか。(○は1つ)

隣近所の人との交流は、「顔を合わせたときにあいさつ（会釈）はする」が40.0%で最も高く、次いで「家を行き来することはないが、立ち話はする」が35.4%、「家を行き来するなど、親しいつきあいがある」が8.7%となる一方、「つきあいはほとんどなく、どんな人が住んでいるかもあまり知らない」が7.1%となっている。

図表7-5-3 隣近所の人との交流



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別でみると、「顔を合わせたときにあいさつ（会釈）はする」（男性50.4%、女性32.6%）は男性が女性より17.8ポイント高く、「家を行き来することはないが、立ち話はする」（男性26.6%、女性41.7%）は女性が男性より15.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、男性ではすべての年齢で「顔を合わせたときにあいさつ（会釈）はする」が最も高くなっており、女性では「65～69歳」「90歳以上」を除く年齢で「家を行き来することはないが、立ち話はする」が最も高くなっている。

図表7-5-4 隣近所の人との交流（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	親 し い つ つ き あ い が あ る	家 を 行 き 来 す る な ど	な い が 行 き 来 す る こ と は あ る	あ い さ つ を し る こ と は あ る	顔 を あ い ま つ て は い る	顔 を あ い ま つ て は い る こ と は あ る	り ん つ 知 ら な い 住 ん ど の か も あ ま	無 回 答
全体	2,037 100.0	177 8.7	722 35.4	815 40.0	122 6.0	144 7.1	57 2.8		
性別・年齢別	男性全体	824 100.0	36 4.4	219 26.6	415 50.4	70 8.5	67 8.1	17 2.1	
	男性 65～69歳	184 100.0	6 3.3	46 25.0	89 48.4	22 12.0	19 10.3	2 1.1	
	男性 70～74歳	173 100.0	7 4.0	39 22.5	88 50.9	19 11.0	15 8.7	5 2.9	
	男性 75～79歳	214 100.0	10 4.7	57 26.6	113 52.8	14 6.5	16 7.5	4 1.9	
	男性 80～84歳	139 100.0	6 4.3	47 33.8	66 47.5	9 6.5	9 6.5	2 1.4	
	男性 85～89歳	81 100.0	5 6.2	20 24.7	46 56.8	3 3.7	5 6.2	2 2.5	
	男性 90歳以上	33 100.0	2 6.1	10 30.3	13 39.4	3 9.1	3 9.1	2 6.1	
	女性全体	1,181 100.0	139 11.8	493 41.7	385 32.6	50 4.2	75 6.4	39 3.3	
	女性 65～69歳	236 100.0	28 11.9	74 31.4	105 44.5	9 3.8	20 8.5	-	
	女性 70～74歳	220 100.0	21 9.5	105 47.7	70 31.8	7 3.2	12 5.5	5 2.3	
	女性 75～79歳	267 100.0	31 11.6	124 46.4	76 28.5	13 4.9	11 4.1	12 4.5	
	女性 80～84歳	226 100.0	28 12.4	103 45.6	55 24.3	10 4.4	17 7.5	13 5.8	
	女性 85～89歳	143 100.0	17 11.9	59 41.3	48 33.6	8 5.6	6 4.2	5 3.5	
	女性 90歳以上	89 100.0	14 15.7	28 31.5	31 34.8	3 3.4	9 10.1	4 4.5	
	無回答	32 100.0	2 6.3	10 31.3	15 46.9	2 6.3	2 6.3	1 3.1	

健康状態別にみると、「家を行き来することはないが、立ち話はする」は「とてもよい」で41.4%と最も高くなっている。「顔を合わせたときにあいさつ（会釈）はする」は「とてもよい」と「無回答」を除く健康状態でそれぞれ最も高くなっており、いずれも4割以上となっている。

図表7-5-5 隣近所の人との交流（健康状態別）

(上段:回答数、下段:%)

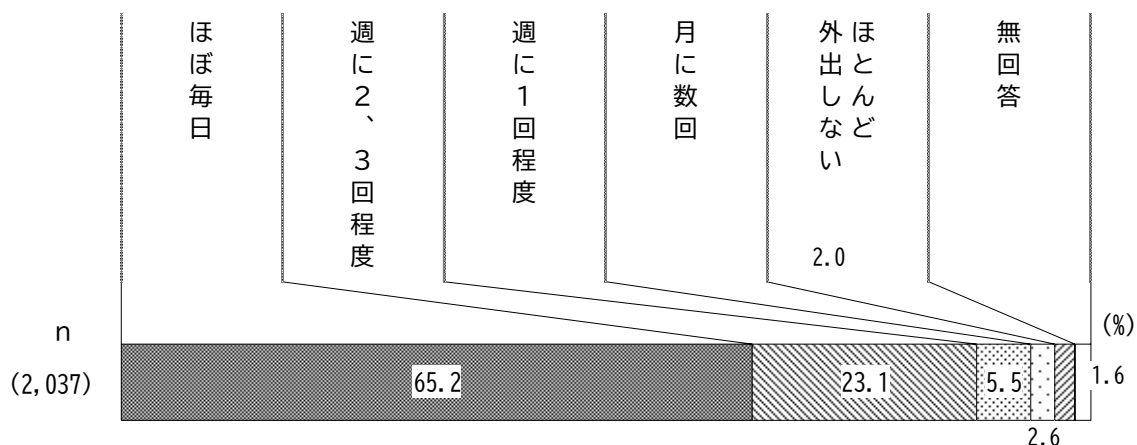
項目	調査数 (n)	親	家	な	あ	顔	顔	り	無
		しい	を行	い	顔を	つ	ん	回	
		い	き	が	を	は	つ	な	答
		つ	来	が	合	き	き	人	
		き	来	を	わ	あ	あ	が	
		あ	す	立	せ	い	い	住	
		い	る	ち	た	ほ	ほ	ん	
		が	な	す	と	と	と	ほ	
		あ	ど	話	き	ん	い	ど	
		る	、	は	に	ど	か	な	
				す	は	な	も	あ	
				は	す	い	ま	ど	
				す	る	が			
全体	2,037 100.0	177 8.7	722 35.4	815 40.0	122 6.0	144 7.1	57 2.8		
健康状態	とてもよい	222 100.0	20 9.0	92 41.4	82 36.9	12 5.4	13 5.9	3 1.4	
	まあよい	619 100.0	54 8.7	229 37.0	257 41.5	36 5.8	28 4.5	15 2.4	
	ふつう	786 100.0	75 9.5	280 35.6	315 40.1	40 5.1	55 7.0	21 2.7	
	あまりよくない	311 100.0	18 5.8	101 32.5	126 40.5	24 7.7	33 10.6	9 2.9	
	よくない	62 100.0	3 4.8	8 12.9	26 41.9	7 11.3	13 21.0	5 8.1	
	無回答	37 100.0	7 18.9	12 32.4	9 24.3	3 8.1	2 5.4	4 10.8	

(3) 近所への外出頻度

問11 あなたは、近所へ外出することはどのくらいありますか。(○は1つ)

近所への外出頻度は、「ほぼ毎日」が65.2%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が23.1%、「週に1回程度」が5.5%となっており、93.8%が週1回以上の外出を行っている。

図表7-5-6 近所への外出頻度



第7章 高齢者の生活に関する調査

年齢別にみると、男性ではすべての年齢で「ほぼ毎日」が最も高く、「65～69歳」「75～79歳」で7割以上となっている。女性では年齢が上がるほど「ほぼ毎日」の割合は低くなり、「90歳以上」で25.8%と最も低くなっている。一方、「週に2、3回程度」は年齢が上がるほど高くなっており、「90歳以上」で43.8%と最も高くなっている。

図表7-5-7 外出頻度（性別・年齢別）

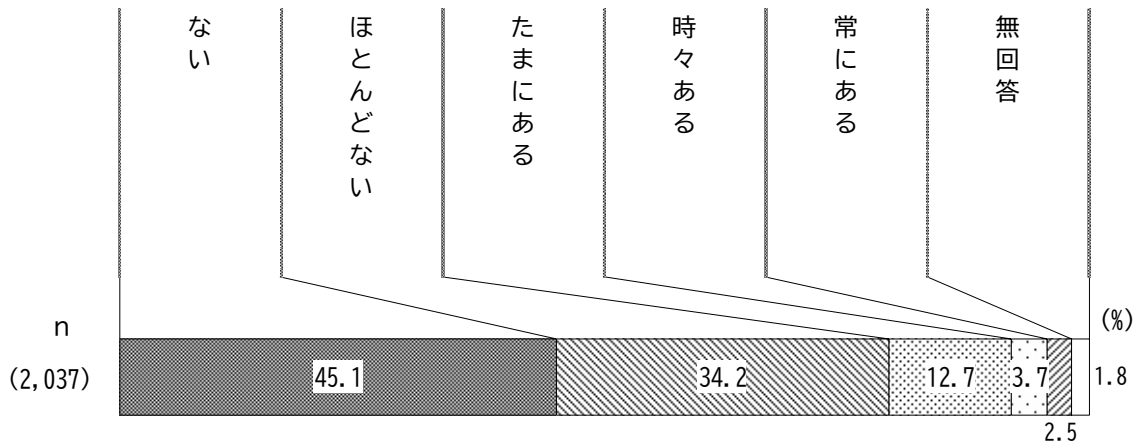
		(上段:回答数、下段:%)						
項目	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に2、3回程度	週に1回程度	月に数回	ほとんど外出しない	無回答	
全体	2,037	1328	471	112	52	41	33	
	100.0	65.2	23.1	5.5	2.6	2.0	1.6	
性別・年齢別	男性全体	824	565	168	41	26	13	11
		100.0	68.6	20.4	5.0	3.2	1.6	1.3
	男性 65～69歳	184	142	27	6	4	3	2
		100.0	77.2	14.7	3.3	2.2	1.6	1.1
	男性 70～74歳	173	120	38	7	3	1	4
		100.0	69.4	22.0	4.0	1.7	0.6	2.3
	男性 75～79歳	214	153	41	10	5	2	3
		100.0	71.5	19.2	4.7	2.3	0.9	1.4
	男性 80～84歳	139	84	36	11	5	2	1
		100.0	60.4	25.9	7.9	3.6	1.4	0.7
	男性 85～89歳	81	49	16	4	7	4	1
		100.0	60.5	19.8	4.9	8.6	4.9	1.2
	男性 90歳以上	33	17	10	3	2	1	-
		100.0	51.5	30.3	9.1	6.1	3.0	-
	女性全体	1,181	747	294	67	25	27	21
		100.0	63.3	24.9	5.7	2.1	2.3	1.8
	女性 65～69歳	236	186	38	4	5	1	2
		100.0	78.8	16.1	1.7	2.1	0.4	0.8
女性 70～74歳	220	161	45	7	3	2	2	
	100.0	73.2	20.5	3.2	1.4	0.9	0.9	
女性 75～79歳	267	181	61	12	2	3	8	
	100.0	67.8	22.8	4.5	0.7	1.1	3.0	
女性 80～84歳	226	129	66	15	5	5	6	
	100.0	57.1	29.2	6.6	2.2	2.2	2.7	
女性 85～89歳	143	67	45	15	7	6	3	
	100.0	46.9	31.5	10.5	4.9	4.2	2.1	
女性 90歳以上	89	23	39	14	3	10	-	
	100.0	25.8	43.8	15.7	3.4	11.2	-	
無回答	32	16	9	4	1	1	1	
	100.0	50.0	28.1	12.5	3.1	3.1	3.1	

(4) 孤独感

問12 あなたは、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

孤独感は、「ない」が45.1%で最も高く、次いで「ほとんどない」が34.2%となっている。「たまにある」「時々ある」「常にある」を合わせると18.9%となっている。

図表7-5-8 孤独感



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別でみると、男女で顕著な差は見られない。

年齢別にみると、男性の「70～74歳」を除く年齢と、女性のすべての年齢で「ない」が最も高くなっている。また、男性の「70～74歳」では「ほとんどない」が42.2%で最も高くなっている。

図表7-5-9 孤独感（性別・年齢別）

		(上段:回答数、下段:%)						
項目	調査数 (n)	ない	ほとんどない	たまにある	時々ある	常にある	無回答	
全体	2,037	919	697	258	76	50	37	
	100.0	45.1	34.2	12.7	3.7	2.5	1.8	
性別・年齢別	男性全体	824	392	294	81	25	17	15
		100.0	47.6	35.7	9.8	3.0	2.1	1.8
	男性 65～69歳	184	88	72	17	3	2	2
		100.0	47.8	39.1	9.2	1.6	1.1	1.1
	男性 70～74歳	173	66	73	22	3	5	4
		100.0	38.2	42.2	12.7	1.7	2.9	2.3
	男性 75～79歳	214	116	72	14	5	3	4
		100.0	54.2	33.6	6.5	2.3	1.4	1.9
	男性 80～84歳	139	69	38	15	10	3	4
		100.0	49.6	27.3	10.8	7.2	2.2	2.9
	男性 85～89歳	81	38	26	10	3	3	1
		100.0	46.9	32.1	12.3	3.7	3.7	1.2
	男性 90歳以上	33	15	13	3	1	1	-
		100.0	45.5	39.4	9.1	3.0	3.0	-
	女性全体	1,181	517	387	174	50	32	21
		100.0	43.8	32.8	14.7	4.2	2.7	1.8
	女性 65～69歳	236	108	77	33	9	9	-
		100.0	45.8	32.6	14.0	3.8	3.8	-
女性 70～74歳	220	92	83	31	9	3	2	
	100.0	41.8	37.7	14.1	4.1	1.4	0.9	
女性 75～79歳	267	121	86	36	12	4	8	
	100.0	45.3	32.2	13.5	4.5	1.5	3.0	
女性 80～84歳	226	103	72	27	9	8	7	
	100.0	45.6	31.9	11.9	4.0	3.5	3.1	
女性 85～89歳	143	57	44	25	7	6	4	
	100.0	39.9	30.8	17.5	4.9	4.2	2.8	
女性 90歳以上	89	36	25	22	4	2	-	
	100.0	40.4	28.1	24.7	4.5	2.2	-	
無回答	32	10	16	3	1	1	1	
	100.0	31.3	50.0	9.4	3.1	3.1	3.1	

家族構成別にみると、一人暮らしを除く家族構成で、孤独感についてはいずれも「ない」が最も高くなっている。一方、「ひとり暮らし」では「ない」が27.4%、「ほとんどない」が31.8%となっており、「たまにある」「時々ある」「常にある」は他の家族構成と比較して高くなっている。

図表7-5-10 孤独感（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

項目		調査数 (n)	ない	ほとんどない	たまにある	時々ある	常にある	無回答
全体		2,037 100.0	919 45.1	697 34.2	258 12.7	76 3.7	50 2.5	37 1.8
家族構成	ひとり暮らし	493 100.0	135 27.4	157 31.8	122 24.7	37 7.5	30 6.1	12 2.4
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	378 52.3	251 34.7	61 8.4	18 2.5	7 1.0	8 1.1
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	35 56.5	23 37.1	1 1.6	2 3.2	-	1 1.6
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	35 56.5	16 25.8	6 9.7	4 6.5	1 1.6	-
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	253 50.2	175 34.7	50 9.9	8 1.6	8 1.6	10 2.0
	その他	144 100.0	62 43.1	56 38.9	14 9.7	6 4.2	3 2.1	3 2.1
	無回答	49 100.0	21 42.9	19 38.8	4 8.2	1 2.0	1 2.0	3 6.1

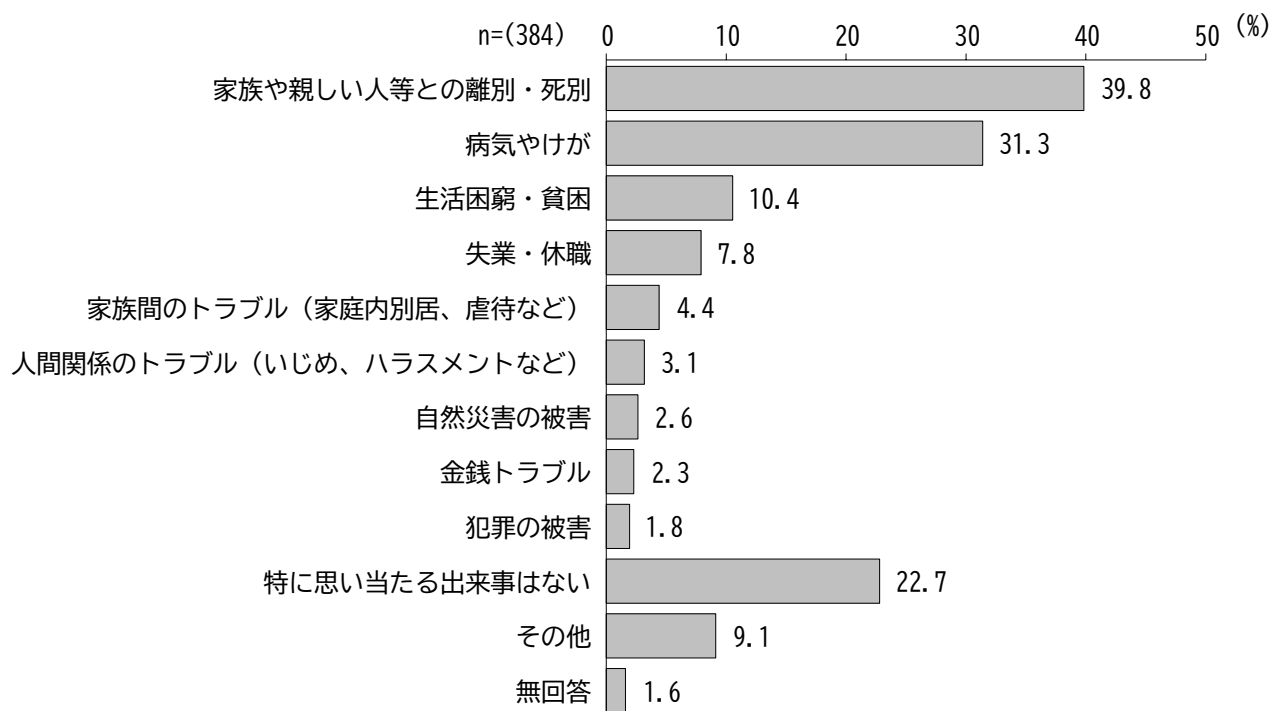
(5) 孤独を感じる状況に至る前の出来事

【問12で「3」、「4」、「5」（孤独を感じたことがある）と回答した方におたずねします。】

問13 その状況（問12で回答した状況）に至る前に経験した出来事を教えてください。（〇はいくつでも）

孤独を感じる状況に至る前の出来事は、「家族や親しい人等との離別・死別」が39.8%で最も高く、次いで「病気やけが」が31.3%、「生活困窮・貧困」が10.4%、「失業・休職」が7.8%となっている。一方、「特に思い当たる出来事はない」は22.7%となっている。

図表7-5-11 孤独を感じる状況に至る前の出来事（複数回答）



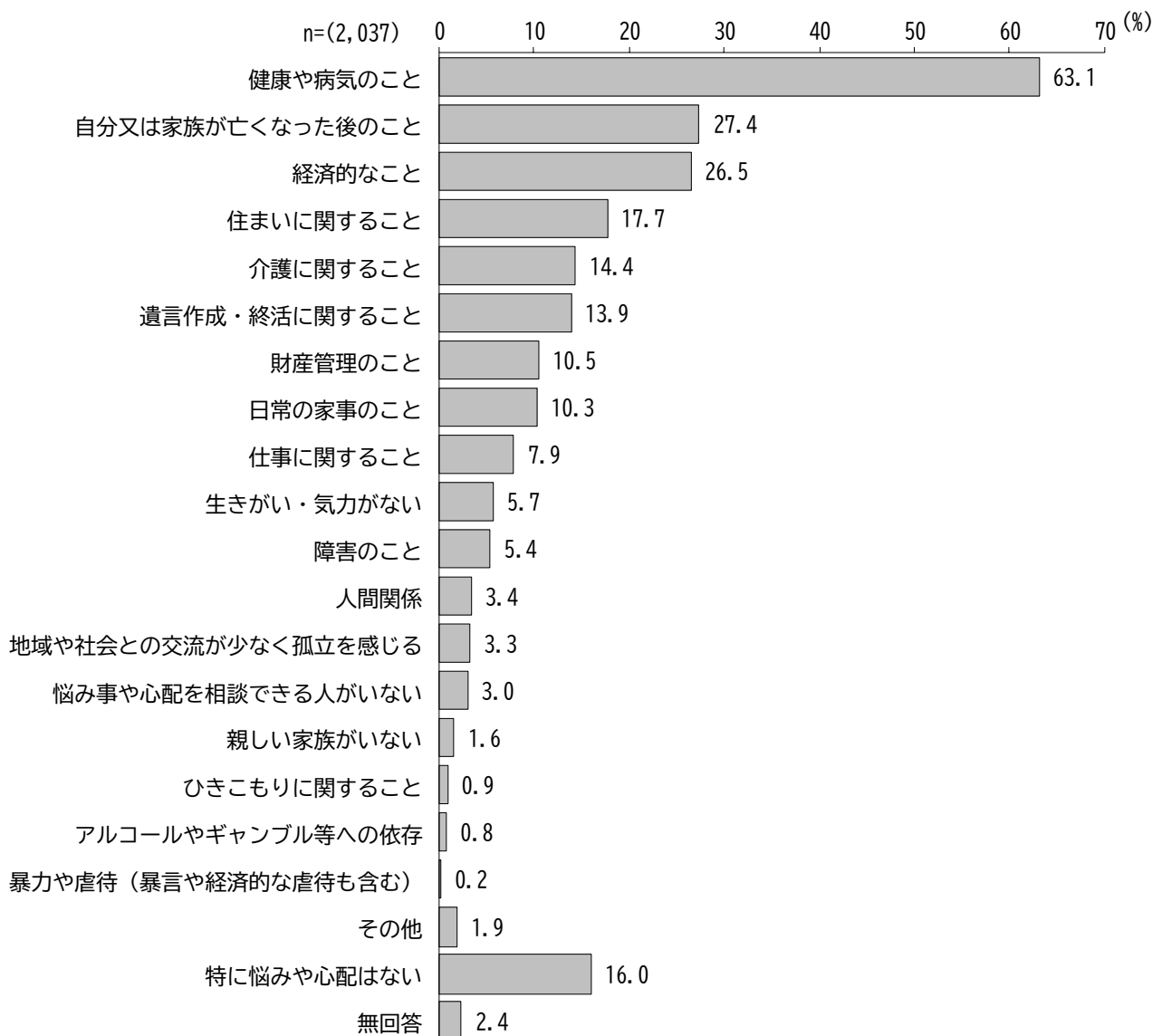
6. 日常生活について

(1) 日常生活上の悩みや心配ごと

問14 現在、日常生活を送る上で、あなた自身又は家族について、どのような悩みや心配がありますか。(〇はいくつでも)

日常生活上の悩みや心配ごとは、「健康や病気のこと」が63.1%で最も高く、次いで「自分又は家族が亡くなった後のこと」が27.4%、「経済的なこと」が26.5%、「住まいに関すること」が17.7%となっている。一方で、「特に悩みや心配はない」との回答が16.0%あった。

図表7-6-1 日常生活上の悩みや心配ごと（複数回答）

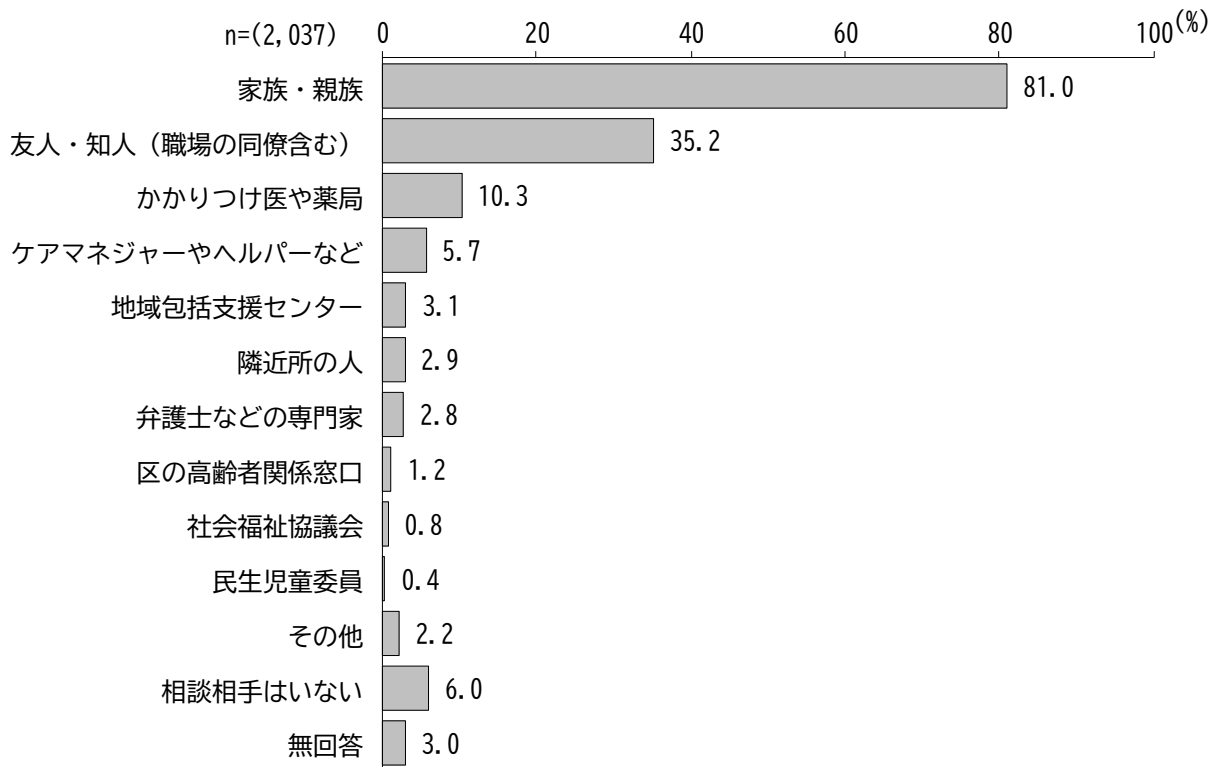


(2) 日常生活の悩みや心配の相談先

問15 日常生活の悩みや心配は、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

日常生活の悩みや心配の相談先は、「家族・親族」が81.0%で最も高く、次いで「友人・知人(職場の同僚含む)」が35.2%、「かかりつけ医や薬局」が10.3%、「ケアマネジャーやヘルパーなど」が5.7%、「地域包括支援センター」は3.1%となっている。

図表7-6-2 日常生活の悩みや心配の相談先(複数回答)

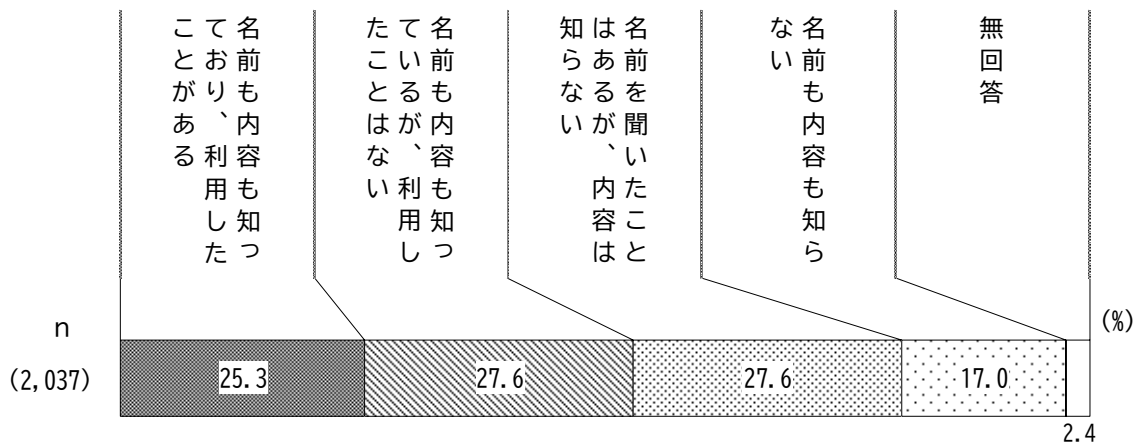


(3) 「地域包括支援センター」の認知状況

問16 目黒区では、区内5か所に保健福祉の総合相談窓口「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

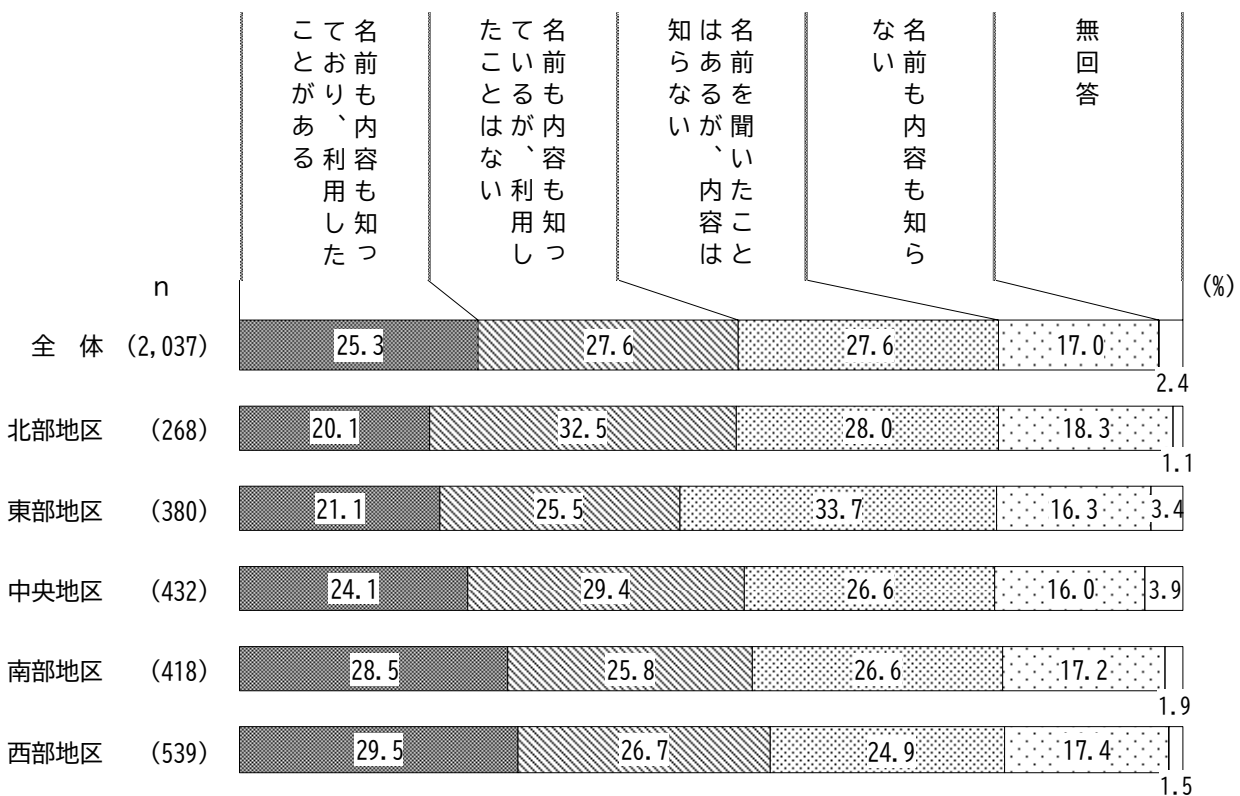
「地域包括支援センター」の認知状況は、「名前も内容も知っており、利用したことがある」と「名前も内容も知っているが、利用したことはない」で52.9%となっている。一方「名前も内容も知らない」は17.0%となっている。

図表7-6-3 「地域包括支援センター」の認知状況



居住地区別にみると、「名前も内容を聞いたことがあるが、内容は知らない」と「名前も内容も知らない」は東部地区で50.0%と最も高くなっている。

図表7-6-4 「地域包括支援センター」の認知状況（居住地区別）

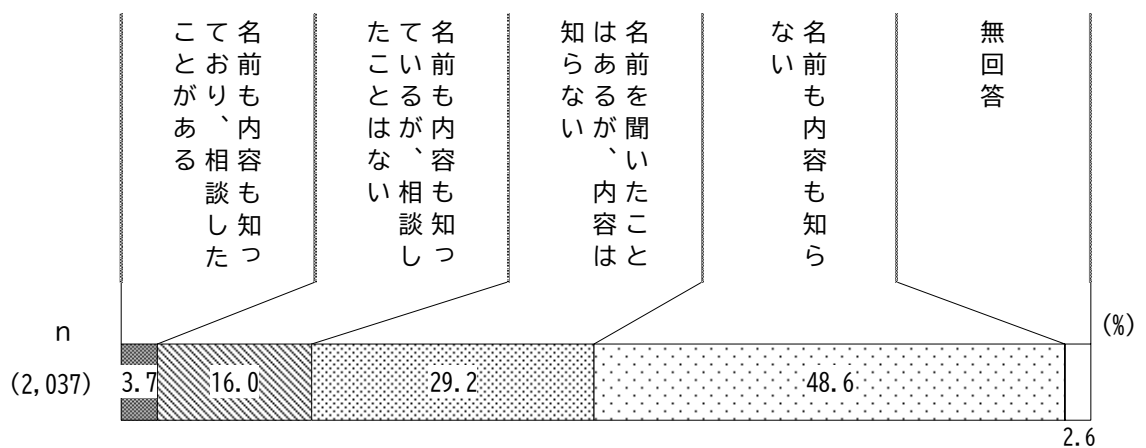


(4)「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」の認知度

問17 目黒区では、社会福祉協議会に地域福祉の専門職「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」を配置しています。あなたは、「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」を知っていますか。(〇は1つ)

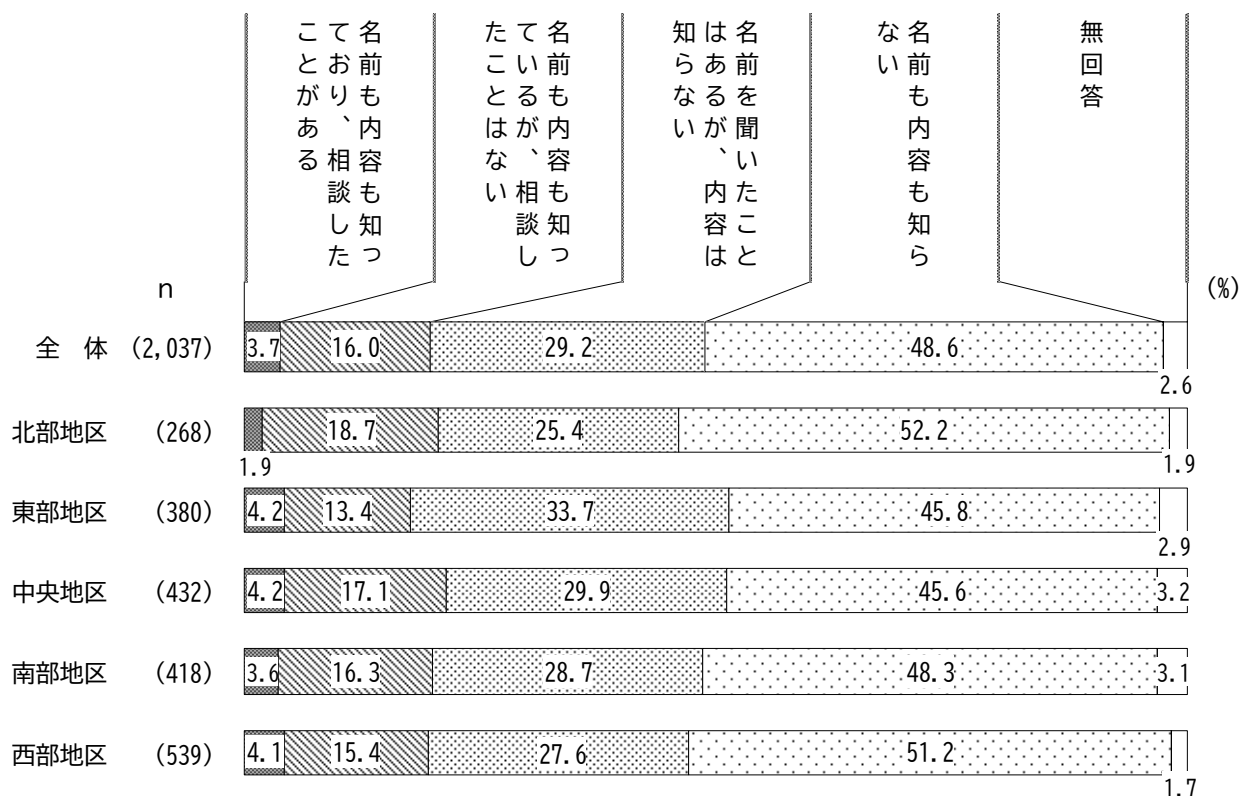
「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」の認知度は、「名前も内容も知らない」が48.6%で最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が29.2%となっており、これらを合わせると77.8%となっている。

図表7-6-5 「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」の認知度



居住地区別にみると、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」と「名前も内容も知らない」を合わせるとすべての居住地区で7割以上となっている。

図表7-6-6 「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」の認知度 (居住地区別)



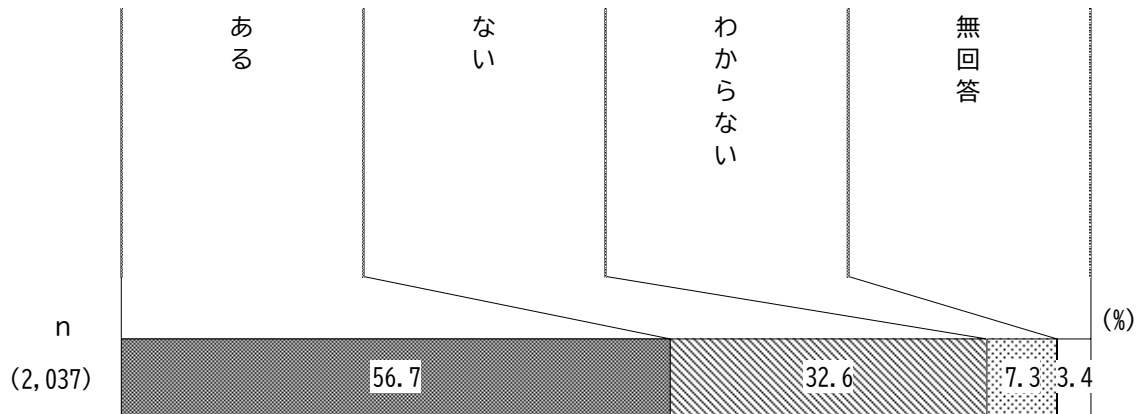
7. 認知症について

(1) 認知症の人と接した経験

問18 いままでに認知症の人と接したことはありますか。(○は1つ)

認知症の人と接した経験は、「ある」が56.7%で最も高い一方で「ない」と「わからない」の合計が39.9%となっている。

図表7-7-1 認知症の人と接した経験

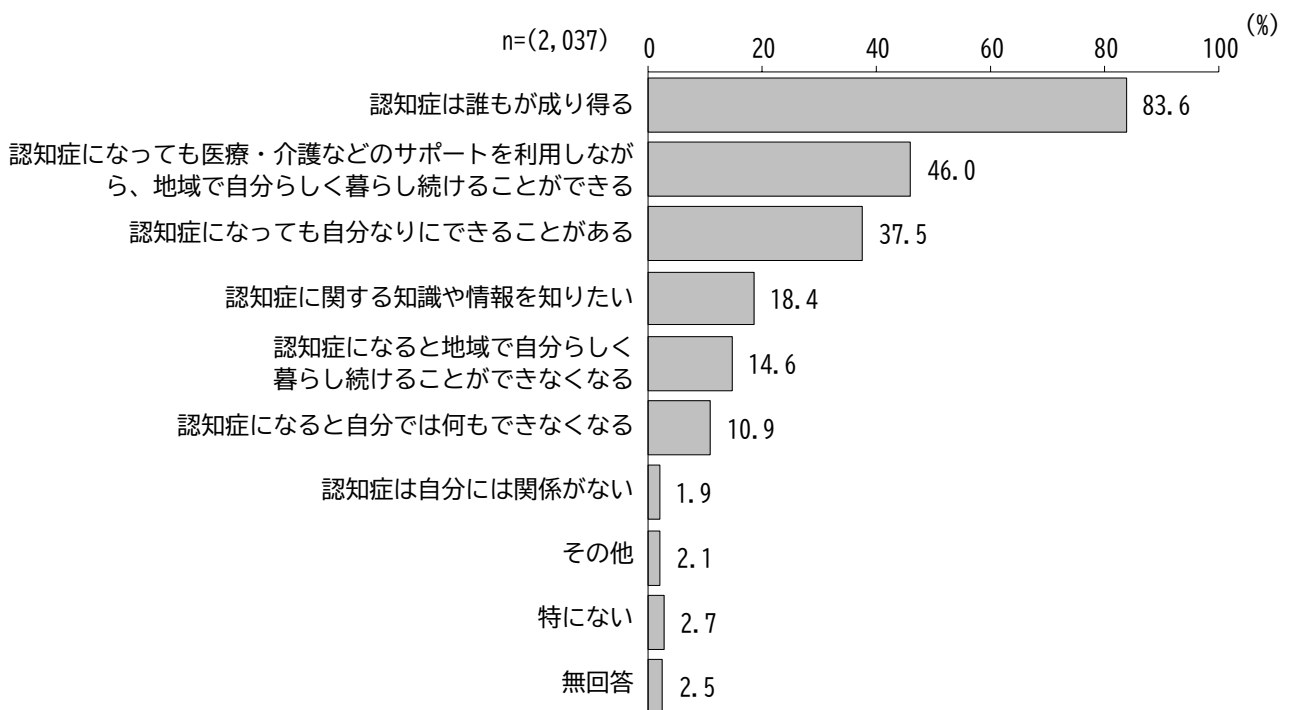


(2) 認知症についての印象・考え

問19 認知症について、どのような印象・考えをお持ちですか。(〇はいくつでも)

認知症についての印象・考えは、「認知症は誰もが成り得る」が83.6%で最も高く、次いで「認知症になっても医療・介護などのサポートを利用しながら、地域で自分らしく暮らし続けることができる」が46.0%、「認知症になっても自分なりにできることがある」が37.5%、「認知症に関する知識や情報を知りたい」が18.4%となっている。

図表7-7-2 認知症についての印象・考え（複数回答）



性別でみると、「認知症になっても医療・介護などのサポートを利用しながら、地域で自分らしく暮らし続けることができる」(男性41.9%、女性48.9%)、「認知症になっても自分なりにできることがある」(男性33.4%、女性40.6%)でともに女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、男女ともにすべての年齢で「認知症は誰もが成り得る」が最も高くなっている。

図表7-7-3 認知症についての印象・考え(性別・年齢別)

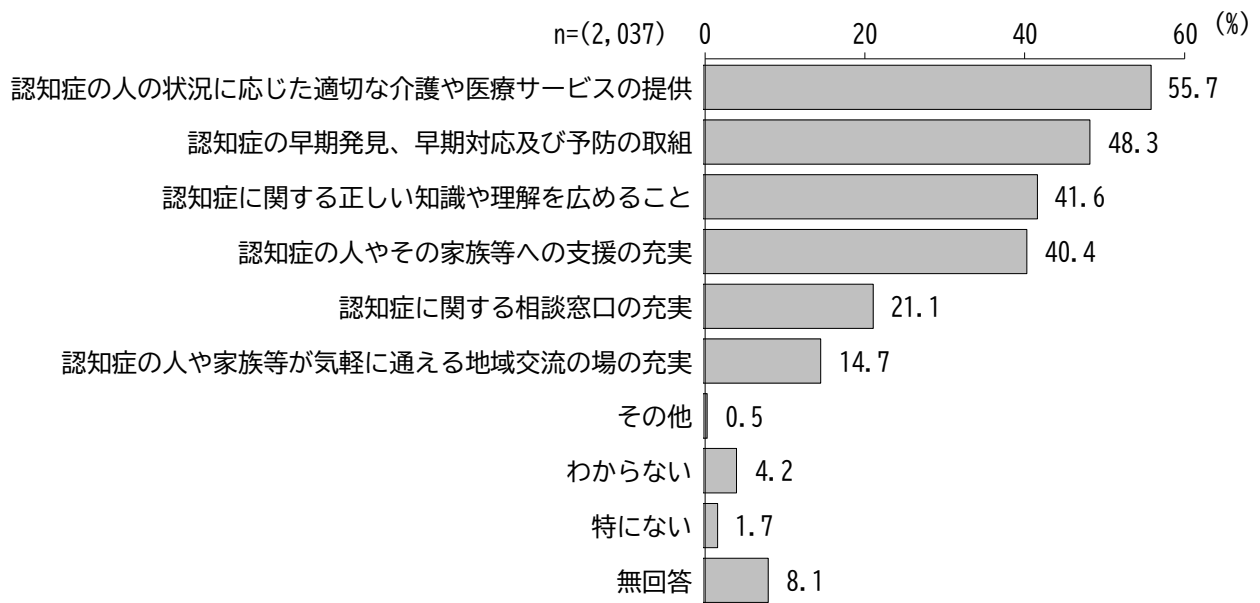
項目	調査数(n)	(上段:回答数、下段:%)										
		認知症は誰もが成り得る	サポートを利用しながら、地域で自分らしく暮らすことができる	認知症になっても自分なりにできることがある	認知症に関する知識や情報を知りたい	認知症になることと地域で自分らしく暮らす続けることができなくなる	認知症になると自分では何もできなくなる	認知症は自分には関係がない	その他	特にない	無回答	
全体	2,037	1703	937	764	374	297	222	39	42	54	50	
	100.0	83.6	46.0	37.5	18.4	14.6	10.9	1.9	2.1	2.7	2.5	
性別・年齢別	男性全体	824	699	345	275	142	118	107	18	16	29	17
		100.0	84.8	41.9	33.4	17.2	14.3	13.0	2.2	1.9	3.5	2.1
	男性 65~69歳	184	161	82	60	33	24	22	1	7	3	2
		100.0	87.5	44.6	32.6	17.9	13.0	12.0	0.5	3.8	1.6	1.1
	男性 70~74歳	173	155	65	50	27	34	27	2	2	5	2
		100.0	89.6	37.6	28.9	15.6	19.7	15.6	1.2	1.2	2.9	1.2
	男性 75~79歳	214	193	94	77	35	33	28	3	3	6	3
		100.0	90.2	43.9	36.0	16.4	15.4	13.1	1.4	1.4	2.8	1.4
	男性 80~84歳	139	113	57	57	27	15	11	3	2	7	4
		100.0	81.3	41.0	41.0	19.4	10.8	7.9	2.2	1.4	5.0	2.9
	男性 85~89歳	81	56	33	20	10	9	15	5	2	4	5
		100.0	69.1	40.7	24.7	12.3	11.1	18.5	6.2	2.5	4.9	6.2
	男性 90歳以上	33	21	14	11	10	3	4	4	-	4	1
		100.0	63.6	42.4	33.3	30.3	9.1	12.1	12.1	-	12.1	3.0
女性全体	1,181	975	577	479	227	177	114	21	25	24	32	
	100.0	82.6	48.9	40.6	19.2	15.0	9.7	1.8	2.1	2.0	2.7	
女性 65~69歳	236	212	130	99	45	34	23	1	6	1	4	
	100.0	89.8	55.1	41.9	19.1	14.4	9.7	0.4	2.5	0.4	1.7	
女性 70~74歳	220	191	110	99	34	34	20	3	5	1	4	
	100.0	86.8	50.0	45.0	15.5	15.5	9.1	1.4	2.3	0.5	1.8	
女性 75~79歳	267	229	138	116	47	45	20	2	4	5	7	
	100.0	85.8	51.7	43.4	17.6	16.9	7.5	0.7	1.5	1.9	2.6	
女性 80~84歳	226	178	111	93	58	31	27	4	6	4	5	
	100.0	78.8	49.1	41.2	25.7	13.7	11.9	1.8	2.7	1.8	2.2	
女性 85~89歳	143	101	58	47	31	21	17	8	3	9	4	
	100.0	70.6	40.6	32.9	21.7	14.7	11.9	5.6	2.1	6.3	2.8	
女性 90歳以上	89	64	30	25	12	12	7	3	1	4	8	
	100.0	71.9	33.7	28.1	13.5	13.5	7.9	3.4	1.1	4.5	9.0	
無回答	32	29	15	10	5	2	1	-	1	1	1	
	100.0	90.6	46.9	31.3	15.6	6.3	3.1	-	3.1	3.1	3.1	

(3) 安心して暮らせる地域社会に向けて必要な取組や支援

問20 認知症の人や家族等が安心して暮らせる地域社会に向けて、どんな取組や支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

安心して暮らせる地域社会に向けて必要な取組や支援は、「認知症の人の状況に応じた適切な介護や医療サービスの提供」が55.7%で最も高く、次いで「認知症の早期発見、早期対応及び予防の取組」が48.3%、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が41.6%、「認知症の人やその家族等への支援の充実」が40.4%で、この4項目が突出して高い回答率となっている。

図表7-7-4 安心して暮らせる地域社会に向けて必要な取組や支援（複数回答）



性別でみると、男女で大きな差は見られない。

年齢別にみると、男性では「85～89歳」「90歳以上」を除く年齢で「認知症の人の状況に応じた適切な介護や医療サービスの提供」が最も高くなっており、「85～89歳」では「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が42.0%となっている。女性では、「85～89歳」を除く年齢で「認知症の人の状況に応じた適切な介護や医療サービスの提供」が最も高くなっており、「85～89歳」では「認知症の早期発見、早期対応及び予防の取組」が48.3%となっている。

図表7-7-5 安心して暮らせる地域社会に向けて必要な取組や支援（性別・年齢別）

		(上段:回答数、下段:%)										
項目	調査数 (n)	介護や医療サービスの提供	認知症の早期発見、早期対応	認知症に関する正しい知識や理解を広めること	認知症の人やその家族等への支援の充実	認知症に関する相談窓口の充実	認知症の地域交流の場の充実に	その他	わからない	特にない	無回答	
		全体	2037	1134	984	847	822	430	299	11	86	35
	100.0	55.7	48.3	41.6	40.4	21.1	14.7	0.5	4.2	1.7	8.1	
性別・年齢別	男性全体	824	462	397	344	328	175	102	6	43	17	59
		100.0	56.1	48.2	41.7	39.8	21.2	12.4	0.7	5.2	2.1	7.2
	男性 65～69歳	184	114	101	75	87	34	17	4	7	1	12
		100.0	62.0	54.9	40.8	47.3	18.5	9.2	2.2	3.8	0.5	6.5
	男性 70～74歳	173	95	84	70	80	30	16	-	12	4	13
		100.0	54.9	48.6	40.5	46.2	17.3	9.2	-	6.9	2.3	7.5
	男性 75～79歳	214	141	99	90	84	50	37	1	9	-	11
		100.0	65.9	46.3	42.1	39.3	23.4	17.3	0.5	4.2	-	5.1
	男性 80～84歳	139	67	66	61	49	35	18	-	6	8	10
		100.0	48.2	47.5	43.9	35.3	25.2	12.9	-	4.3	5.8	7.2
	男性 85～89歳	81	32	30	34	20	22	9	1	6	1	11
		100.0	39.5	37.0	42.0	24.7	27.2	11.1	1.2	7.4	1.2	13.6
	男性 90歳以上	33	13	17	14	8	4	5	-	3	3	2
		100.0	39.4	51.5	42.4	24.2	12.1	15.2	-	9.1	9.1	6.1
女性全体	1181	657	575	491	475	245	191	5	42	18	102	
	100.0	55.6	48.7	41.6	40.2	20.7	16.2	0.4	3.6	1.5	8.6	
女性 65～69歳	236	150	121	98	123	40	35	1	4	-	24	
	100.0	63.6	51.3	41.5	52.1	16.9	14.8	0.4	1.7	-	10.2	
女性 70～74歳	220	130	112	90	96	63	35	1	3	3	17	
	100.0	59.1	50.9	40.9	43.6	28.6	15.9	0.5	1.4	1.4	7.7	
女性 75～79歳	267	149	125	112	113	59	43	-	7	4	26	
	100.0	55.8	46.8	41.9	42.3	22.1	16.1	-	2.6	1.5	9.7	
女性 80～84歳	226	122	111	100	72	43	46	3	9	6	18	
	100.0	54.0	49.1	44.2	31.9	19.0	20.4	1.3	4.0	2.7	8.0	
女性 85～89歳	143	68	69	60	40	23	25	-	9	1	9	
	100.0	47.6	48.3	42.0	28.0	16.1	17.5	-	6.3	0.7	6.3	
女性 90歳以上	89	38	37	31	31	17	7	-	10	4	8	
	100.0	42.7	41.6	34.8	34.8	19.1	7.9	-	11.2	4.5	9.0	
無回答	32	15	12	12	19	10	6	-	1	-	4	
	100.0	46.9	37.5	37.5	59.4	31.3	18.8	-	3.1	-	12.5	

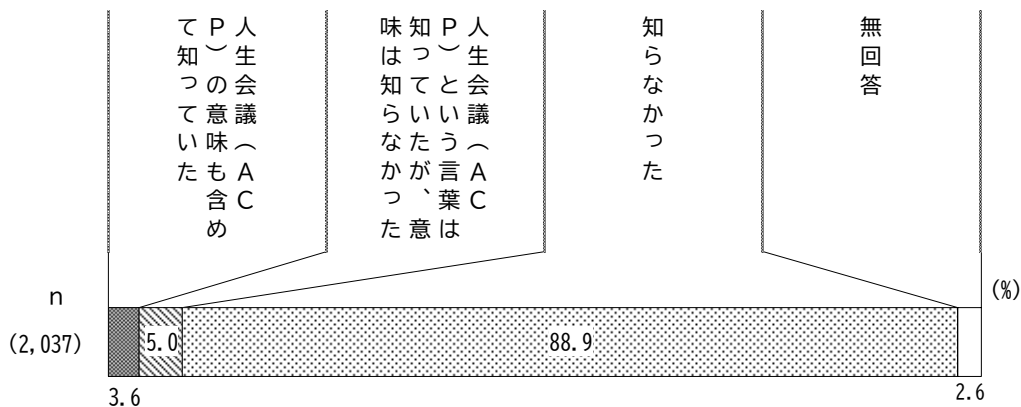
8. 人生会議（ACP:アドバンス・ケア・プランニング）について

(1) 人生会議（ACP）の認知度

問21 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っていますか。（○は1つ）

人生会議（ACP）の認知度は、「知らなかった」が88.9%で最も高く、次いで「人生会議（ACP）という言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が5.0%となっている。

図表7-8-1 人生会議（ACP）の認知度



健康状態別にみても、すべての健康状態で「知らなかった」が最も高くなっている。

図表7-8-2 人生会議（ACP）の認知度（健康状態別）

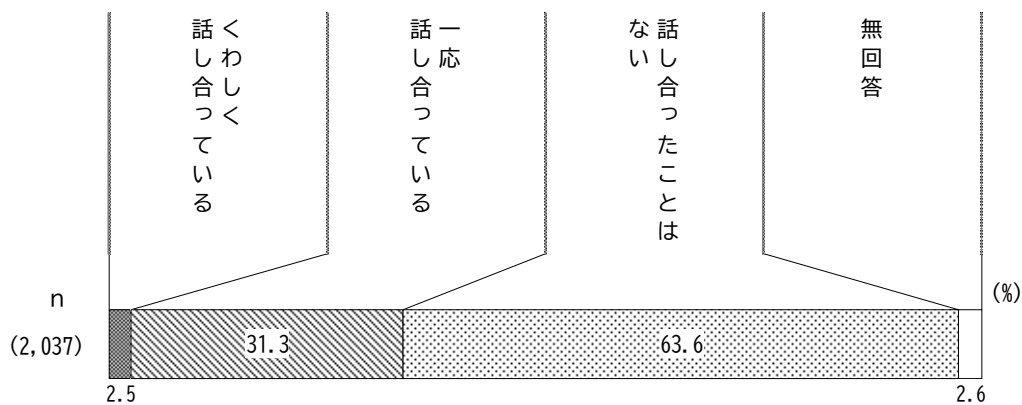
項目		(上段:回答数、下段:%)				
		含人 め生 て会 知議 つ(A てい C いた P た)の 意 味 も	ら葉人 なは生 か知会 つ議 た(A てい C いた P た)と 意 味 は う 知 言	知 ら な か っ た	無 回 答	
全体		2,037 100.0	73 3.6	101 5.0	1811 88.9	52 2.6
健康 状 態	とてもよい	222 100.0	17 7.7	16 7.2	188 84.7	1 0.5
	まあよい	619 100.0	22 3.6	38 6.1	553 89.3	6 1.0
	ふつう	786 100.0	22 2.8	39 5.0	720 91.6	5 0.6
	あまりよくない	311 100.0	6 1.9	5 1.6	294 94.5	6 1.9
	よくない	62 100.0	6 9.7	2 3.2	54 87.1	- -
	無回答	37 100.0	- -	1 2.7	2 5.4	34 91.9

(2) 人生の最終段階における医療・ケアについての話し合いの経験

問22 あなたが人生の最終段階で、受たいもしくは受たくない医療・ケアについて、ご家族や医療・介護従事者と話し合ったことがありますか。(○は1つ)

人生の最終段階における医療・ケアについての話し合いの経験は、「話し合ったことはない」が63.6%で最も高い一方で、「一応話し合っている」と「くわしく話し合っている」の合計は33.8%となっている。

図表7-8-3 人生の最終段階における医療・ケアについての話し合いの経験



健康状態別にみると、すべての健康状態で「話し合ったことはない」が最も高くなっている。

図表7-8-4 人生の最終段階における医療・ケアについての話し合いの経験（健康状態別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	くわしく話し合っている	一応話し合っている	話し合ったことはない	無回答	
全体	2,037	51	638	1295	53	
	100.0	2.5	31.3	63.6	2.6	
健康状態	とてもよい	222	7	68	147	-
		100.0	3.2	30.6	66.2	-
	まあよい	619	14	211	390	4
		100.0	2.3	34.1	63.0	0.6
	ふつう	786	20	251	505	10
		100.0	2.5	31.9	64.2	1.3
あまりよくない	311	7	91	211	2	
	100.0	2.3	29.3	67.8	0.6	
よくない	62	3	17	41	1	
	100.0	4.8	27.4	66.1	1.6	
無回答	37	-	-	1	36	
	100.0	-	-	2.7	97.3	

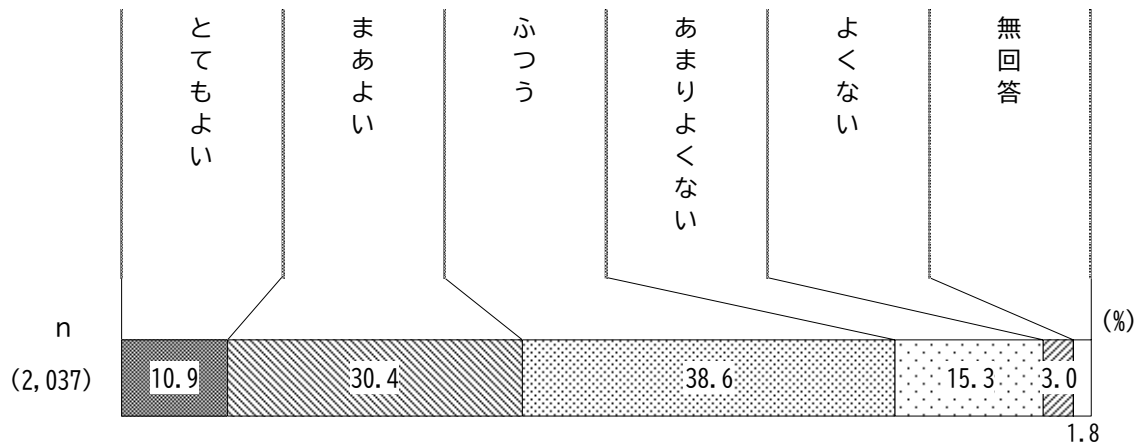
9. 健康状態や在宅での療養などについて

(1) 現在の健康状態

問23 現在、あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態は、「ふつう」が38.6%で最も高く、「まあよい」30.4%、「とてもよい」10.9%を加えると約80%となっている。

図表7-9-1 現在の健康状態



性別で見ると、男女で大きな差は見られない。

年齢別にみると、男性では「80～84歳」「85～89歳」を除く年齢で「ふつう」が最も高く、「80～84歳」「85～89歳」では「まあよい」がそれぞれ32.4%、34.6%となっている。女性ではすべての年齢で「ふつう」が最も高くなっている。

図表7-9-2 現在の健康状態（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

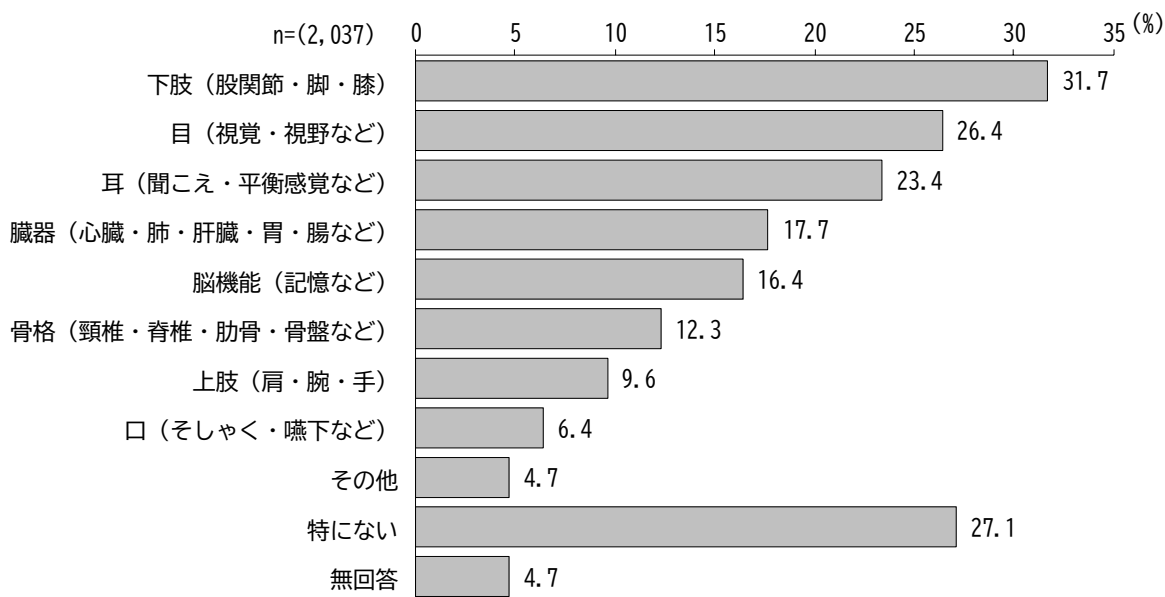
項目	調査数 (n)	とてもよい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	2,037 100.0	222 10.9	619 30.4	786 38.6	311 15.3	62 3.0	37 1.8	
性別・年齢別	男性全体	824 100.0	89 10.8	261 31.7	295 35.8	140 17.0	23 2.8	16 1.9
	男性 65～69歳	184 100.0	23 12.5	64 34.8	69 37.5	23 12.5	3 1.6	2 1.1
	男性 70～74歳	173 100.0	17 9.8	57 32.9	67 38.7	24 13.9	5 2.9	3 1.7
	男性 75～79歳	214 100.0	24 11.2	59 27.6	83 38.8	42 19.6	4 1.9	2 0.9
	男性 80～84歳	139 100.0	16 11.5	45 32.4	40 28.8	28 20.1	6 4.3	4 2.9
	男性 85～89歳	81 100.0	8 9.9	28 34.6	21 25.9	15 18.5	5 6.2	4 4.9
	男性 90歳以上	33 100.0	1 3.0	8 24.2	15 45.5	8 24.2	-	1 3.0
	女性全体	1,181 100.0	130 11.0	347 29.4	480 40.6	166 14.1	38 3.2	20 1.7
	女性 65～69歳	236 100.0	32 13.6	79 33.5	88 37.3	28 11.9	3 1.3	6 2.5
	女性 70～74歳	220 100.0	30 13.6	71 32.3	93 42.3	16 7.3	5 2.3	5 2.3
	女性 75～79歳	267 100.0	33 12.4	75 28.1	116 43.4	34 12.7	4 1.5	5 1.9
	女性 80～84歳	226 100.0	18 8.0	68 30.1	93 41.2	37 16.4	8 3.5	2 0.9
	女性 85～89歳	143 100.0	14 9.8	31 21.7	58 40.6	29 20.3	10 7.0	1 0.7
	女性 90歳以上	89 100.0	3 3.4	23 25.8	32 36.0	22 24.7	8 9.0	1 1.1
無回答	32 100.0	3 9.4	11 34.4	11 34.4	5 15.6	1 3.1	1 3.1	

(2) 身体機能の低下の状況

問24 現在、日常生活を送る上で支障をきたしている身体機能の低下はありますか。(○はいくつでも)

身体機能の低下の状況は、「下肢（股関節・脚・膝）」が31.7%で最も高く、次いで「目（視覚・視野など）」が26.4%、「耳（聞こえ・平衡感覚など）」が23.4%、「臓器（心臓・肺・肝臓・胃・腸など）」が17.7%となっている。

図表7-9-3 身体機能の低下の状況（複数回答）

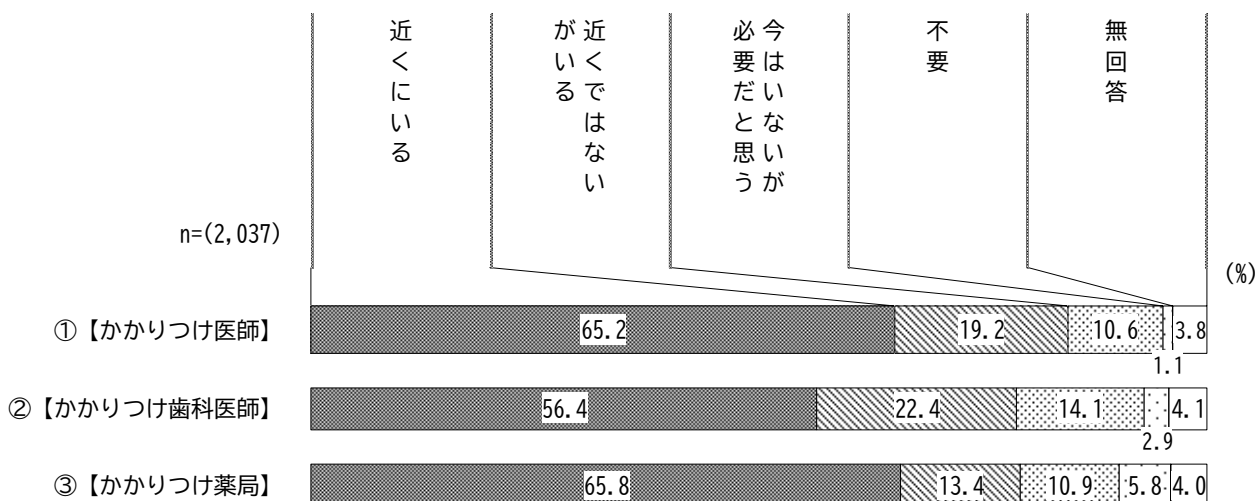


(3) かかりつけ医師・歯科医師・薬局の状況

問25 あなたには、かかりつけの医師などがいますか。

かかりつけ医師・歯科医師・薬局の状況は、【かかりつけ医師】、【かかりつけ歯科医師】、【かかりつけ薬局】のすべてで「近くにいる」が最も高く、「近くではないがいる」を含めると約8割となっている。

図表7-9-4 かかりつけ医師等の状況



【かかりつけ医師】を外出頻度別にみると、すべての外出頻度で「近くにいる」が最も高くなっている。

図表7-9-5 【かかりつけ医師】(外出頻度別)

(上段:回答数、下段:%)

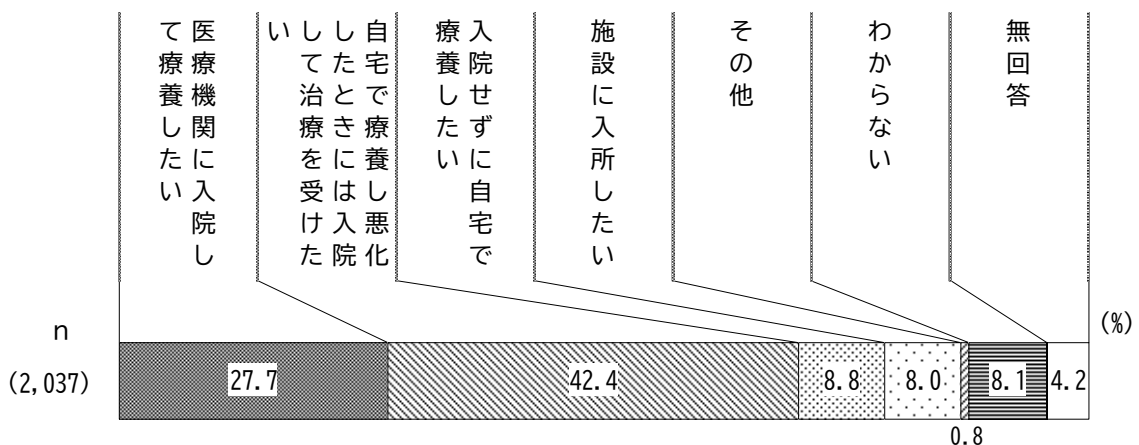
項目		調査数 (n)	近く に い る	近 く で は な い が い る	思 今 う は い な い が 必 要 だ と	不 要	無 回 答
全体		2,037	1329 65.2	392 19.2	215 10.6	23 1.1	78 3.8
外出 頻 度	ほぼ毎日	1,328	895 67.4	234 17.6	147 11.1	14 1.1	38 2.9
	週に2、3回程度	471	298 63.3	95 20.2	49 10.4	8 1.7	21 4.5
	週に1回程度	112	71 63.4	27 24.1	10 8.9	-	4 3.6
	月に数回	52	31 59.6	14 26.9	6 11.5	-	1 1.9
	ほとんど外出しない	41	22 53.7	14 34.1	2 4.9	-	3 7.3
	無回答	33	12 36.4	8 24.2	1 3.0	1 3.0	11 33.3

(4) 長期療養が必要になった場合に療養したい場所

問26 長期の療養が必要になった場合、あなたはどこで療養をしたいと思いますか。(○は1つ)

長期療養が必要になった場合に療養したい場所は、「自宅で療養し悪化したときには入院して治療を受けたい」が42.4%で最も高く、次いで「医療機関に入院して療養したい」が27.7%、「入院せずに自宅で療養したい」が8.8%、「施設に入所したい」が8.0%となっている。

図表7-9-6 長期療養が必要になった場合に療養したい場所



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別でみると、男女で大きな差は見られない。

年齢別にみると、男女ともにすべての年齢で「自宅で療養し悪化したときには入院して治療を受けたい」が最も高くなっている。

図表7-9-7 長期療養が必要になった場合に療養したい場所（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	医療機関に入院して療養したい	自宅療養し悪化したときに入院したい	入院せずに自宅で療養したい	施設に入所したい	その他	わからない	無回答	
全体	2,037 100.0	565 27.7	863 42.4	179 8.8	162 8.0	17 0.8	165 8.1	86 4.2	
性別・年齢別	男性全体	824 100.0	230 27.9	350 42.5	86 10.4	65 7.9	7 0.8	55 6.7	31 3.8
	男性 65~69歳	184 100.0	55 29.9	84 45.7	14 7.6	18 9.8	-	9 4.9	4 2.2
	男性 70~74歳	173 100.0	42 24.3	70 40.5	22 12.7	18 10.4	3 1.7	14 8.1	4 2.3
	男性 75~79歳	214 100.0	62 29.0	96 44.9	23 10.7	10 4.7	3 1.4	13 6.1	7 3.3
	男性 80~84歳	139 100.0	38 27.3	56 40.3	18 12.9	7 5.0	-	9 6.5	11 7.9
	男性 85~89歳	81 100.0	24 29.6	33 40.7	5 6.2	7 8.6	1 1.2	7 8.6	4 4.9
	男性 90歳以上	33 100.0	9 27.3	11 33.3	4 12.1	5 15.2	-	3 9.1	1 3.0
	女性全体	1,181 100.0	325 27.5	502 42.5	89 7.5	94 8.0	10 0.8	108 9.1	53 4.5
	女性 65~69歳	236 100.0	61 25.8	107 45.3	16 6.8	16 6.8	2 0.8	27 11.4	7 3.0
	女性 70~74歳	220 100.0	52 23.6	97 44.1	21 9.5	19 8.6	3 1.4	18 8.2	10 4.5
	女性 75~79歳	267 100.0	74 27.7	110 41.2	22 8.2	18 6.7	3 1.1	28 10.5	12 4.5
	女性 80~84歳	226 100.0	66 29.2	85 37.6	16 7.1	25 11.1	-	20 8.8	14 6.2
	女性 85~89歳	143 100.0	41 28.7	67 46.9	7 4.9	12 8.4	2 1.4	7 4.9	7 4.9
	女性 90歳以上	89 100.0	31 34.8	36 40.4	7 7.9	4 4.5	-	8 9.0	3 3.4
	無回答	32 100.0	10 31.3	11 34.4	4 12.5	3 9.4	-	2 6.3	2 6.3

家族構成別にみると、すべての家族構成で「自宅で療養し悪化したときには入院して治療を受けたい」が最も高く、特に夫婦のみ（配偶者は64歳以下）で5割以上となっている。

図表7-9-8 長期療養が必要になった場合に療養したい場所（家族構成別）

（上段：回答数、下段：％）

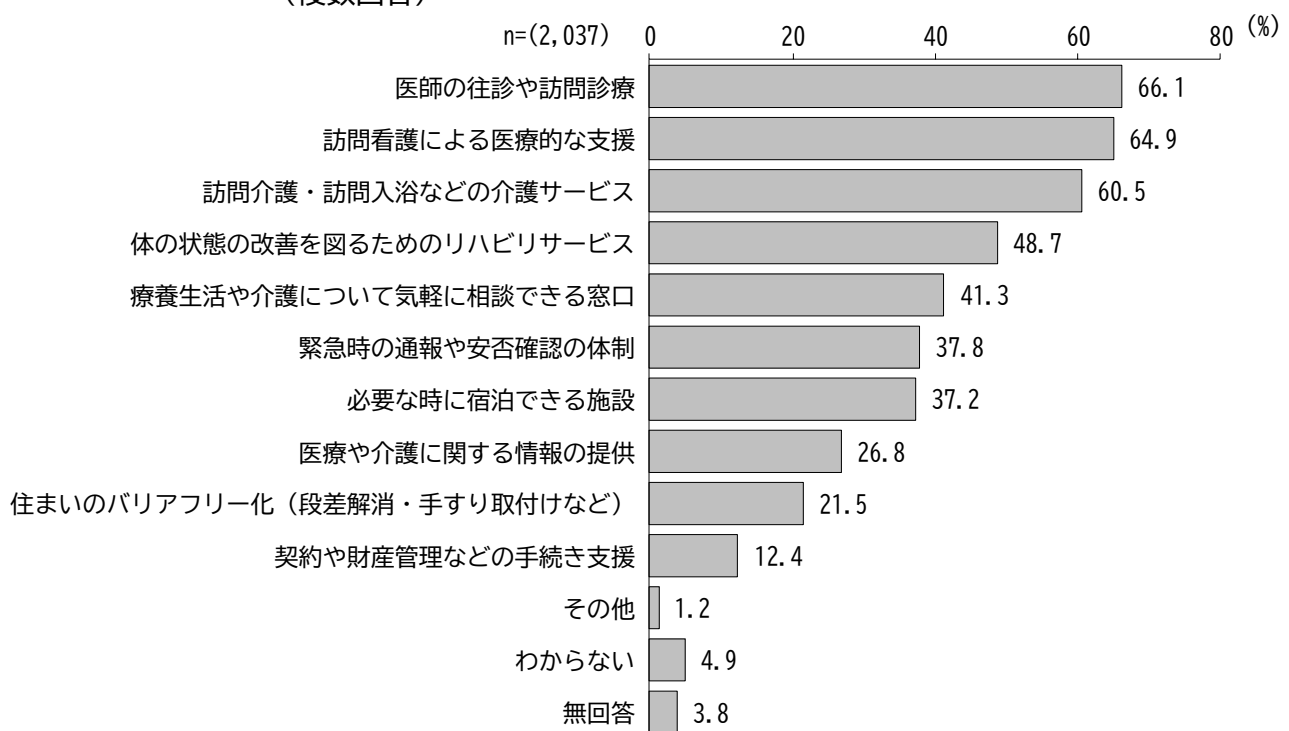
項目		調査数 (n)	医療機関 に入院して 療養したい	自宅で療養し 悪化した ときには入院 したい	入院せずに 自宅で療養 したい	施設に入所 したい	その他	わからない	無回答
全体		2,037 100.0	565 27.7	863 42.4	179 8.8	162 8.0	17 0.8	165 8.1	86 4.2
家族 構成	ひとり暮らし	493 100.0	147 29.8	177 35.9	43 8.7	52 10.5	5 1.0	48 9.7	21 4.3
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	198 27.4	329 45.5	59 8.2	46 6.4	7 1.0	58 8.0	26 3.6
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	15 24.2	34 54.8	2 3.2	5 8.1	1 1.6	2 3.2	3 4.8
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	17 27.4	24 38.7	5 8.1	8 12.9	-	5 8.1	3 4.8
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	139 27.6	213 42.3	49 9.7	39 7.7	2 0.4	36 7.1	26 5.2
	その他	144 100.0	39 27.1	65 45.1	15 10.4	8 5.6	1 0.7	14 9.7	2 1.4
	無回答	49 100.0	10 20.4	21 42.9	6 12.2	4 8.2	1 2.0	2 4.1	5 10.2

(5) 長期療養が必要になった時に在宅生活継続に必要なサービスや体制

問27 介護が必要になったとき、もしくは、病気の後遺症などにより長期間の療養が必要になったときに、自宅で生活続けるために、どのようなサービスや体制が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

長期療養が必要になった時に在宅生活継続に必要なサービスや体制は、「医師の往診や訪問診療」が66.1%で最も高く、次いで「訪問看護による医療的な支援」が64.9%、「訪問介護・訪問入浴などの介護サービス」が60.5%、「体の状態の改善を図るためのリハビリサービス」が48.7%となっている。

図表7-9-9 長期療養が必要になった時に在宅生活継続に必要なサービスや体制
(複数回答)

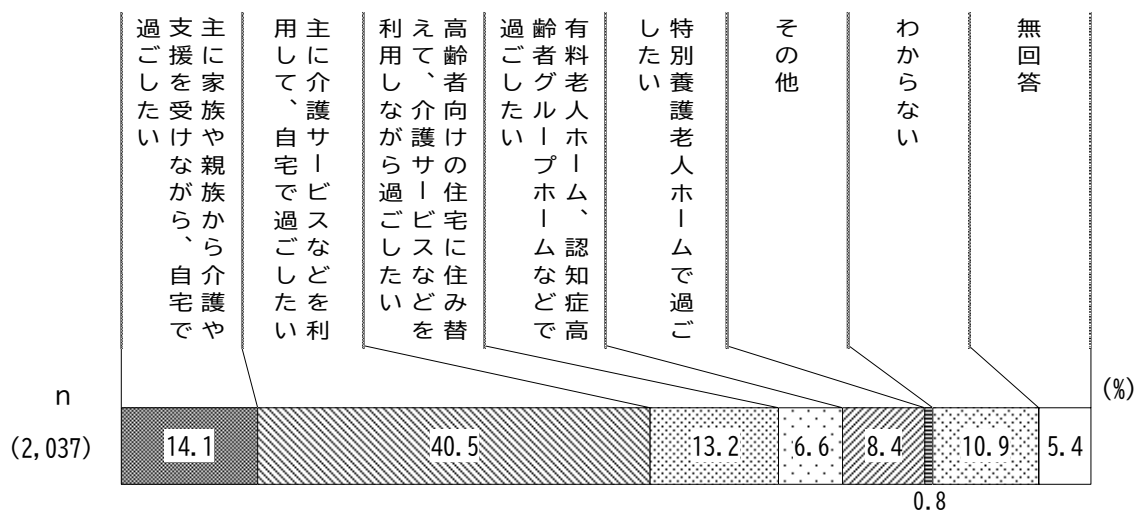


(6) 介護が必要になったときの過ごし方

問28 今後、介護が必要になったとき、あなたはどのような過ごし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

介護が必要になったときの過ごし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で過ごしたい」が40.5%で最も高く、次いで「主に家族や親族から介護や支援を受けながら、自宅で過ごしたい」が14.1%、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら過ごしたい」が13.2%、これらの3つの合計は67.8%となっている。

図表7-9-10 介護が必要になったときの過ごし方



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別でみると、「主に家族や親族から介護や支援を受けながら、自宅で過ごしたい」が男性は女性より8.1%高くなっている。

年齢別にみると、男女ともに「90歳以上」を除く年齢で「主に介護サービスなどを利用して、自宅で過ごしたい」が最も高くなっている。男女ともに「90歳以上」では「主に家族や親族から介護や支援を受けながら、自宅で過ごしたい」が最も高くなっている。

図表7-9-11 介護などが必要になったときの過ごし方（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	し援主	し主	して高	し者有	過特	そ	わ	無	
		たをに	にに	なが介	たグ料	ご別	の	か	回	
		い受家	て、介	がら護	たい老人	ごし養	他	ら	答	
		けなや	、自護	過サ	いプホ	たい老人		な		
		が親	宅サ	ごの	ーム、	人ホ		い		
		族ら	で過	住	認	人ホ				
		、か	スな	宅に	知	ーム				
		ら自	たい	を	症	、				
		宅介	利用	み	高	で				
		護や		替	齢	過				
		支		え		ご				
全体	2,037 100.0	287 14.1	824 40.5	269 13.2	135 6.6	171 8.4	17 0.8	223 10.9	111 5.4	
性別・年齢別	男性全体	824 100.0	156 18.9	305 37.0	101 12.3	55 6.7	72 8.7	6 0.7	87 10.6	42 5.1
	男性 65~69歳	184 100.0	30 16.3	65 35.3	30 16.3	15 8.2	13 7.1	1 0.5	23 12.5	7 3.8
	男性 70~74歳	173 100.0	20 11.6	76 43.9	24 13.9	9 5.2	8 4.6	1 0.6	29 16.8	6 3.5
	男性 75~79歳	214 100.0	39 18.2	74 34.6	23 10.7	19 8.9	31 14.5	2 0.9	17 7.9	9 4.2
	男性 80~84歳	139 100.0	35 25.2	56 40.3	11 7.9	8 5.8	8 5.8	1 0.7	8 5.8	12 8.6
	男性 85~89歳	81 100.0	21 25.9	25 30.9	10 12.3	3 3.7	6 7.4	1 1.2	8 9.9	7 8.6
	男性 90歳以上	33 100.0	11 33.3	9 27.3	3 9.1	1 3.0	6 18.2	-	2 6.1	1 3.0
	女性全体	1,181 100.0	127 10.8	508 43.0	166 14.1	76 6.4	97 8.2	11 0.9	130 11.0	66 5.6
	女性 65~69歳	236 100.0	10 4.2	98 41.5	46 19.5	21 8.9	10 4.2	3 1.3	39 16.5	9 3.8
	女性 70~74歳	220 100.0	13 5.9	104 47.3	41 18.6	11 5.0	17 7.7	3 1.4	23 10.5	8 3.6
	女性 75~79歳	267 100.0	20 7.5	104 39.0	44 16.5	22 8.2	28 10.5	2 0.7	33 12.4	14 5.2
	女性 80~84歳	226 100.0	25 11.1	104 46.0	20 8.8	14 6.2	25 11.1	2 0.9	17 7.5	19 8.4
	女性 85~89歳	143 100.0	23 16.1	66 46.2	13 9.1	5 3.5	14 9.8	1 0.7	10 7.0	11 7.7
	女性 90歳以上	89 100.0	36 40.4	32 36.0	2 2.2	3 3.4	3 3.4	-	8 9.0	5 5.6
	無回答	32 100.0	4 12.5	11 34.4	2 6.3	4 12.5	2 6.3	-	6 18.8	3 9.4

家族構成別にみると、「子供との同居（子供は65歳以上）」を除く家族構成で、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で過ごしたい」が最も高くなっている。

図表7-9-12 介護などが必要になったときの過ごし方（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

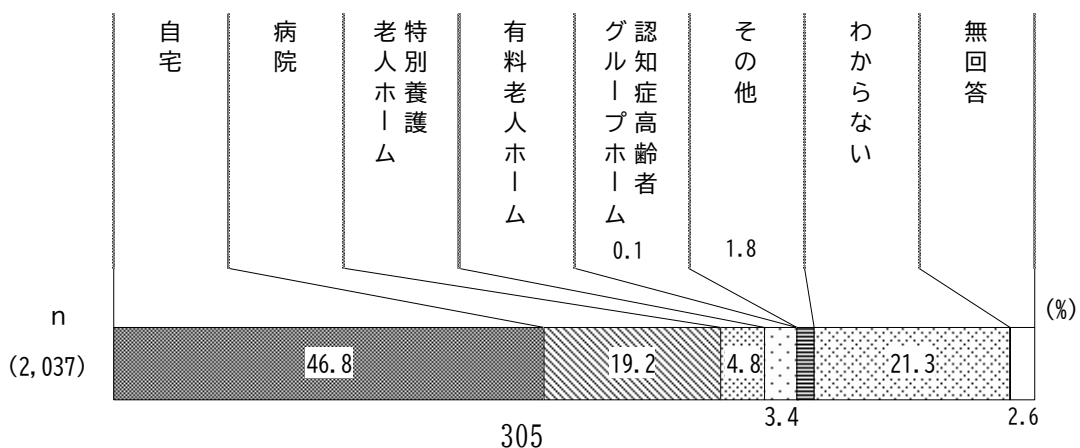
項目	調査数 (n)	したい	援を	主に	主	して	高	し	者	有	過	特	そ	わ	無
		受け	に家	に介	に介	な	齢	た	料	特	他	か	回		
		ながら	家族	護サ	護サ	が	者	老	グ	料	特	別	他	ら	答
		親	や	ー	ー	ら	向	人	ル	老	別	養	他	な	
		族	親	ス	ス	自	け	ホ	プ	人	養	護	他	い	
		から	族	な	な	宅	の	ー	ホ	ホ	老	老	他	い	
		自	か	し	し	で	住	ム	ー	ム	人	人	他	い	
		宅	ら	た	た	過	宅	、	ム	、	ホ	ホ	他	い	
		で	自	い	い	ご	に	認	な	知	ム	ム	他	い	
		過	宅	支	支	を	住	症	ど	高	で	で	他	い	
		ご	で	え	え	を	み	高	過	齢	過	過	他	い	
		ご	ご	え	え	を	替	過	ご	過	ご	ご	他	い	
		ご	ご	え	え	を	え	ご	ご	ご	ご	ご	他	い	
全体	2,037	287	824	269	135	171	17	223	111						
	100.0	14.1	40.5	13.2	6.6	8.4	0.8	10.9	5.4						
家族構成	ひとり暮らし	493	36	183	97	27	43	6	68	33					
		100.0	7.3	37.1	19.7	5.5	8.7	1.2	13.8	6.7					
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723	101	305	95	64	52	6	70	30					
		100.0	14.0	42.2	13.1	8.9	7.2	0.8	9.7	4.1					
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62	14	28	4	4	4	-	5	3					
		100.0	22.6	45.2	6.5	6.5	6.5	-	8.1	4.8					
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62	24	16	4	-	7	-	4	7					
	100.0	38.7	25.8	6.5	-	11.3	-	6.5	11.3						
子供との同居 (子供は64歳以下)	504	82	221	40	33	49	3	50	26						
	100.0	16.3	43.8	7.9	6.5	9.7	0.6	9.9	5.2						
その他	144	22	55	25	3	11	1	21	6						
	100.0	15.3	38.2	17.4	2.1	7.6	0.7	14.6	4.2						
無回答	49	8	16	4	4	5	1	5	6						
	100.0	16.3	32.7	8.2	8.2	10.2	2.0	10.2	12.2						

(7) 人生の最期を迎えたい場所

問29 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」が46.8%で最も高く、次いで「病院」が19.2%、「特別養護老人ホーム」が4.8%、「有料老人ホーム」が3.4%となっている。

図表7-9-13 人生の最期を迎えたい場所



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別でみると、「自宅」は男性が51.0%、女性が44.3%と男性が女性を6.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、男女ともにすべての年齢で「自宅」が最も高くなっている。

図表7-9-14 人生の最期を迎えたい場所（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	自宅	病院	特別 養護 老人 ホーム	有 料 老 人 ホ ー ム	グ ル ー プ ホ ー ム	認 知 症 高 齢 者	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	2037 100.0	954 46.8	391 19.2	98 4.8	70 3.4	3 0.1	36 1.8	433 21.3	52 2.6	
性別・年齢別	男性全体	824 100.0	420 51.0	156 18.9	38 4.6	17 2.1	1 0.1	15 1.8	161 19.5	16 1.9
	男性 65～69歳	184 100.0	84 45.7	37 20.1	3 1.6	7 3.8	-	5 2.7	46 25.0	2 1.1
	男性 70～74歳	173 100.0	67 38.7	33 19.1	13 7.5	5 2.9	-	3 1.7	48 27.7	4 2.3
	男性 75～79歳	214 100.0	116 54.2	42 19.6	10 4.7	4 1.9	1 0.5	4 1.9	34 15.9	3 1.4
	男性 80～84歳	139 100.0	88 63.3	18 12.9	4 2.9	-	-	3 2.2	22 15.8	4 2.9
	男性 85～89歳	81 100.0	47 58.0	18 22.2	5 6.2	1 1.2	-	-	8 9.9	2 2.5
	男性 90歳以上	33 100.0	18 54.5	8 24.2	3 9.1	-	-	-	3 9.1	1 3.0
	女性全体	1181 100.0	523 44.3	228 19.3	58 4.9	51 4.3	2 0.2	20 1.7	265 22.4	34 2.9
	女性 65～69歳	236 100.0	93 39.4	34 14.4	9 3.8	19 8.1	1 0.4	5 2.1	68 28.8	7 3.0
	女性 70～74歳	220 100.0	88 40.0	41 18.6	11 5.0	9 4.1	-	8 3.6	61 27.7	2 0.9
	女性 75～79歳	267 100.0	99 37.1	58 21.7	16 6.0	12 4.5	-	5 1.9	69 25.8	8 3.0
	女性 80～84歳	226 100.0	116 51.3	44 19.5	11 4.9	10 4.4	1 0.4	1 0.4	36 15.9	7 3.1
	女性 85～89歳	143 100.0	71 49.7	36 25.2	9 6.3	1 0.7	-	1 0.7	18 12.6	7 4.9
	女性 90歳以上	89 100.0	56 62.9	15 16.9	2 2.2	-	-	-	13 14.6	3 3.4
	無回答	32 100.0	11 34.4	7 21.9	2 6.3	2 6.3	-	1 3.1	7 21.9	2 6.3

家族構成別にみると、すべての家族構成で「自宅」が最も高くなっている。

図表7-9-15 人生の最期を迎えたい場所（家族構成別）

（上段：回答数、下段：％）

項目		調査数 (n)	自宅	病院	特別 養護 老人 ホーム	有料 老人 ホーム	グ ル ー プ ホ ー ム	認 知 症 高 齢 者	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		2,037 100.0	954 46.8	391 19.2	98 4.8	70 3.4	3 0.1	36 1.8	433 21.3	52 2.6	
家族 構 成	ひとり暮らし	493 100.0	177 35.9	117 23.7	33 6.7	24 4.9	- -	12 2.4	116 23.5	14 2.8	
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	354 49.0	121 16.7	32 4.4	29 4.0	3 0.4	13 1.8	155 21.4	16 2.2	
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	35 56.5	14 22.6	- -	2 3.2	- -	- -	9 14.5	2 3.2	
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	42 67.7	11 17.7	1 1.6	- -	- -	- -	7 11.3	1 1.6	
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	249 49.4	100 19.8	25 5.0	11 2.2	- -	8 1.6	98 19.4	13 2.6	
	その他	144 100.0	77 53.5	20 13.9	5 3.5	2 1.4	- -	2 1.4	36 25.0	2 1.4	
	無回答	49 100.0	20 40.8	8 16.3	2 4.1	2 4.1	- -	1 2.0	12 24.5	4 8.2	

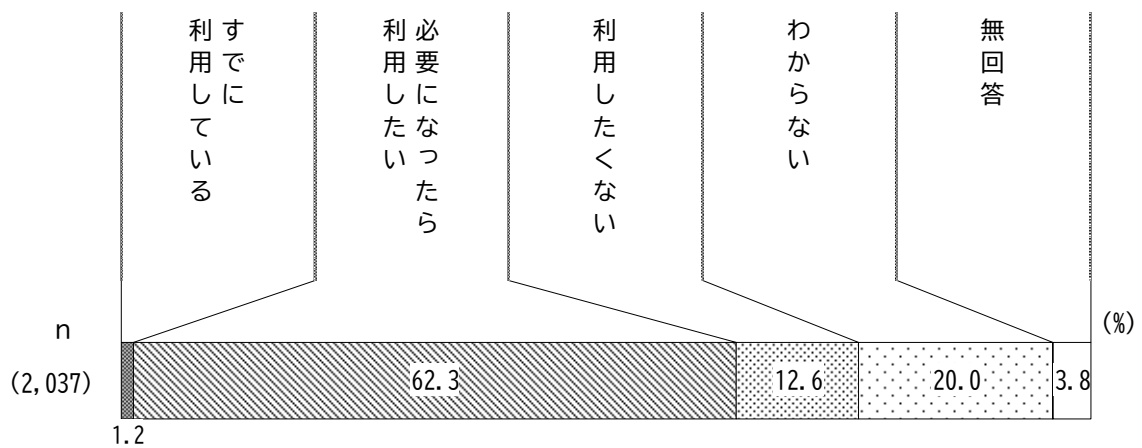
10. 権利擁護について

(1) 「成年後見制度」の利用意向

問30 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたやご家族の判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

「成年後見制度」の利用意向は、「すでに利用している」が1.2%、「必要になったら利用したい」が62.3%で最も高い一方で、「利用したくない」が12.6%となっている。

図表7-10-1 「成年後見制度」の利用意向



性別で見ると、「必要になったら利用したい」は男性67.6%、女性58.6%と男性が女性より9.0ポイント高くなっている。また、「わからない」は男性16.4%、女性22.5%と女性が男性より6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、男女ともにすべての年齢で「必要になったら利用したい」が最も高く、またすべての年齢で男性が女性を上回っている。

図表7-10-2 「成年後見制度」の利用意向（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	すでに 利用して いる	利 必 用 要 し に た っ た ら	利 用 し た く な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	2037 100.0	25 1.2	1270 62.3	257 12.6	407 20.0	78 3.8	
性別・年齢別	男性全体	824 100.0	6 0.7	557 67.6	102 12.4	135 16.4	24 2.9
	男性 65~69歳	184 100.0	- -	130 70.7	21 11.4	29 15.8	4 2.2
	男性 70~74歳	173 100.0	- -	118 68.2	21 12.1	30 17.3	4 2.3
	男性 75~79歳	214 100.0	3 1.4	142 66.4	26 12.1	37 17.3	6 2.8
	男性 80~84歳	139 100.0	3 2.2	94 67.6	18 12.9	19 13.7	5 3.6
	男性 85~89歳	81 100.0	- -	49 60.5	11 13.6	17 21.0	4 4.9
	男性 90歳以上	33 100.0	- -	24 72.7	5 15.2	3 9.1	1 3.0
	女性全体	1181 100.0	19 1.6	692 58.6	151 12.8	266 22.5	53 4.5
	女性 65~69歳	236 100.0	1 0.4	158 66.9	13 5.5	58 24.6	6 2.5
	女性 70~74歳	220 100.0	1 0.5	137 62.3	31 14.1	46 20.9	5 2.3
	女性 75~79歳	267 100.0	4 1.5	154 57.7	38 14.2	59 22.1	12 4.5
	女性 80~84歳	226 100.0	4 1.8	127 56.2	35 15.5	46 20.4	14 6.2
	女性 85~89歳	143 100.0	6 4.2	77 53.8	20 14.0	34 23.8	6 4.2
	女性 90歳以上	89 100.0	3 3.4	39 43.8	14 15.7	23 25.8	10 11.2
	無回答	32 100.0	- -	21 65.6	4 12.5	6 18.8	1 3.1

第7章 高齢者の生活に関する調査

家族構成別にみると、全ての家族構成で「必要になったら利用したい」が最も高くなっている。

図表7-10-3 「成年後見制度」の利用意向（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

項目		調査数 (n)	すでに 利用して いる	利 必 用 要 し た い にな っ た ら	利 用 し た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		2,037 100.0	25 1.2	1270 62.3	257 12.6	407 20.0	78 3.8
家 族 構 成	ひとり暮らし	493 100.0	12 2.4	284 57.6	57 11.6	121 24.5	19 3.9
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	4 0.6	472 65.3	98 13.6	127 17.6	22 3.0
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	- -	42 67.7	10 16.1	8 12.9	2 3.2
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	1 1.6	33 53.2	9 14.5	15 24.2	4 6.5
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	6 1.2	321 63.7	57 11.3	103 20.4	17 3.4
	その他	144 100.0	2 1.4	87 60.4	20 13.9	26 18.1	9 6.3
	無回答	49 100.0	- -	31 63.3	6 12.2	7 14.3	5 10.2

(2) 成年後見制度を利用するために必要な支援

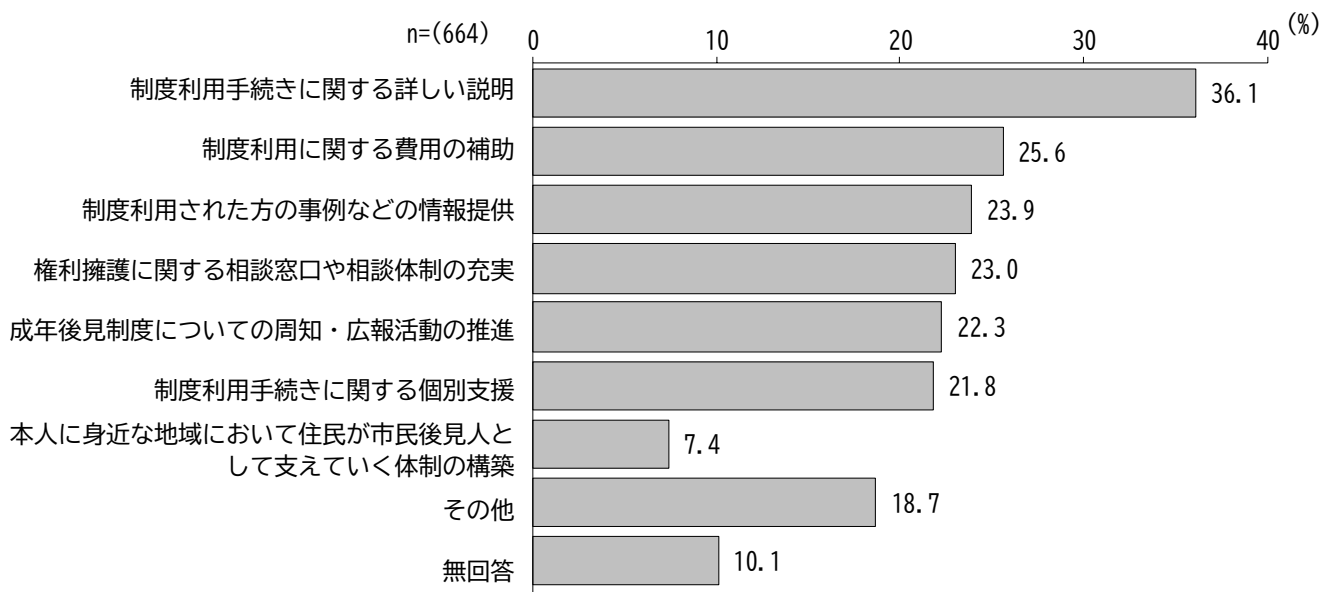
【問30で「3. 利用したくない」「4. わからない」と回答した方におたずねします。】

問31 どのような支援があれば成年後見制度を利用したいと思いますか。

(○はいくつでも)

成年後見制度を利用するために必要な支援は、「制度利用手続きに関する詳しい説明」が36.1%で最も高く、次いで「制度利用に関する費用の補助」が25.6%、「制度利用された方の事例などの情報提供」が23.9%、「権利擁護に関する相談窓口や相談体制の充実」が23.0%となっている。

図表7-10-4 成年後見制度を利用するため必要な支援（複数回答）

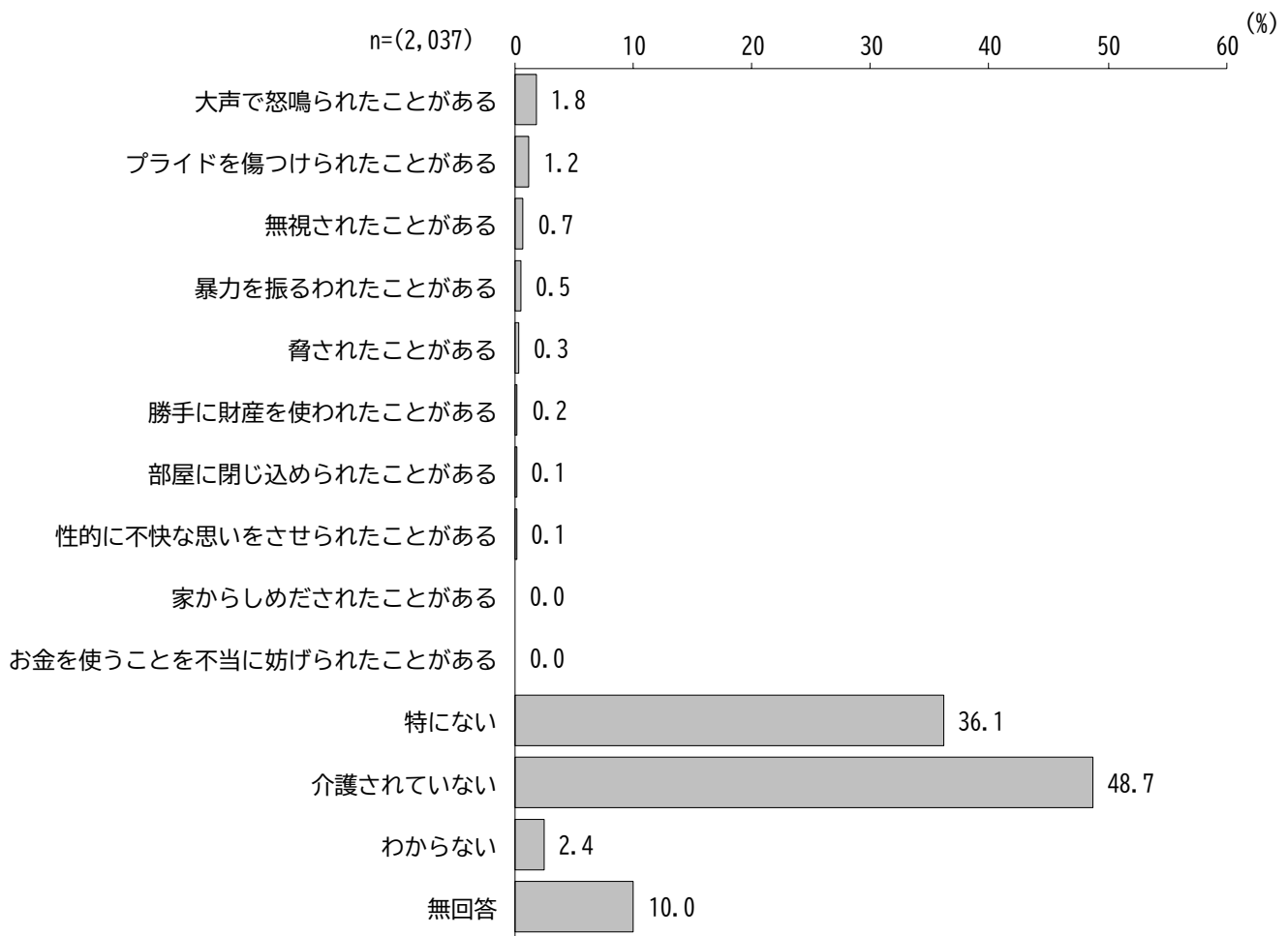


(3) 介護者からの虐待の経験

問32 あなたは、介護者（家族、介護サービス事業者など）から次のようなことをされたことがありますか。（○はいくつでも）

介護者からの虐待の経験は、具体的な虐待の内容では、「大声で怒鳴られたことがある」が1.8%と最も高く、次いで「プライドを傷つけられたことがある」が1.2%となっている。一方、「特にない」は36.1%となっている。

図表7-10-5 介護者からの虐待の経験（複数回答）



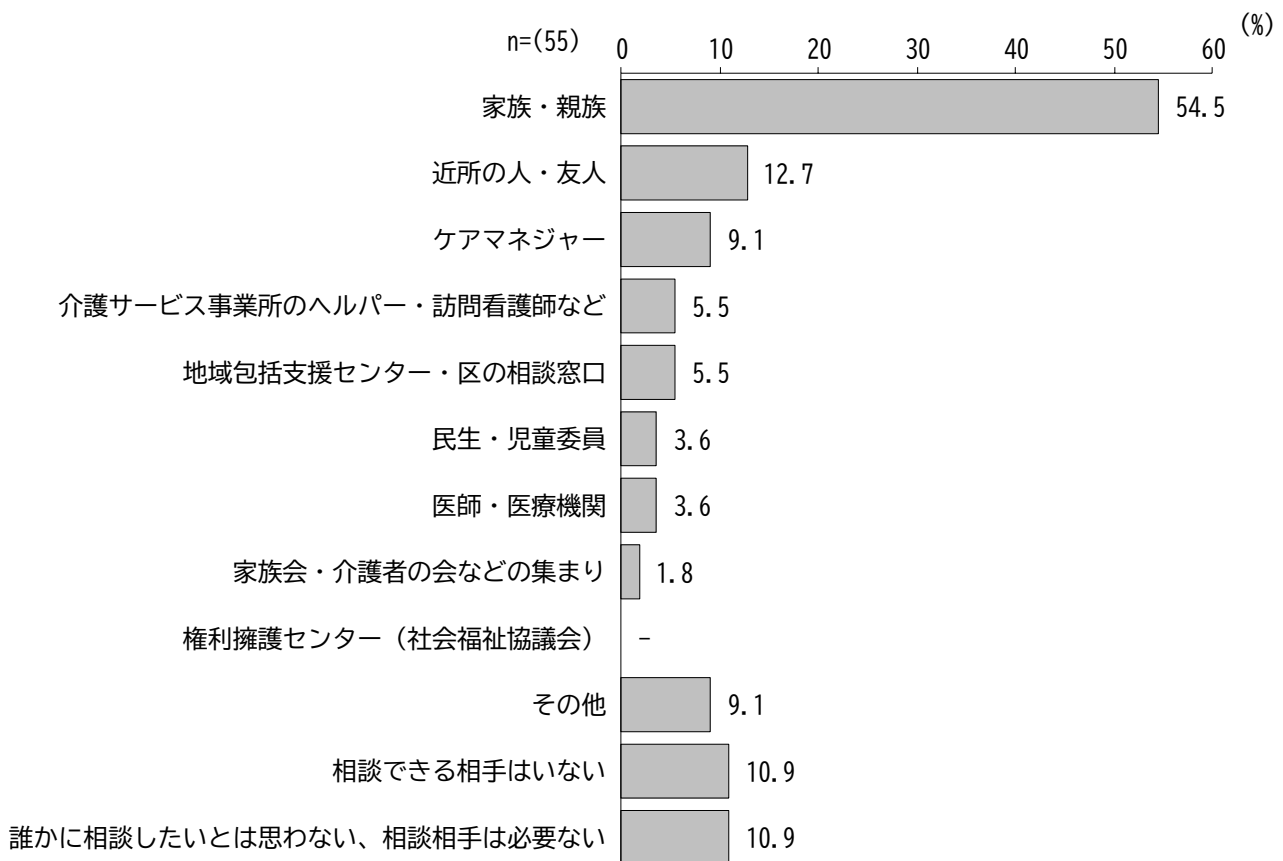
(4) 介護者から虐待を受けた場合の相談先

【問32で「1」～「10」（虐待を受けたことがある）と回答した方におたずねします。】

問33 問32のような行為を受けたとき、誰（どのようなところ）に相談しましたか。
 (〇はいくつでも)

介護者から虐待を受けた場合の相談先は、「家族・親族」が54.5%で最も高く、次いで「近所の人・友人」が12.7%、「ケアマネジャー」が9.1%となっている。

図表7-10-6 介護者から虐待を受けた場合の相談先（複数回答）



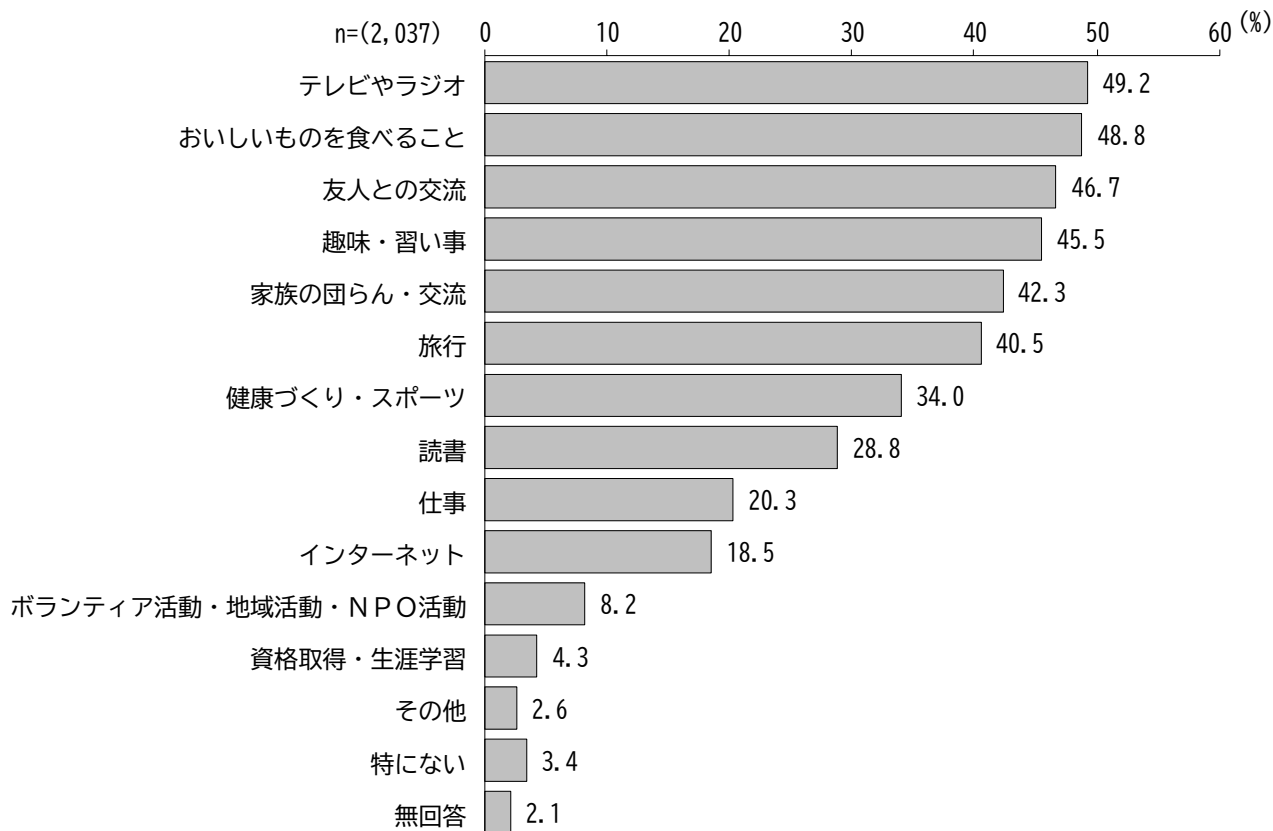
11. 生きがい・社会参加について

(1) 自身の楽しみや生きがい

問34 あなたにとっての楽しみや生きがいは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

自身の楽しみや生きがいは、「テレビやラジオ」が49.2%で最も高く、次いで「おいしいものを食べること」が48.8%、「友人との交流」が46.7%となっている一方で、「特にない」は3.4%となっている。

図表7-11-1 自分にとっての楽しみや生きがい（複数回答）

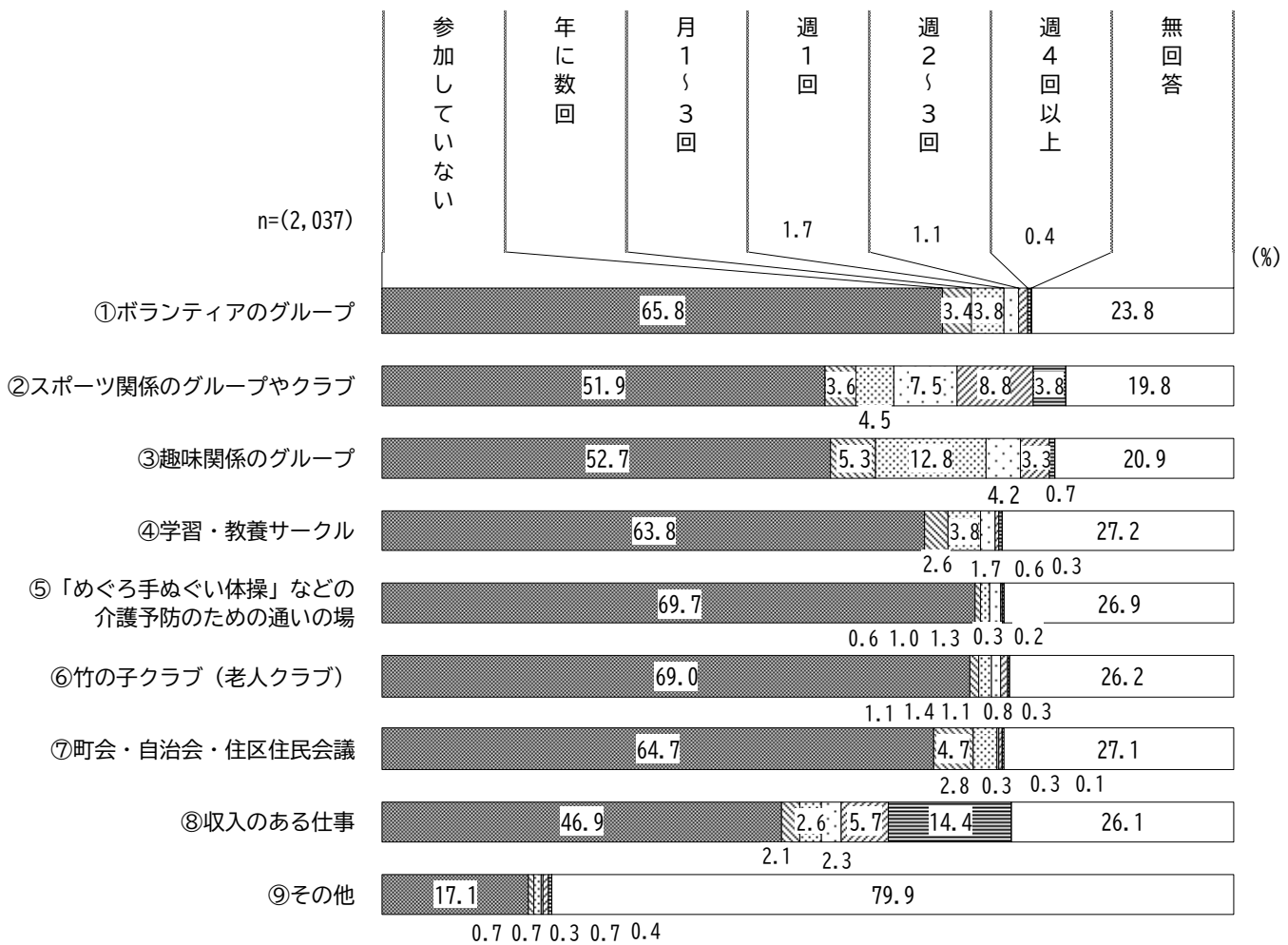


(2) 会やグループへの参加頻度

問35 あなたは、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。以下の①～⑨について、それぞれ1～6のどれかに1つ○をつけてください。

会やグループへの参加頻度は、⑨【その他】を除き、いずれの会・グループも「参加していない」が最も高くなっている。具体的な参加頻度では、【趣味関係のグループ】では「月1～3回」が12.8%、【収入のある仕事】では週4回以上が14.4%と、他の会・グループと比べて高くなっている。

図表7-11-2 会やグループへの参加頻度

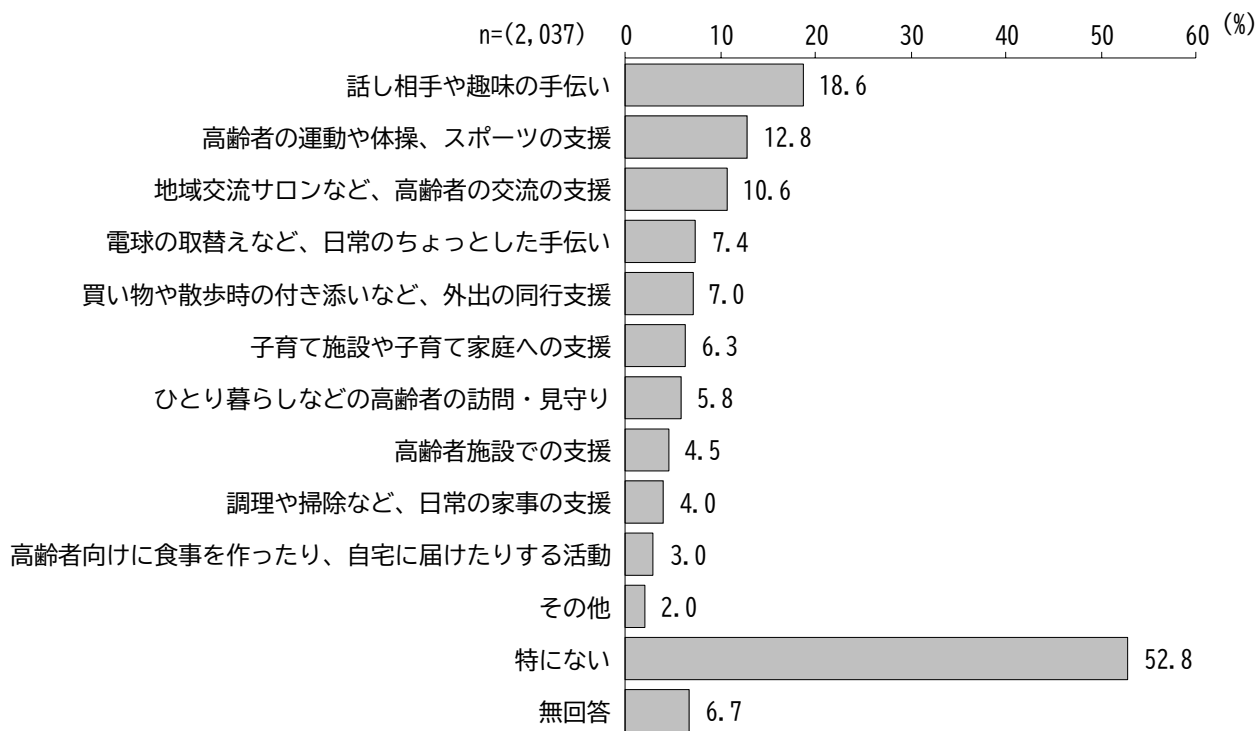


(3) 参加意向のある活動

問36 以下の活動で「参加したい」又は「参加してもよい」と考えるものはどれですか。(○はいくつでも)

参加意向のある活動は、具体的な選択肢では「話し相手や趣味の手伝い」が18.6%で最も高く、次いで、「高齢者の運動や体操、スポーツの支援」が12.8%、「地域交流サロンなど、高齢者の交流の支援」が10.6%となっている。一方、「特にない」は52.8%となっている。

図表7-11-3 参加意向のある活動（複数回答）



図表7-11-4 参加意向のある活動（複数回答）（職業別）

（上段：回答数、下段：%）

項目	調査数（n）	話し相手や趣味の手伝い	高齢者の運動や体操、スポーツの支援	地域交流サロンなど、高齢者の交流の支援	電球の取替えなど、日常のちょっとした手伝い	買い物や散歩時の付き添いなど、外出の同行支援	子育て施設や子育て家庭への支援	ひとり暮らしなどの高齢者の訪問・見守り	高齢者施設での支援	調理や掃除など、日常の家事の支援	活動	高齢者向けに食事を作ったり、自宅に届けたりする	その他	特 に な い	無 回 答
全体	2037 100.0	379 18.6	260 12.8	216 10.6	151 7.4	143 7.0	128 6.3	118 5.8	91 4.5	82 4.0	61 3.0	41 2.0	1076 52.8	136 6.7	
職業	常勤の社員・職員	132 100.0	10 7.6	12 9.1	11 8.3	11 8.3	7 5.3	8 6.1	4 3.0	5 3.8	6 4.5	5 3.8	6 4.5	79 59.8	4 3.0
	非常勤、嘱託、パート、アルバイト	255 100.0	71 27.8	54 21.2	40 15.7	37 14.5	39 15.3	37 14.5	29 11.4	27 10.6	17 6.7	15 5.9	6 2.4	102 40.0	10 3.9
	自営業、自由業（フリーランス）	243 100.0	48 19.8	32 13.2	20 8.2	28 11.5	10 4.1	16 6.6	9 3.7	7 2.9	15 6.2	8 3.3	4 1.6	128 52.7	15 6.2
	シルバー人材センターの就労	34 100.0	10 29.4	4 11.8	5 14.7	8 23.5	8 23.5	2 5.9	9 26.5	1 2.9	4 11.8	1 2.9	1 2.9	9 26.5	3 8.8
	その他	104 100.0	12 11.5	14 13.5	6 5.8	2 1.9	4 3.8	7 6.7	2 1.9	2 1.9	2 1.9	2 1.9	4 3.8	57 54.8	12 11.5
	仕事はしていない（年金収入のみを含む）	1255 100.0	224 17.8	144 11.5	133 10.6	64 5.1	74 5.9	58 4.6	64 5.1	49 3.9	37 2.9	30 2.4	20 1.6	696 55.5	89 7.1
	無回答	14 100.0	4 28.6	-	1 7.1	1 7.1	1 7.1	-	1 7.1	-	1 7.1	-	-	5 35.7	3 21.4

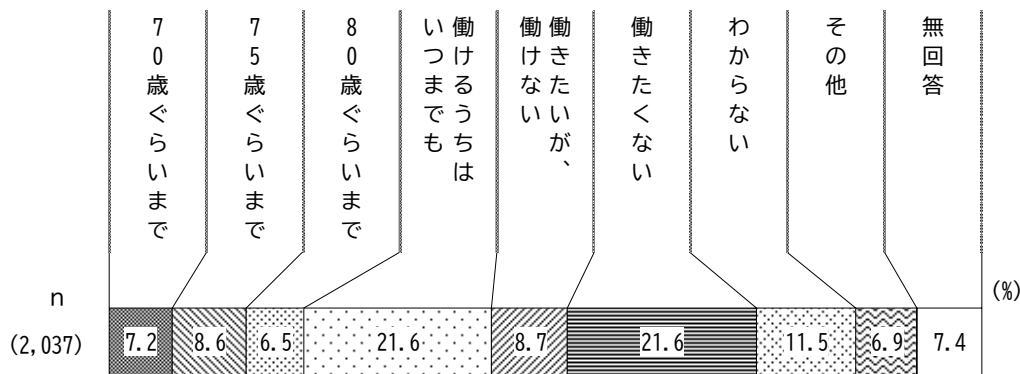
12. 就労意向について

(1) 収入を伴う仕事をしたい年齢

問37 あなたは、何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいですか。(○は1つ)

収入を伴う仕事をしたい年齢は、「働けるうちはいつまでも」と「働きたくない」がともに21.6%で最も高くなっている。

図表7-12-1 収入を伴う仕事をしたい年齢



職業別にみると、「仕事はしていない」を除く職業で、「働けるうちはいつまでも」が最も高くなっている。また、「75歳ぐらいいまで」は「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」で27.1%、「働きたくない」は「仕事はしていない」で31.9%とそれぞれ他の職業と比べて高くなっている。

図表7-12-2 収入を伴う仕事をしたい年齢（職業別）

項目	調査数 (n)	(上段: 回答数, 下段: %)									
		70歳ぐらいいまで	75歳ぐらいいまで	80歳ぐらいいまで	働けるうちはいつまでも	働きたいが、働きたくない	働きたくない	わからない	その他	無回答	
全体	2037	147	175	132	440	178	440	234	140	151	
	100.0	7.2	8.6	6.5	21.6	8.7	21.6	11.5	6.9	7.4	
職業	常勤の社員・職員	132	20	26	19	55	2	2	1	4	3
		100.0	15.2	19.7	14.4	41.7	1.5	1.5	0.8	3.0	2.3
	非常勤、嘱託、パート、アルバイト	255	34	69	36	102	-	5	7	1	1
		100.0	13.3	27.1	14.1	40.0	-	2.0	2.7	0.4	0.4
	自営業、自由業 (フリーランス)	243	16	21	29	116	3	14	17	16	11
		100.0	6.6	8.6	11.9	47.7	1.2	5.8	7.0	6.6	4.5
	シルバー人材センターの就労	34	-	1	4	28	-	-	-	-	1
	100.0	-	2.9	11.8	82.4	-	-	-	-	2.9	
その他	104	4	9	5	23	10	19	16	7	11	
	100.0	3.8	8.7	4.8	22.1	9.6	18.3	15.4	6.7	10.6	
仕事はしていない (年金収入のみを含む)	1255	72	48	39	110	163	400	192	111	120	
	100.0	5.7	3.8	3.1	8.8	13.0	31.9	15.3	8.8	9.6	
無回答	14	1	1	-	6	-	-	1	1	4	
	100.0	7.1	7.1	-	42.9	-	-	7.1	7.1	28.6	

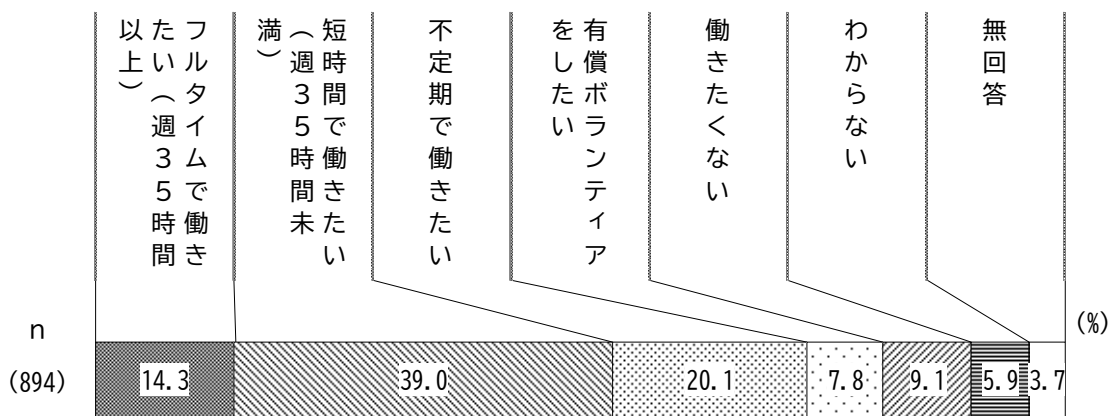
(2) 今後の就労意向

【問37で「1」～「4」と回答した方におたずねします。】

問38 あなたは今後働きたいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

今後の就労意向は、「短時間で働きたい(週35時間未満)」が39.0%で最も高く、次いで「不
定期で働きたい」が20.1%、「フルタイムで働きたい(週35時間以上)」と「有償ボランティア
をしたい」も合わせると81.2%となっている。

図表7-12-3 今後の就労意向



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別でみると、「フルタイムで働きたい（週35時間以上）」では男性19.1%、女性9.6%と男性が女性を9.5ポイント上回っている一方で、「有償ボランティアをしたい」では男性5.0%、女性10.7%と女性が男性を5.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、男性では「短時間で働きたい」が「65歳～69歳」「70～74歳」で4割以上、「不定期で働きたい」が「75～79歳」で35.0%となっている。女性では「65～69歳」「70～74歳」で「短時間で働きたい」がともに50.0%となっている。

図表7-12-4 今後の就労意向（性別・年齢別）

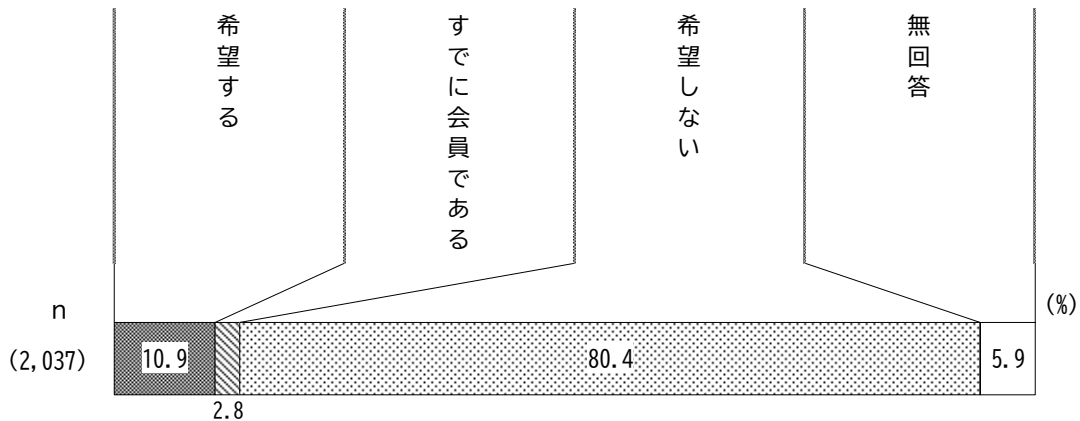
項目	調査数 (n)	(上段:回答数、下段:%)							
		(フルタイムで働きたい 週35時間以上)	(短時間で働きたい 週35時間未満)	不定期で働きたい	有償ボランティアをしたい	働きたくない	わからない	無回答	
全体	894 100.0	128 14.3	349 39.0	180 20.1	70 7.8	81 9.1	53 5.9	33 3.7	
性別・年齢別	男性全体	439 100.0	84 19.1	169 38.5	96 21.9	22 5.0	36 8.2	24 5.5	8 1.8
	男性 65～69歳	135 100.0	42 31.1	64 47.4	12 8.9	7 5.2	2 1.5	7 5.2	1 0.7
	男性 70～74歳	109 100.0	19 17.4	45 41.3	23 21.1	9 8.3	10 9.2	2 1.8	1 0.9
	男性 75～79歳	103 100.0	13 12.6	34 33.0	36 35.0	2 1.9	10 9.7	6 5.8	2 1.9
	男性 80～84歳	53 100.0	7 13.2	19 35.8	14 26.4	2 3.8	6 11.3	3 5.7	2 3.8
	男性 85～89歳	32 100.0	2 6.3	5 15.6	9 28.1	2 6.3	7 21.9	5 15.6	2 6.3
	男性 90歳以上	7 100.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	-	1 14.3	1 14.3	-
	女性全体	438 100.0	42 9.6	174 39.7	78 17.8	47 10.7	43 9.8	29 6.6	25 5.7
	女性 65～69歳	122 100.0	17 13.9	61 50.0	19 15.6	16 13.1	2 1.6	4 3.3	3 2.5
	女性 70～74歳	112 100.0	5 4.5	56 50.0	22 19.6	11 9.8	7 6.3	7 6.3	4 3.6
	女性 75～79歳	102 100.0	14 13.7	29 28.4	19 18.6	12 11.8	11 10.8	11 10.8	6 5.9
	女性 80～84歳	56 100.0	5 8.9	17 30.4	9 16.1	7 12.5	9 16.1	4 7.1	5 8.9
	女性 85～89歳	34 100.0	1 2.9	10 29.4	7 20.6	1 2.9	10 29.4	1 2.9	4 11.8
	女性 90歳以上	12 100.0	-	1 8.3	2 16.7	-	4 33.3	2 16.7	3 25.0
	無回答	17 100.0	2 11.8	6 35.3	6 35.3	1 5.9	2 11.8	-	-

(3) シルバー人材センターでの就労意向

問39 あなたは、今後、シルバー人材センターの会員となり、仕事をしたいと思いますか。
(○は1つ)

シルバー人材センターでの就労意向は、「希望しない」が80.4%で最も高く、「希望する」10.9%と「すでに会員である」2.8%の合計は13.7%となっている。

図表7-12-5 シルバー人材センターでの就労意向

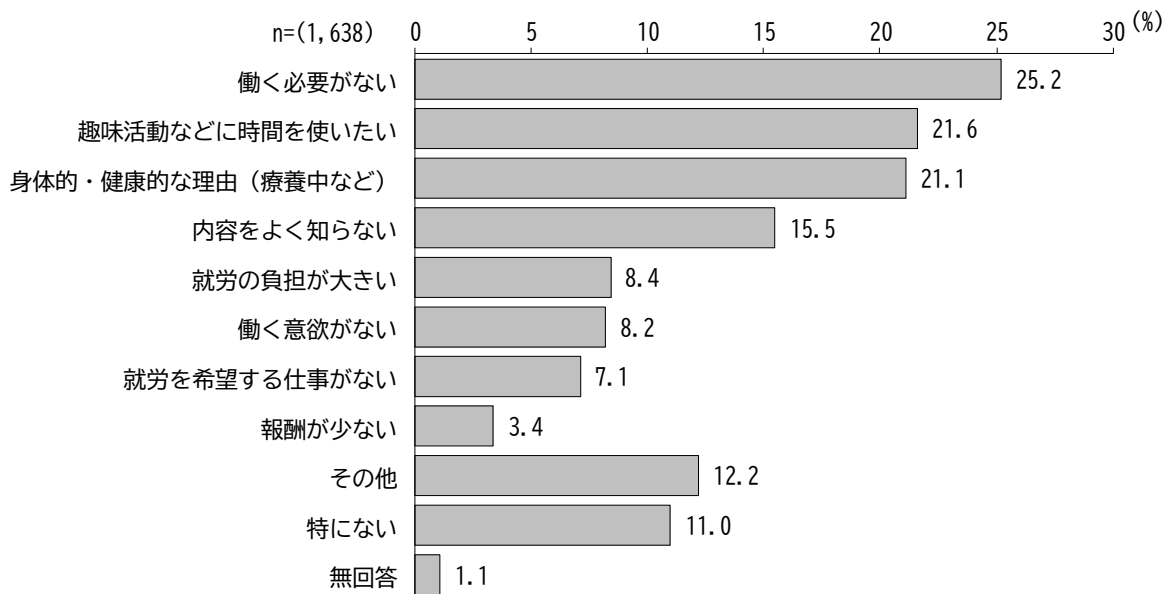


(4) シルバー人材センターでの就労を希望しない理由

【問39で「3. 希望しない」と回答した方におたずねします。】
問40 あなたがシルバー人材センターでの就労を希望しない理由はどれですか。
(○はいくつでも)

シルバー人材センターでの就労を希望しない理由は、「働く必要がない」が25.2%で最も高く、次いで「趣味活動などに時間を使いたい」が21.6%、「身体的・健康的な理由（療養中など）」が21.1%、「内容をよく知らない」が15.5%となっている。

図表7-12-6 シルバー人材センターでの就労を希望しない理由（複数回答）



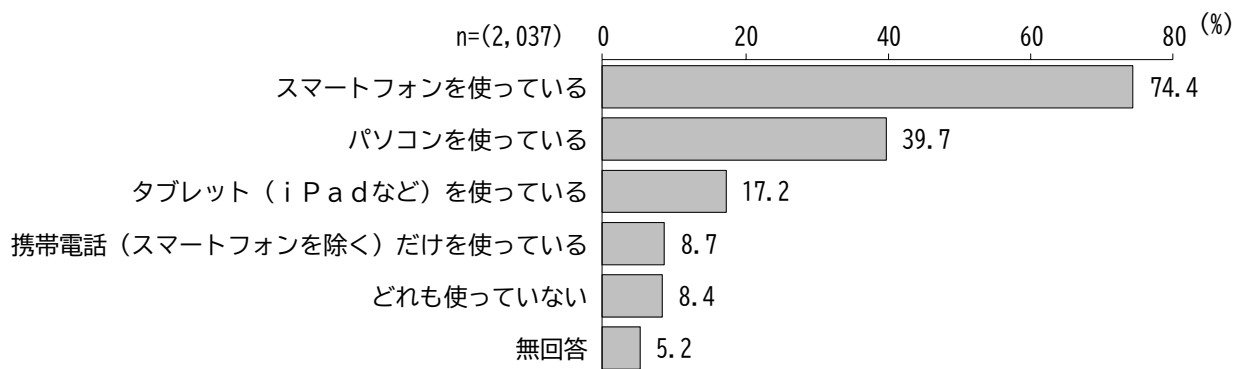
13. デジタル技術の活用について

(1) 通信・通話機器の使用状況

問41 あなたは日頃、通信・通話機器を使っていますか。(〇はいくつでも)

通信・通話機器の使用状況は、「スマートフォンを使っている」が74.4%で最も高く、次いで「パソコンを使っている」が39.7%、「タブレット（iPadなど）を使っている」が17.2%となる一方で、「どれも使っていない」は8.4%となっている。

図表7-13-1 通信・通話機器の使用状況（複数回答）



性別で見ると、「パソコンを使っている」は男性56.6%、女性27.8%で男性が女性を28.8ポイント上回っている。

年齢別にみると男女ともに「スマートフォンを使っている」と「パソコンを使っている」は年齢が上がるほど低くなっている。また、女性では「携帯電話（スマートフォンを除く）だけを使っている」が「85～89歳」で25.9%、「どれも使っていない」が「90歳以上」で34.8%、「85～89歳」で22.4%と、他の年齢と比べて高くなっている。

図表7-13-2 通信・通話機器の使用状況（性別・年齢別）

（上段：回答数、下段：%）

項目	調査数（n）	スマートフォンを使っている	パソコンを使っている	タブレット（iPadなど）を使っている	携帯電話（スマートフォンを除く）だけを使っている	どれも使っていない	無回答	
全体	2,037	1516	809	351	177	172	106	
	100.0	74.4	39.7	17.2	8.7	8.4	5.2	
性別・年齢別	男性全体	824	627	466	163	56	60	39
		100.0	76.1	56.6	19.8	6.8	7.3	4.7
	男性 65～69歳	184	174	131	61	3	1	4
		100.0	94.6	71.2	33.2	1.6	0.5	2.2
	男性 70～74歳	173	146	106	41	8	6	4
		100.0	84.4	61.3	23.7	4.6	3.5	2.3
	男性 75～79歳	214	161	127	32	16	12	11
		100.0	75.2	59.3	15.0	7.5	5.6	5.1
	男性 80～84歳	139	89	62	17	13	18	11
		100.0	64.0	44.6	12.2	9.4	12.9	7.9
	男性 85～89歳	81	48	33	10	9	14	5
		100.0	59.3	40.7	12.3	11.1	17.3	6.2
	男性 90歳以上	33	9	7	2	7	9	4
		100.0	27.3	21.2	6.1	21.2	27.3	12.1
女性全体	1,181	867	328	183	120	108	63	
	100.0	73.4	27.8	15.5	10.2	9.1	5.3	
女性 65～69歳	236	226	119	74	2	-	5	
	100.0	95.8	50.4	31.4	0.8	-	2.1	
女性 70～74歳	220	191	80	32	8	9	9	
	100.0	86.8	36.4	14.5	3.6	4.1	4.1	
女性 75～79歳	267	214	72	41	23	15	9	
	100.0	80.1	27.0	15.4	8.6	5.6	3.4	
女性 80～84歳	226	150	41	19	31	21	19	
	100.0	66.4	18.1	8.4	13.7	9.3	8.4	
女性 85～89歳	143	61	13	16	37	32	10	
	100.0	42.7	9.1	11.2	25.9	22.4	7.0	
女性 90歳以上	89	25	3	1	19	31	11	
	100.0	28.1	3.4	1.1	21.3	34.8	12.4	
無回答	32	22	15	5	1	4	4	
	100.0	68.8	46.9	15.6	3.1	12.5	12.5	

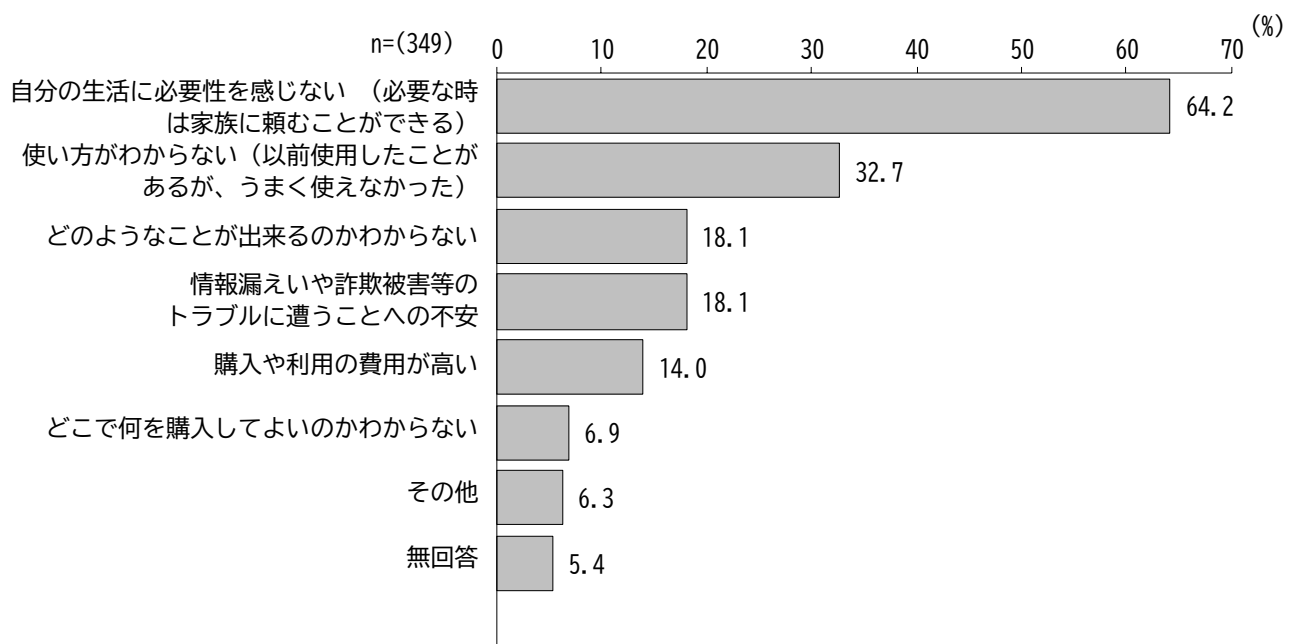
(2) スマートフォンやタブレット、パソコンを使っていない理由

【問41でスマートフォン、タブレット、パソコンを使っていないを選択した方におたずねします。】

問42 スマートフォンやタブレット、パソコンを使っていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

スマートフォンやタブレット、パソコンを使っていない理由は、「自分の生活に必要性を感じない(必要な時は家族に頼むことができる)」が64.2%で最も高く、次いで「使い方がわからない(以前使用したことがあるが、うまく使えなかった)」が32.7%、「どのようなことが出来るのかわからない」が18.1%、「情報漏えいや詐欺被害等のトラブルに遭うことへの不安」が18.1%となっている。

図表7-13-3 スマートフォンやタブレット、パソコンを使っていない理由(複数回答)



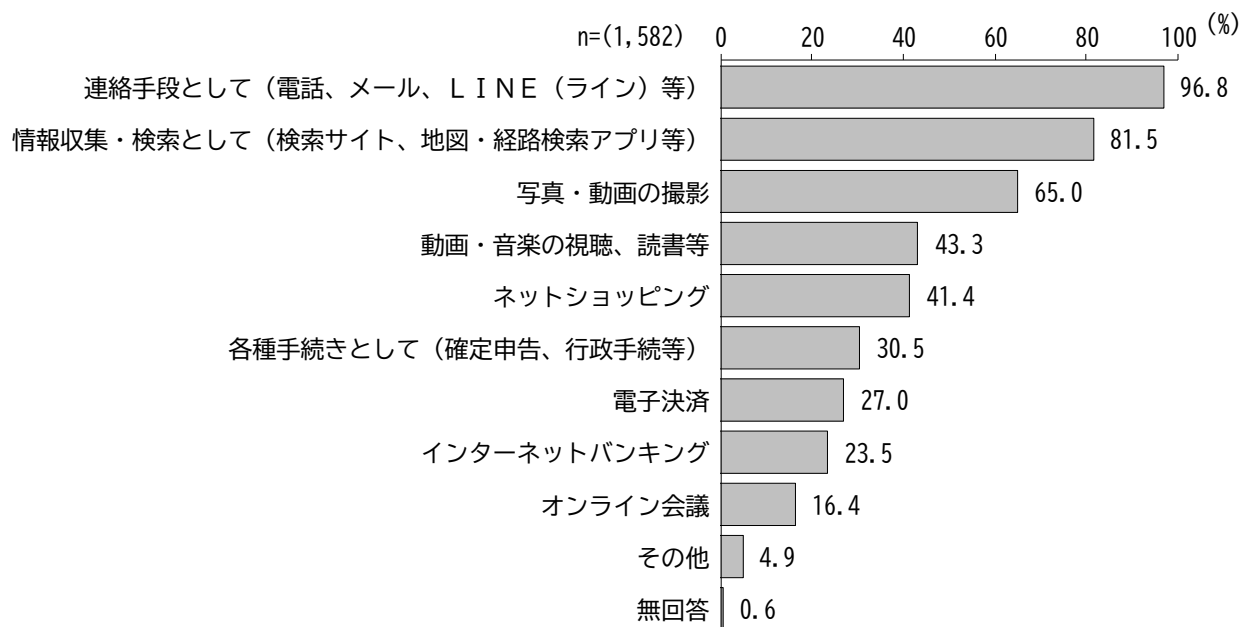
(3) スマートフォン・タブレットやパソコンの使用用途

【問41でスマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを使っているを選択した方におたずねします。】

問43 現在、スマートフォン・タブレットやパソコンをどのようなことに使用していますか。(〇はいくつでも)

スマートフォン・タブレットやパソコンの使用用途は、「連絡手段として（電話、メール、LINE（ライン）等）」が96.8%で最も高く、次いで「情報収集・検索として（検索サイト、地図・経路検索アプリ等）」が81.5%、「写真・動画の撮影」が65.0%となる一方で、「オンライン会議」での使用も16.4%となっている。

図表7-13-4 スマートフォン・タブレットやパソコンの使用用途（複数回答）



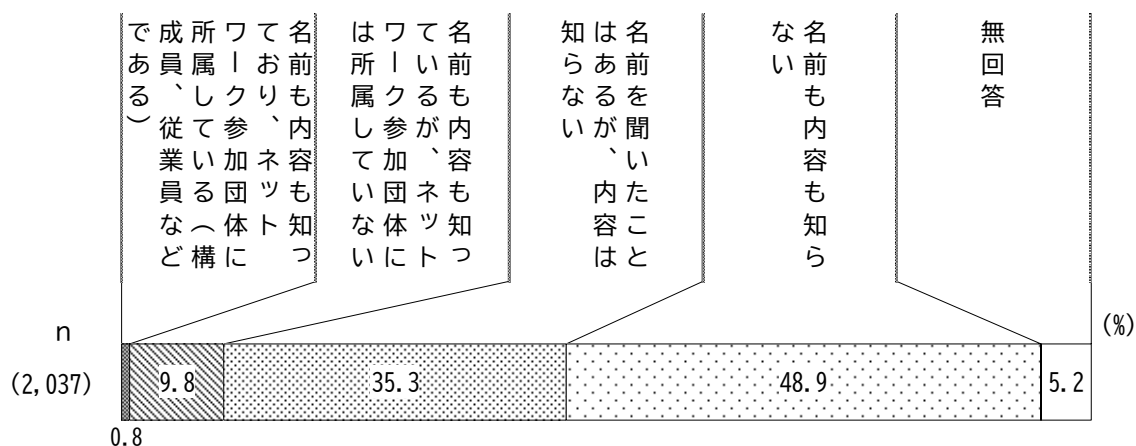
14. 地域での見守りや支え合いについて

(1) 「見守りネットワーク」の認知度

問44 目黒区では、事業者や団体などが仕事や活動を通して地域の高齢者などをゆるやかに見守る「見守りネットワーク」を実施しています。あなたは「見守りネットワーク」をご存じですか。(〇は1つ)

「見守りネットワーク」の認知度は、「名前も内容も知らない」が48.9%で最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が35.3%となっている一方で、「名前も内容も知っているが、ネットワーク参加団体には所属していない」9.8%と、「名前も内容も知っており、ネットワーク参加団体に所属している（構成員、従業員などである）」0.8%の合計は10.6%となっている。

図表7-14-1 「見守りネットワーク」の認知度



家族構成別にみると、すべての家族構成で「名前も内容も知らない」が最も高くなっている。

図表7-14-2 「見守りネットワーク」の認知度（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

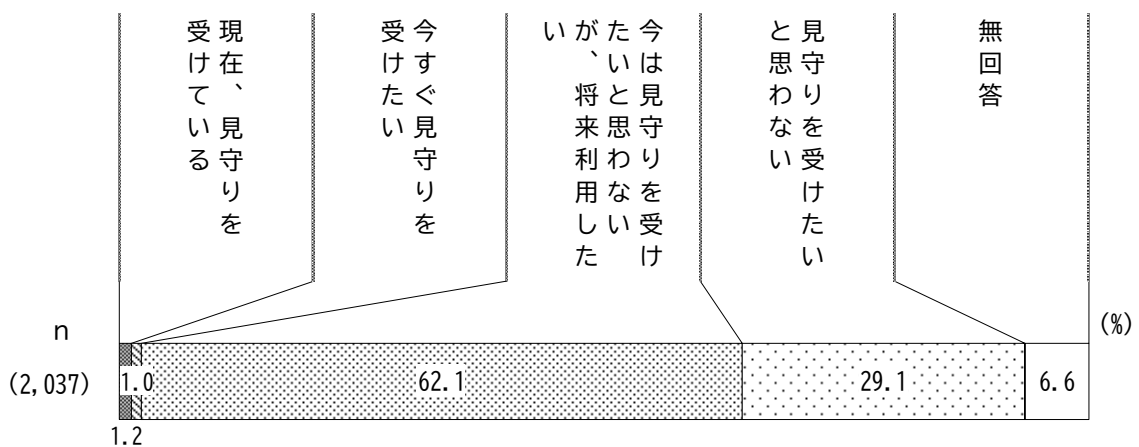
項目	調査数 (n)	(上段:回答数、下段:%)					無回答
		名前も内容も知らない (構成員、従業員などである)	名前も内容も知らない (ネットワーク参加団体に所属している)	名前も内容も知らない (ネットワーク参加団体に所属している)	名前も内容も知らない (ネットワーク参加団体に所属している)	名前も内容も知らない (ネットワーク参加団体に所属している)	
全体	2,037 100.0	16 0.8	199 9.8	720 35.3	996 48.9	106 5.2	
家族構成	ひとり暮らし	493 100.0	4 0.8	56 11.4	162 32.9	238 48.3	33 6.7
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	7 1.0	60 8.3	275 38.0	354 49.0	27 3.7
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	- -	5 8.1	19 30.6	36 58.1	2 3.2
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	- -	7 11.3	12 19.4	38 61.3	5 8.1
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	4 0.8	47 9.3	189 37.5	237 47.0	27 5.4
	その他	144 100.0	1 0.7	20 13.9	48 33.3	68 47.2	7 4.9
	無回答	49 100.0	- -	4 8.2	15 30.6	25 51.0	5 10.2

(2) 「高齢者見守り訪問事業」の利用意向

問45 目黒区では、見守りを希望するひとり暮らしなどの高齢者を、見守りボランティアが定期的に訪問または戸外から見守る「高齢者見守り訪問事業」を実施しています。あなたは、このような見守りを受けたいと思いますか。(○は1つ)

「高齢者見守り訪問事業」の利用意向は、「今は見守りを受けたいと思わないが、将来利用したい」が62.1%で最も高く、「現在、見守りを受けている」1.2%と、「今すぐ見守りを受けたい」1.0%も合わせると64.3%となっている。一方「見守りを受けたいと思わない」は29.1%となっている。

図表7-14-3 「高齢者見守り訪問事業」の利用意向



家族構成別にみると、全ての家族構成で「今は見守りを受けたいと思わないが、将来利用したい」が最も高くなっている。また、「見守りを受けたいと思わない」が「子供との同居（子供は65歳以上）」で43.5%、「子供との同居（子供は64歳以下）」で36.9%となっている。

図表7-14-4 「高齢者見守り訪問事業」の利用意向（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	受現在、見守りを	受けたくない見守りを	用と今は見守りを受けたい	思見守りを受けたいと	無回答	
		受現在、見守りを	受けたくない見守りを	用と今は見守りを受けたい	思見守りを受けたいと		
全体	2,037 100.0	25 1.2	20 1.0	1265 62.1	592 29.1	135 6.6	
家族構成	ひとり暮らし	493 100.0	21 4.3	16 3.2	299 60.6	120 24.3	37 7.5
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	1 0.1	2 0.3	498 68.9	183 25.3	39 5.4
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	- -	- -	47 75.8	13 21.0	2 3.2
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	1 1.6	1 1.6	26 41.9	27 43.5	7 11.3
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	1 0.2	1 0.2	282 56.0	186 36.9	34 6.7
	その他	144 100.0	1 0.7	- -	90 62.5	44 30.6	9 6.3
	無回答	49 100.0	- -	- -	23 46.9	19 38.8	7 14.3

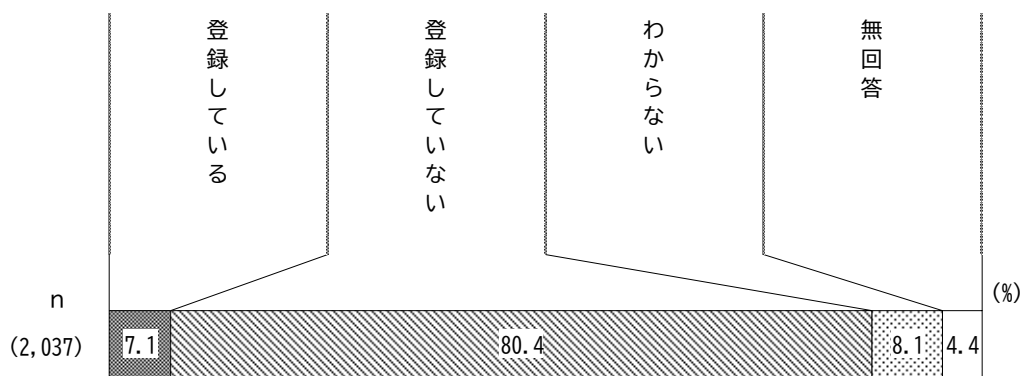
15. 目黒区の高齢者への生活支援サービスなどについて

(1) 「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録状況

問46 目黒区では、65歳以上の方でひとり暮らしや高齢者のみの世帯の方に緊急連絡先、電話番号などを登録していただき、緊急時や災害時の安否確認などに対応するための「ひとりぐらし等高齢者登録」を行っています。あなたは登録していますか。(○は1つ)

「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録状況は、「登録していない」が80.4%、「登録している」が7.1%となっている。

図表7-15-1 「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録状況



家族構成別にみると、すべての家族構成で「登録していない」が最も高くなっている。また、「登録している」は「ひとり暮らし」で19.3%と、他の家族構成と比べて高くなっている。

図表7-15-2 「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録状況（家族構成別）

		(上段: 回答数、下段: %)				
項目	調査数 (n)	登録している	登録していない	わからない	無回答	
全体	2,037	145	1637	166	89	
		100.0	80.4	8.1	4.4	
家族構成	ひとり暮らし	493	95	333	47	18
		100.0	19.3	67.5	9.5	3.7
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723	25	616	56	26
		100.0	3.5	85.2	7.7	3.6
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62	-	57	2	3
		100.0	-	91.9	3.2	4.8
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62	4	41	9	8
		100.0	6.5	66.1	14.5	12.9
子供との同居 (子供は64歳以下)	504	16	426	38	24	
	100.0	3.2	84.5	7.5	4.8	
その他	144	3	126	10	5	
	100.0	2.1	87.5	6.9	3.5	
無回答	49	2	38	4	5	
	100.0	4.1	77.6	8.2	10.2	

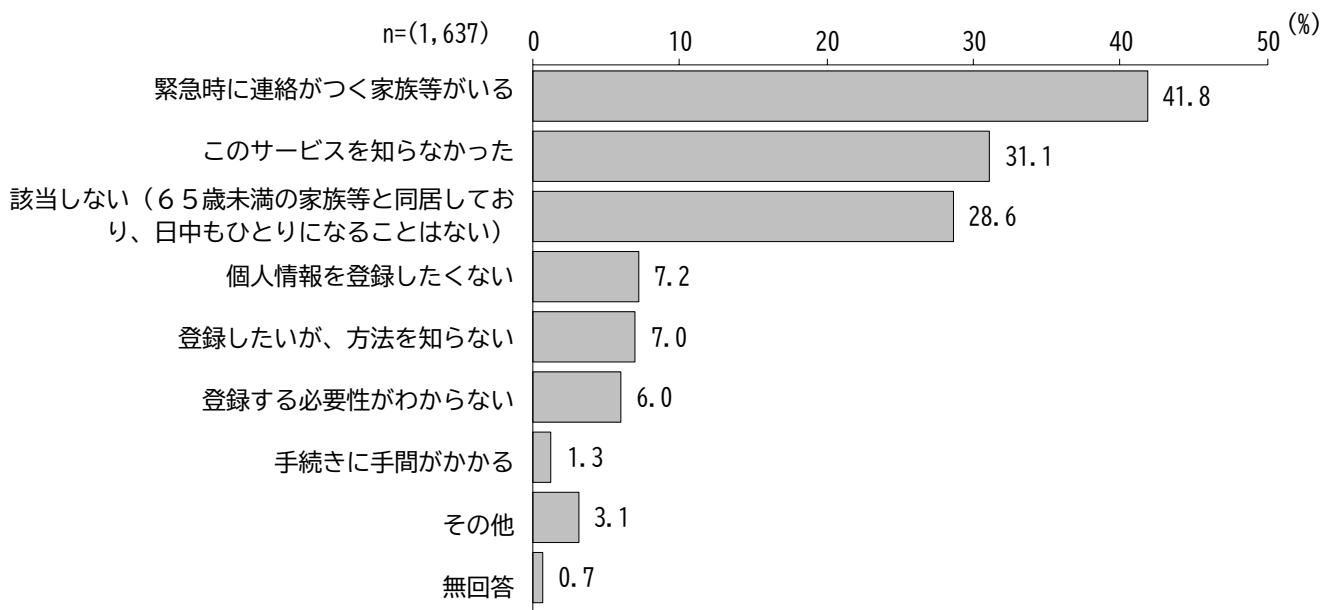
(2) 「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録をしていない理由

【問46で、「登録していない」と回答した方におたずねします。】

問47 登録していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録をしていない理由は、「緊急時に連絡がつく家族等がいる」が41.8%で最も高く、次いで「このサービスを知らなかった」が31.1%、「個人情報を登録したくない」が7.2%となっている。

図表7-15-3 「ひとりぐらし等高齢者登録」の登録をしていない理由（複数回答）

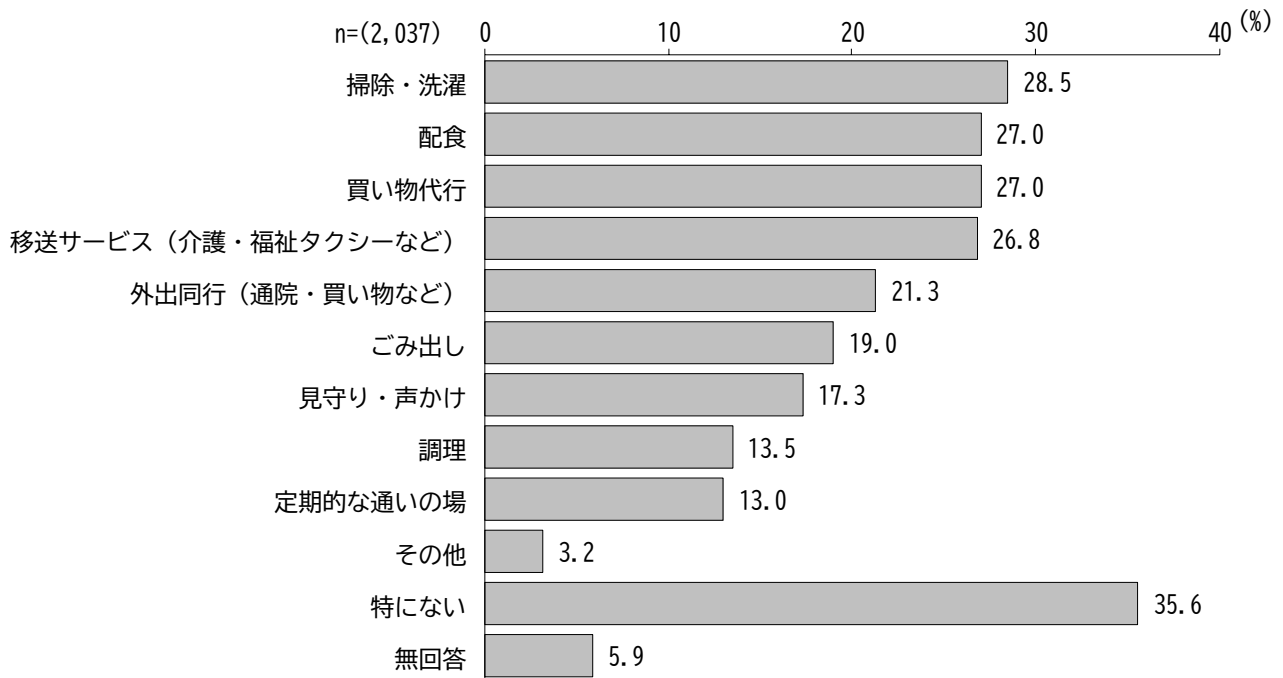


(3) 在宅生活継続に必要な支援やサービス

問48 あなたは、自宅での生活を続けるためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

在宅生活継続に必要な支援やサービスは、具体的な選択肢では「掃除・洗濯」が28.5%で最も高く、次いで「配食」「買い物代行」が27.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が26.8%となっている。一方、「特にない」は35.6%となっている。

図表7-15-4 在宅生活継続に必要な支援やサービス（複数回答）



家族構成別にみると、「掃除・洗濯」は「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」で31.3%、「配食」は「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」で37.1%となっている。

図表7-15-5 在宅生活継続に必要な支援やサービス（家族構成別）

		(上段:回答数、下段:%)												
項目	調査数 (n)	掃除・洗濯	配食	買い物代行	福祉サービス (介護・ 移送サービス など)	外出同行 (通院・買 物など)	ごみ出し	見守り・声かけ	調理	定期的な通いの場	その他	特 に な い	無 回 答	
全体	2,037 100.0	580 28.5	551 27.0	550 27.0	545 26.8	434 21.3	388 19.0	352 17.3	274 13.5	265 13.0	65 3.2	726 35.6	121 5.9	
家族構成	ひとり暮らし	493 100.0	140 28.4	123 24.9	131 26.6	109 22.1	107 21.7	86 17.4	96 19.5	49 9.9	66 13.4	16 3.2	171 34.7	31 6.3
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	226 31.3	216 29.9	211 29.2	206 28.5	149 20.6	154 21.3	126 17.4	114 15.8	93 12.9	27 3.7	251 34.7	34 4.7
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	18 29.0	23 37.1	17 27.4	22 35.5	10 16.1	12 19.4	17 27.4	9 14.5	9 14.5	1 1.6	17 27.4	4 6.5
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	17 27.4	14 22.6	11 17.7	14 22.6	9 14.5	10 16.1	5 8.1	8 12.9	4 6.5	1 1.6	24 38.7	8 12.9
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	135 26.8	129 25.6	130 25.8	139 27.6	110 21.8	94 18.7	68 13.5	70 13.9	66 13.1	14 2.8	188 37.3	30 6.0
	その他	144 100.0	34 23.6	35 24.3	38 26.4	44 30.6	38 26.4	24 16.7	37 25.7	16 11.1	24 16.7	4 2.8	55 38.2	9 6.3
	無回答	49 100.0	10 20.4	11 22.4	12 24.5	11 22.4	11 22.4	8 16.3	3 6.1	8 16.3	3 6.1	2 4.1	20 40.8	5 10.2

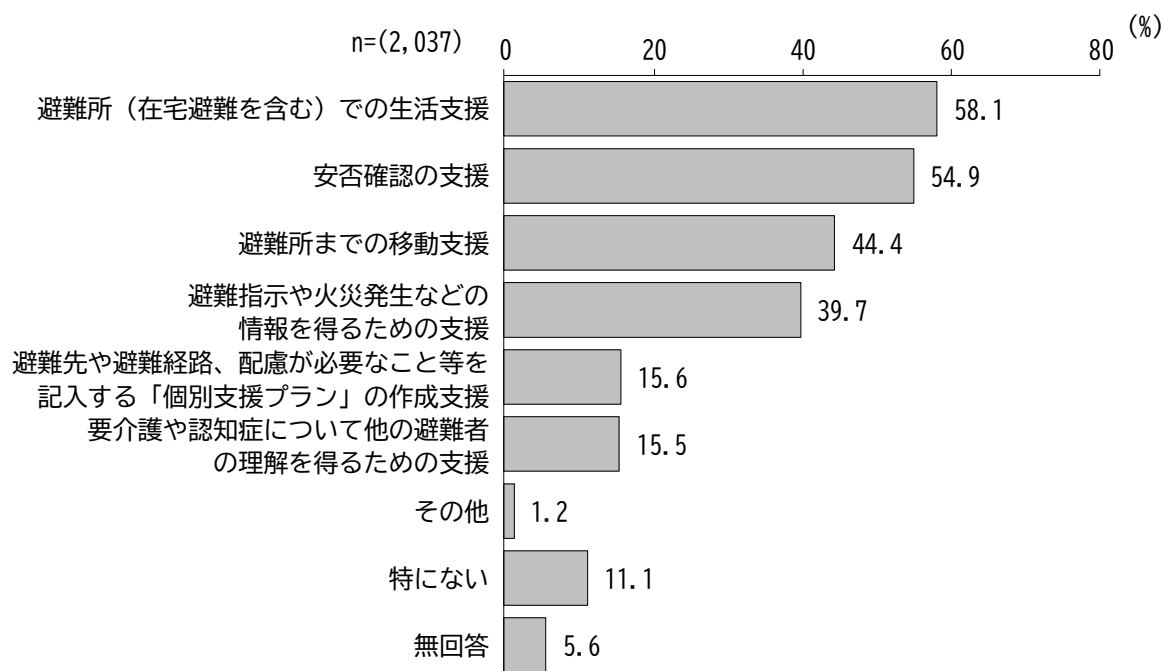
16. 災害時の対策について

(1) 災害時に必要な支援

問49 災害（地震、風水害等）が発生した時や事前の備えに、どのような支援が必要と思いますか。（〇はいくつでも）

災害時に必要な支援は、「避難所（在宅避難を含む）での生活支援」が58.1%で最も高く、次いで「安否確認の支援」が54.9%、「避難所までの移動支援」が44.4%、「避難指示や火災発生などの情報を得るための支援」が39.7%となっている。

図表7-16-1 災害時に必要な支援（複数回答）



家族構成別にみると、「避難所（在宅避難を含む）での生活支援」は「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」で6割以上となっている。また、「ひとり暮らし」では「安否確認の支援」が55.6%、「子供との同居（子供は65歳以上）」では「避難所までの移動支援」が51.6%と高くなっている。

図表7-16-2 災害時に必要な支援（家族構成別）

（上段：回答数、下段：％）

項目	調査数 (n)	の避難所 生活支援 (在宅避難を含む) で	安否 確認の 支援	避難 所ま での 移動 支援	報 告 指 示 た め の 支 援	避 難 所 ま での 移 動 支 援	支 援 プ ラ ン の 作 成 支 援	要 な こ と や 等 を 記 入 す る 支 援	避 難 先 や 避 難 経 路 、 配 慮 が 必 ず な り の 支 援	援 介 護 の 理 解 を 得 る た め の 支 援	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	2037 100.0	1184 58.1	1119 54.9	904 44.4	808 39.7	317 15.6	316 15.5	25 1.2	227 11.1	115 5.6			
家族 構 成	ひとり暮らし	493 100.0	249 50.5	274 55.6	227 46.0	178 36.1	65 13.2	62 12.6	8 1.6	62 12.6	33 6.7		
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	723 100.0	453 62.7	399 55.2	313 43.3	294 40.7	115 15.9	111 15.4	6 0.8	77 10.7	35 4.8		
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	62 100.0	38 61.3	38 61.3	33 53.2	29 46.8	12 19.4	7 11.3	- -	3 4.8	4 6.5		
	子供との同居 (子供は65歳以上)	62 100.0	30 48.4	28 45.2	32 51.6	17 27.4	13 21.0	13 21.0	1 1.6	11 17.7	6 9.7		
	子供との同居 (子供は64歳以下)	504 100.0	299 59.3	277 55.0	221 43.8	205 40.7	81 16.1	85 16.9	6 1.2	55 10.9	28 5.6		
	その他	144 100.0	92 63.9	78 54.2	62 43.1	67 46.5	28 19.4	33 22.9	3 2.1	14 9.7	4 2.8		
	無回答	49 100.0	23 46.9	25 51.0	16 32.7	18 36.7	3 6.1	5 10.2	1 2.0	5 10.2	5 10.2		

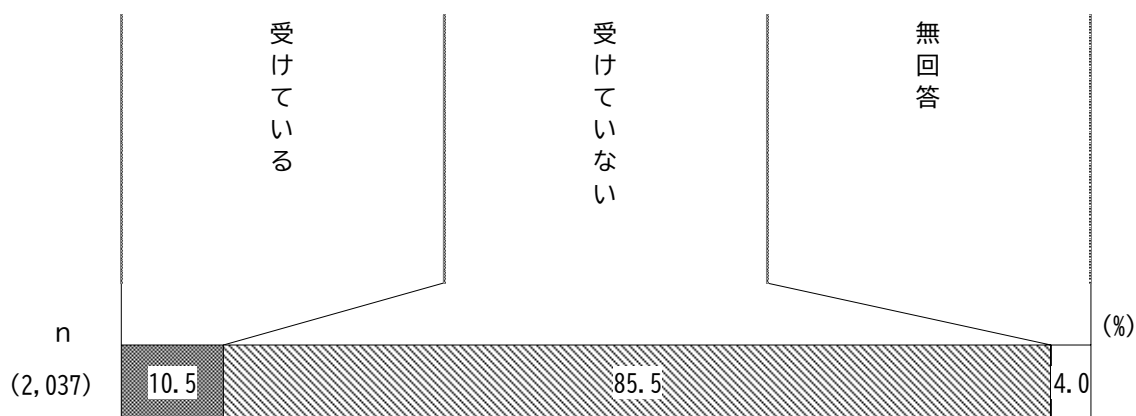
17. 家族介護について

(1) 家族からの介護の有無

問50 あなたは、日常生活であなたの家族からの介護を受けていますか。(○は1つ)

家族からの介護の有無は、「受けていない」が85.5%、「受けている」が10.5%となっている。

図表7-17-1 家族からの介護の有無



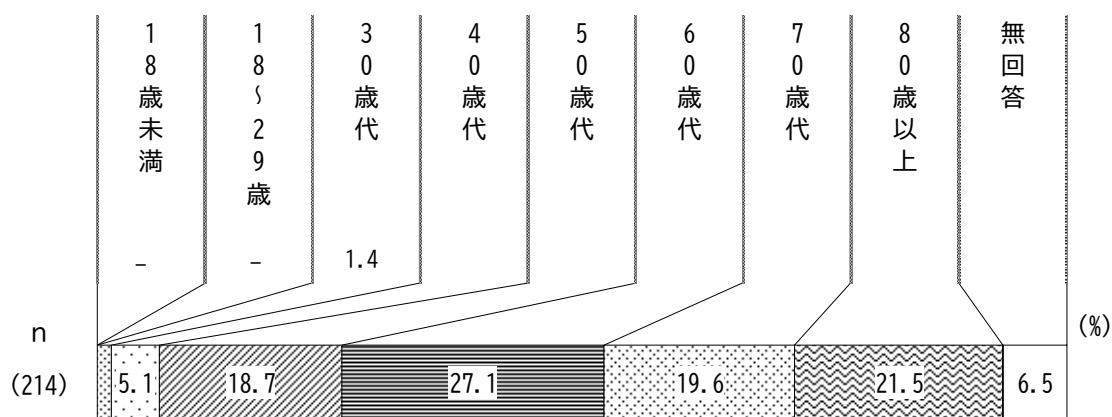
(2) 主な介護者の年齢

【問50で、「1. 受けている」と回答した方におたずねします。】

問51 主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の年齢は、「60歳代」が27.1%で最も高く、次いで「80歳以上」が21.5%、「70歳代」が19.6%となる一方、「50歳代」以下は25.2%となっている。

図表7-17-2 主な介護者の年齢



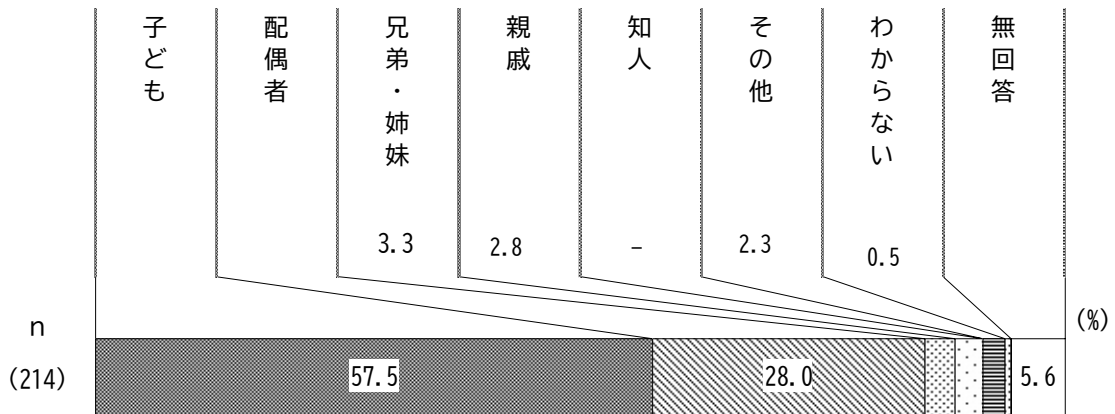
(3) 主な介護者との関係

【問50で、「1. 受けている」と回答した方におたずねします。】

問52 あなたと、主な介護者の方との関係はどれですか。(○は1つ)

主な介護者との関係は、「子ども」が57.5%で最も高く、次いで「配偶者」が28.0%、「兄弟・姉妹」が3.3%、「親戚」が2.8%となっている。

図表7-17-3 主な介護者との関係



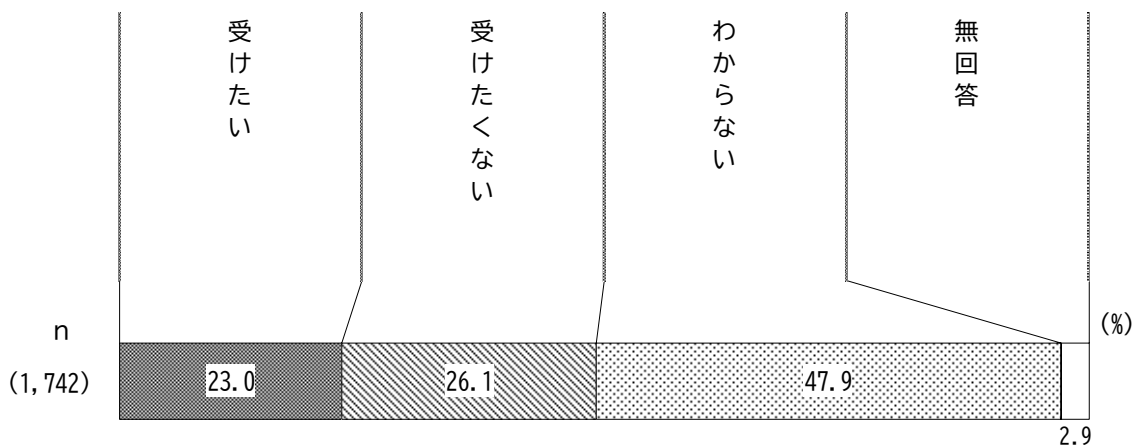
(4) 家族介護の希望

【問50で、「2. 受けていない」と回答した方におたずねします。】

問53 あなたは、今後、家族からの介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)

家族介護の希望は、「受けたい」が23.0%、「わからない」は47.9%となっている一方で「受けたくない」が26.1%となっている。

図表7-17-4 家族介護の希望



第7章 高齢者の生活に関する調査

性別で見ると、「受けたい」は男性が30.5%、女性が17.8%と男性が女性を12.7ポイント上回っている。

年齢別で見ると、男性では「80～84歳」以上の年齢で「受けたい」が4割以上となっている。女性ではすべての年齢で「わからない」が最も高くなっている。

図表7-17-5 家族介護の希望（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

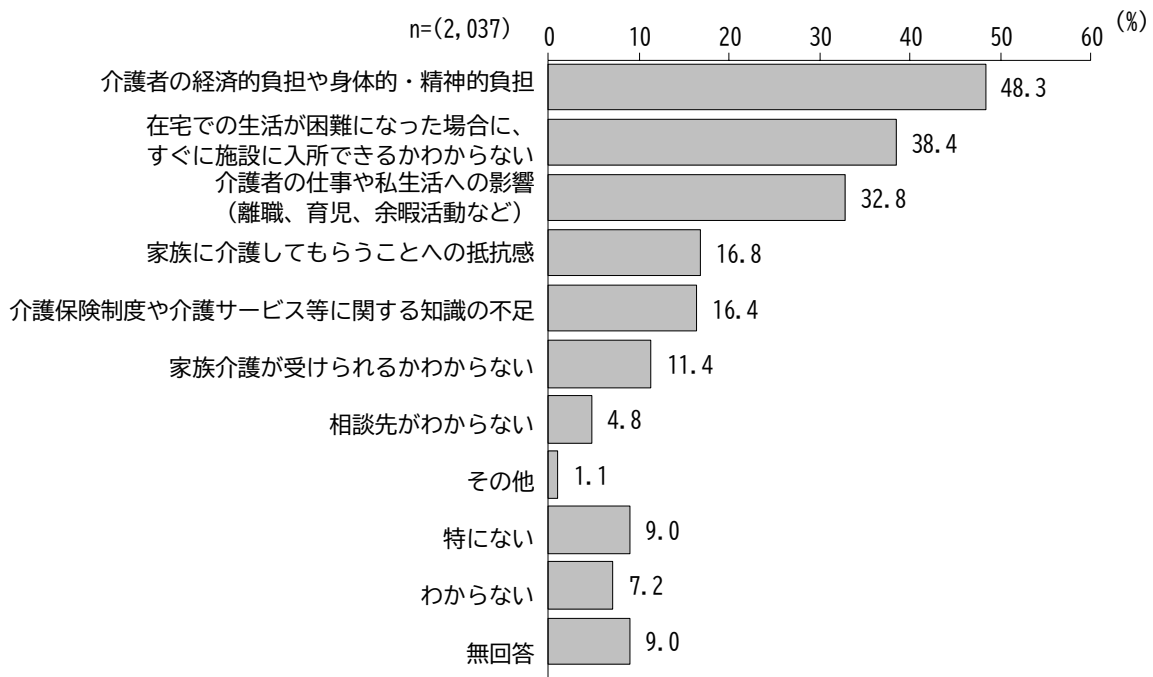
項目	調査数 (n)	受けたい	受けたくない	わからない	無回答	
全体	1,742 100.0	401 23.0	455 26.1	835 47.9	51 2.9	
性別・年齢別	男性全体	730 100.0	223 30.5	161 22.1	322 44.1	24 3.3
	男性 65～69歳	181 100.0	42 23.2	46 25.4	88 48.6	5 2.8
	男性 70～74歳	165 100.0	34 20.6	51 30.9	71 43.0	9 5.5
	男性 75～79歳	190 100.0	63 33.2	39 20.5	87 45.8	1 0.5
	男性 80～84歳	114 100.0	46 40.4	13 11.4	49 43.0	6 5.3
	男性 85～89歳	59 100.0	25 42.4	10 16.9	22 37.3	2 3.4
	男性 90歳以上	21 100.0	13 61.9	2 9.5	5 23.8	1 4.8
	女性全体	985 100.0	175 17.8	284 28.8	499 50.7	27 2.7
	女性 65～69歳	228 100.0	25 11.0	66 28.9	135 59.2	2 0.9
	女性 70～74歳	203 100.0	34 16.7	65 32.0	103 50.7	1 0.5
	女性 75～79歳	241 100.0	39 16.2	67 27.8	127 52.7	8 3.3
	女性 80～84歳	181 100.0	37 20.4	59 32.6	79 43.6	6 3.3
	女性 85～89歳	95 100.0	28 29.5	23 24.2	39 41.1	5 5.3
	女性 90歳以上	37 100.0	12 32.4	4 10.8	16 43.2	5 13.5
	無回答	27 100.0	3 11.1	10 37.0	14 51.9	- -

(5) 介護を受けながら現在の生活を継続するにあたっての不安

問54 家族介護を受けながら、現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安に感じるについてお答えください。(○は3つまで)

介護を受けながら現在の生活を継続するにあたっての不安は、「介護者の経済的負担や身体的・精神的負担」が48.3%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」が38.4%、「介護者の仕事や私生活への影響（離職、育児、余暇活動など）」が32.8%、「家族に介護してもらうことへの抵抗感」が16.8%となっている。

図表7-17-6 介護を受けながら現在の生活を継続するにあたっての不安（複数回答）

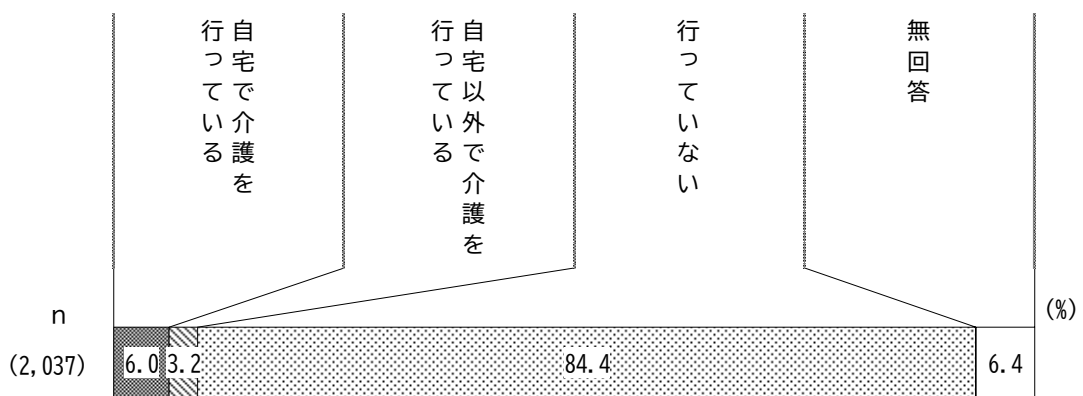


(6) 自宅・自宅以外でどなたかの介護を行っているか

問55 現在あなたは、自宅・自宅以外でどなたかの介護を行っていますか。(○は1つ)

自宅・自宅以外でどなたかの介護を行っているかは、「行っていない」が84.4%で最も高い一方で、「自宅で介護を行っている」が6.0%、「自宅以外で介護を行っている」が3.2%となっている。

図表7-17-7 自宅・自宅以外でどなたかの介護を行っているか

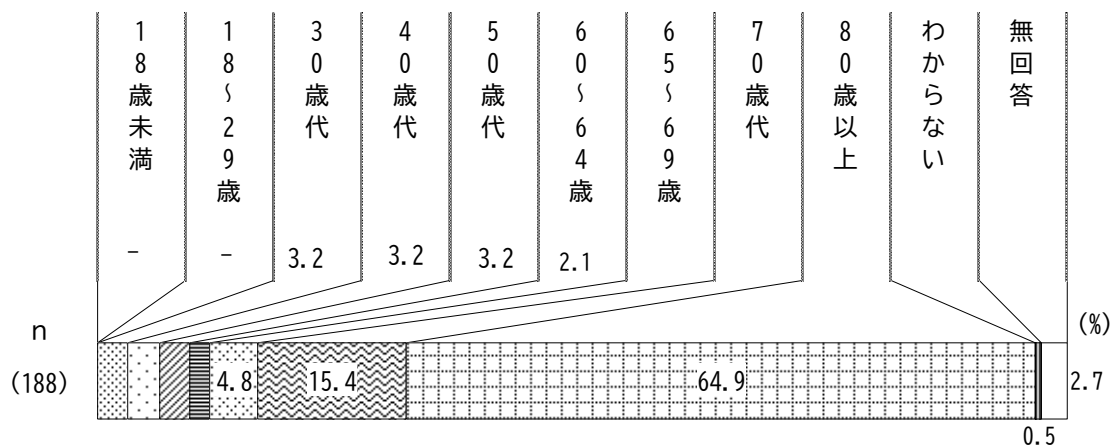


(7) 自分が介護を行っている方の年齢

【問55で「1」または「2」と回答した方におたずねします。】
 問56 あなたが介護を行っている方の年齢をお答えください。(○は1つ)

自分が介護を行っている方の年齢は、「80歳以上」が64.9%で最も高く、次いで「70歳代」が15.4%、「65～69歳」が4.8%である一方で、「60～64歳」以下の合計は11.7%となっている。

図表7-17-8 自分が介護を行っている方の年齢

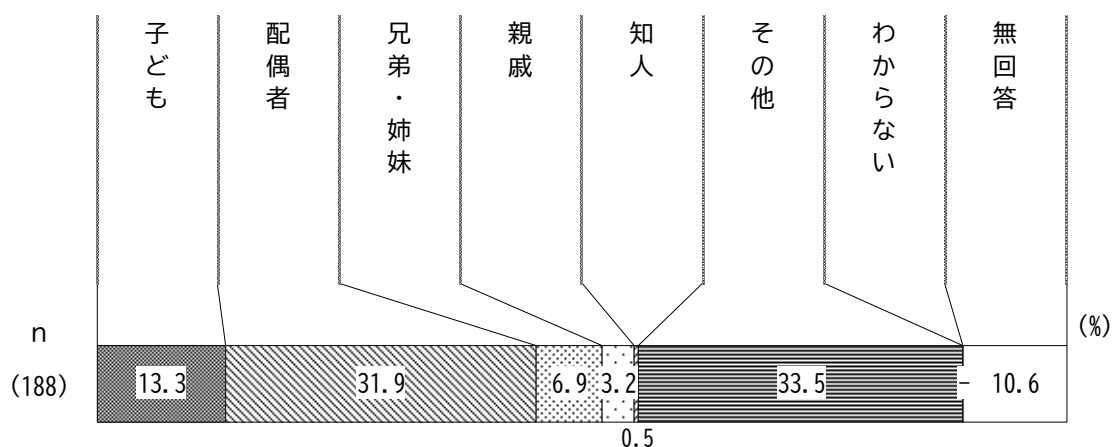


(8) 自分が介護を行っている方との関係

【問55で「1」または「2」と回答した方におたずねします。】
 問57 あなたが介護を行っている方の関係はどれですか。(○は1つ)

自分が介護を行っている方との関係は、「配偶者」が31.9%で最も高く、次いで「子ども」が13.3%、「兄弟・姉妹」が6.9%、「親戚」が3.2%となっている。

図表7-17-9 自分が介護を行っている方との関係



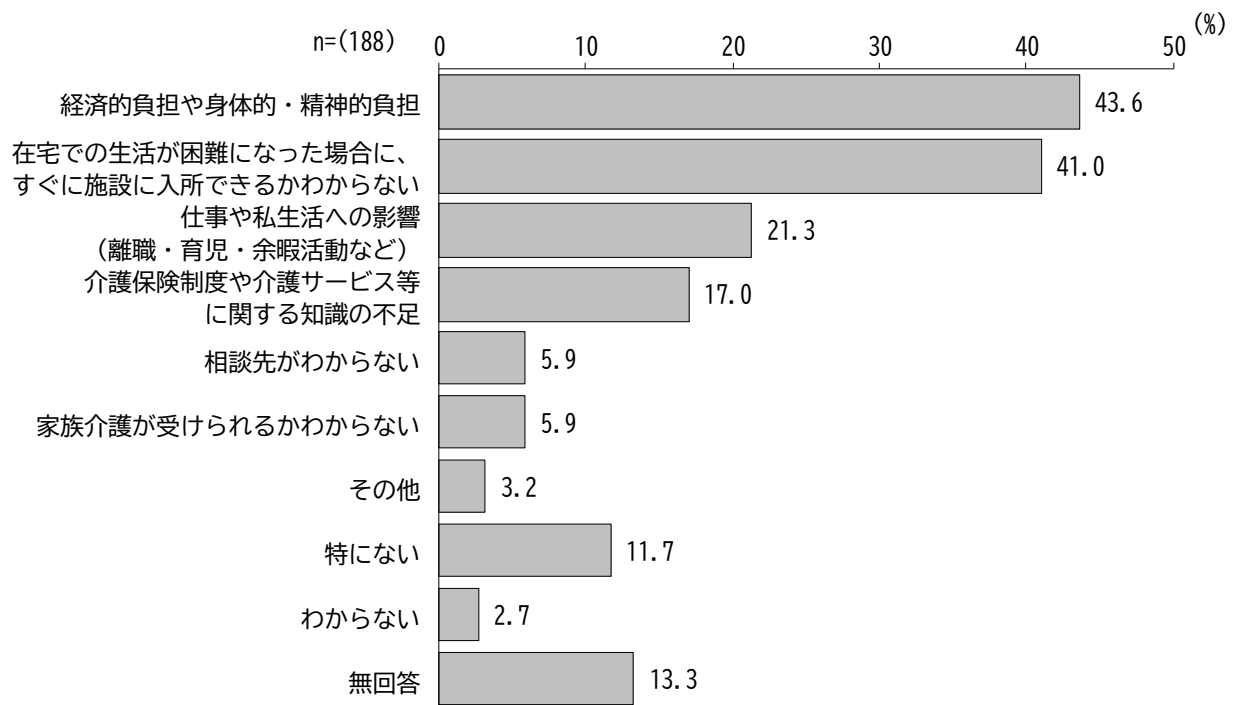
(9) 介護を行いながら現在の生活を継続していくにあたっての不安

【問55で「1」または「2」と回答した方におたずねします。】

問58 介護を行いながら、現在の生活を継続していくにあたり、あなたが不安に感じることに
ついてお答えください。(○は3つまで)

介護を行いながら現在の生活を継続していくにあたっての不安は、「経済的負担や身体的・精神的負担」が43.6%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難になった場合に、すぐに施設に入所できるかわからない」が41.0%、「仕事や私生活への影響（離職・育児・余暇活動など）」が21.3%、「介護保険制度や介護サービス等に関する知識の不足」が17.0%となっている。

図表7-17-10 介護を行いながら現在の生活を継続していくにあたっての不安
(複数回答)



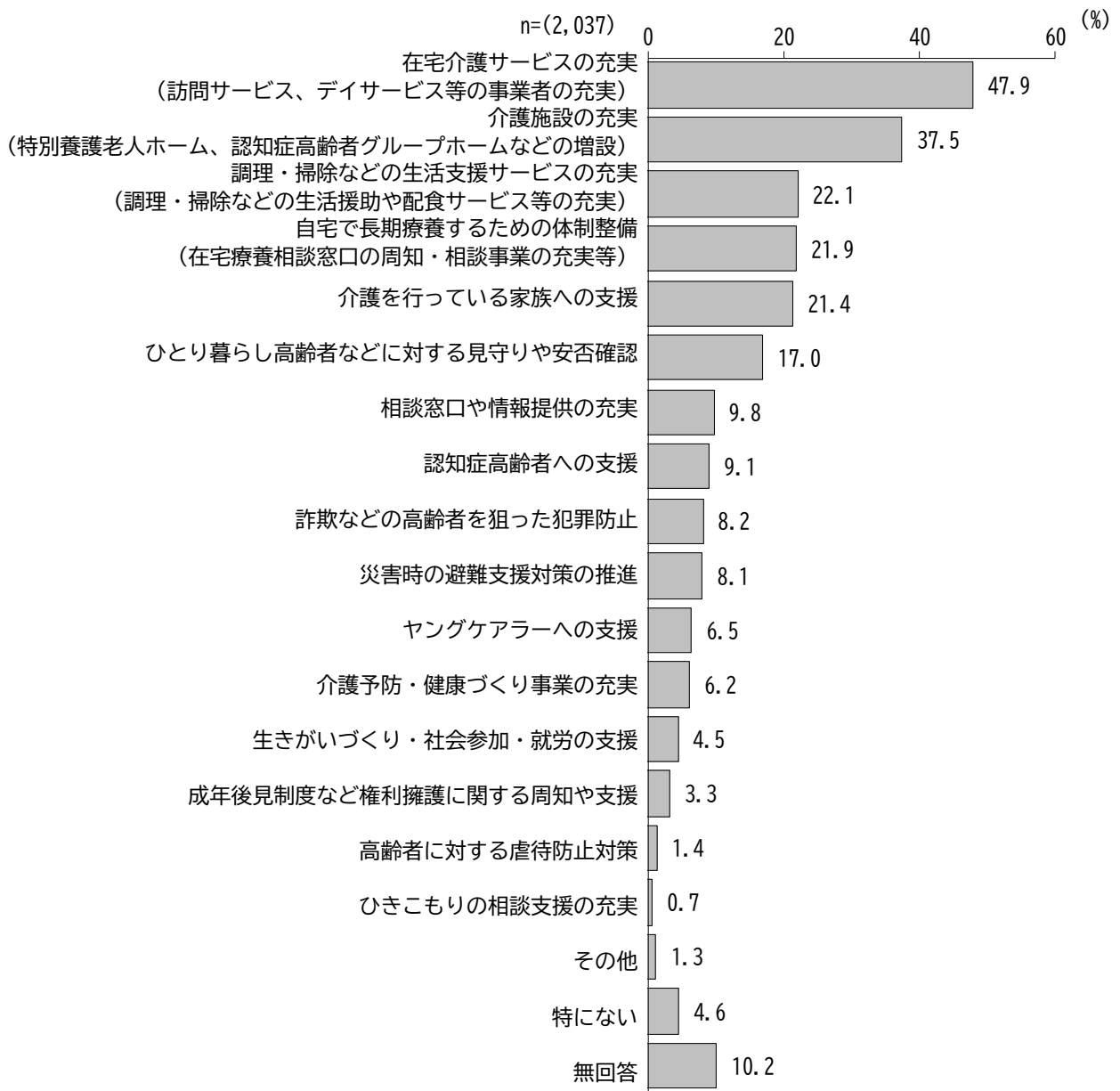
18. 高齢者施策全般について

(1) 高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うもの

問59 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものは、「在宅介護サービスの充実（訪問サービス、デイサービス等の事業者の充実）」が47.9%で最も高く、次いで「介護施設の充実（特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどの増設）」が37.5%、「調理・掃除などの生活支援サービスの充実（調理・掃除などの生活援助や配食サービス等の充実）」が22.1%、「自宅で長期療養するための体制整備（在宅療養相談窓口の周知・相談事業の充実等）」が21.9%となっている。

図表7-18-1 高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うもの（複数回答）



19. 自由意見

問60 目黒区の介護保険・高齢福祉行政に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

465名の方から寄せられた回答を、原文の文意が損なわれないように要約・抜粋して記載。

介護保険制度全般について

- 目黒は他区に比べて、より良い介護状況があると思いますし、現状実行しているように思われます。今後時代に適合した介護、福祉、行政の充実をより以上に前進させて下さい、お願い致します。
- 今は特に生活に困ることはないのですが、近々、お世話になる事と思い、保険やら、介護保険サービス等を勉強していきたいと思いました。
- 「いろいろと相談窓口があるようだ」と今回のアンケートで知りました。もっと広報誌等で高齢者でも分かるようにしてほしい。パソコン等が苦手な者としてペーパー等で知れることを望みます。
- 高齢者だけで生活している人で、支援が必要にもかかわらず支援部署がわからず連絡しない。又役所の支援は受けたくない人で家庭がメチャクチャな家もあると思うので、区の方で支援の依頼が無くても家庭を訪問し、状況を把握しておいた方が悪化させないためには良いのではないのでしょうか。
- 介護や老人福祉に対しての知識が足りないと思うので、それらがわかるように本人にも家族にも広めてもらいたい。自分から申請しなければサービスは受けられないのだろうか。みんなが均等に必要なサービスを受けられ、本当に必要な人に行き渡るようになれば良い。本人はもちろん、家族や介護者にも手を差しのべてもらえれば良いと思う。
- 区報の中に介護保険・高齢福祉施設に関するコーナーを設け、定期的に情報発信をしていただけると、今まで知らなかった事を知ることができるよい機会になると思う。例えば高齢者生活コーナー・CSWの利用の仕方…・ACPとは…・どんな介護サービスがあるか…・目黒区にある老人ホーム…等、毎回1、2個程度の情報発信が良いのですが…。
- 亡夫の自宅での療養時、介護する私自身も精神的に落ち込むことも多かったのですが、その折区の担当の方に温かく見守っていただきました。今も感謝しています。とにかく相談窓口の機能の充実が重要だと思います。温かい声かけと相談内容に対応する支援の充実、人員もお金もかかる大変な部署とは思いますが、ぜひ人材を育て、高齢者の生活を支えていただきたいと思います。
- 目黒区の介護保険、高齢福祉は年々整備されつつあると認識しておりますが、更なる認知症者のケアをしていただくよう希望致します。
- 90才以上になると誰でも独り立ちが出来なくて誰かに助けをもらいながら生きて行くのが普通だと思います。困った時にむずかしい制度をくどくどと説明されても、老人はついてゆけませんので。支援はペーパー記入でなくすばやく行動で生きる助けをして下さい。生活支援、緊急時避難等よろしくお願い致します。

- 現在は健康だが自分や配偶者に万一のことがあった場合すぐに手続きの手順、葬式などを相談できるアドバイザーが居ると良い。
- 一人になった時、日常のほんの些細な事、行政の手紙や意味、記入の仕方等、簡単に聞いたり、質問、教えてくれる気軽に行ける所があれば。
- 特別区は高い行政サービスを行っており、安心できます。IT化が進むことにより、高齢者が更に取り残されていく世の中なので、それとは別にアナログのサービスを併用していくことが今後も更に重要かと思います。(人的不足の問題もありますが…)安心安全の向上よろしくをお願いします。
- 要介護になったとき家事支援の中で負担が大きいのは食事だと思います。各家庭で買物から調理、片づけをヘルパーがやってゆくのは、介護保険としても大変だと思います。

社会保障について

- 子供の人数はもっと減少するでしょうから、子世代に介護をまかせる今の高齢福祉はいずれ立ち行かなくなるでしょう。どうぞ10年、20年先を見据えての対策をよろしくをお願いします。
- 老人問題改善の為にアンケート企画ありがとうございます。都営住宅では70～80代の人々が多く住んでいます。この様な方々が区内には多くいると思います。あと5年10年したら、日本、東京目黒区にとっての相当大きな課題となるでしょう。この問題を目黒区でも最優先して取り組んで頂きたいと思います。以上です。
- 社会的に困っている人を救済、支援するということは重要だと思います。他方、おんぶに抱っこ的な社会福祉は国民全体に過大な負担を掛けると共に、不適切であると思います。

施設サービス、住まいについて

- 介護施設でのボランティアを含む経験のチャンスを増やすしくみがあると両者にとって望ましいと思います。(介護する方、される方の気持ちがわかるので…)
- 人が足りてない為、施設で働く人の待遇を良くし、人を増やす。
- 今は何の問題もありませんが、数年後体調、認知に異常をきたした時が心配です。出来る限り家で暮らして、いざ施設へとなった時に入れるのかどうか。今は経済的に困っていませんが、その時何百万もかかる様では困ります。
- かつて、区の施設で介護老人ホームを利用してとても助かった。このようなサービスを充実させていただきたい。
- 介護施設での虐待などのニュースを聞くと大変恐ろしいです。介護者の待遇が今より良くなり質の高い介護者が施設などで従事される様になるといいのですが。

介護人材について

- 介護職は大変な仕事ですから、給与を上げてあげたり、人手不足にならないよう、取り組みをしっかりとさせていただきたいです。
- 30年以上前は、介護の仕組みは、今のようにありませんでした。高齢の家族がデイサービスを利用しながら基本ひとり暮らしで過ごしております。ケアマネジャーさんや介護士さん達にお世話になって本当に有難く感謝しております。
- 介護に関わる方々の所得面・精神面での充実、サポートについて配慮をお願いしたいと思います。(具体的には、適切な所得、過重労働の禁止、心理支援など。)福祉行政の前線で奮闘されている地方公務員の方々の尽力には大変感謝しております。
- 現在は二人共健康で生活していますが、この先介護が必要になった時安心して心穏やかな時が過ごせるにはヘルパー、訪問看護師の方々にお世話になると思います。是非給料を引き上げて欲しいです。働く方が生きがいを持って働く報酬をよろしく願います。
- ヘルパーの資格を持っていますが1度も使っていません。
- 数年前、母の介護をしておりました。その際、とても良いケアマネジャーのおかげで、充実した生活を送る事ができました。ケアマネジャーの配慮が、とても重要と思います。資格はもちろんの事、より良い介護が受けられるようお願いいたします。そっと手を差しのべられるよう、一人一人の気持ちが大切だと思います。
- 介護施設の充実を特に希望します。公的な施設が充実すれば、在宅介護の問題が、かなり低減されると思います。古くなったあるいは使わなくなった建物の改修で施設を増やして下さい。働き手の確保には外国人でもよいと思っています。
- 母が、以前介護保険でお世話になりました。その時に、とても良いケアマネジャーさんに出会いました。良い判断と行動力で、取り巻く家族まで、良い方向で介護出来ました。ケアマネジャーなど、専門職の育成がとても大事だと感じます。
- 団塊世代が80才に入ると、介護等のマンパワーが不足するのは目に見えております。2020年からのコロナ災禍により地域コミュニティの力は最低になっています。地域のコミュニティをアップする施策を検討すべきだと思います。
- 介護施設での虐待などのニュースを聞くと大変恐ろしいです。介護者の待遇が今より良くなり質の高い介護者が施設などで従事される様になるといいのですが。

将来への不安・悩みについて

- 私達は子供がいないので、夫婦どちらかが先に旅立ったら、残された方は天涯孤独になって孤独死になる確率が大の気がして不安です。区のどんな支援があるのか、どこに相談したらいいかずっと私は気になっていたもので、このタイミングでアンケートが来てビックリしました。これから少しずつ勉強して相談し、外との繋がりをもっていこうと思いました。
- 現在は特に問題なく仕事をして1人で生活していますが、将来働けなくなった時に、どうなるのか?が不安です。ご迷惑をおかけせずに生活をして行きたいと思って居りますが…将来お世話になるかもしれません。介護・福祉行政に関しての情報をどのように得るのか?それすらも良くわかって居りません。もっと身近に知る事が出来たら幸いです。宜しくお

願ひ致します。

- 将来起こるであろう大災害の時に、足手まといになるなど、避難所での生活に非常に不安を感じます。
- 目黒区で行っている施策、保険、福祉行政等深く知り得ていない状況です。今は自分で何にもかも行っているが、いざその時になってどうしたらよいか、多分解からないようになってしまうと思います。一人暮らしの生活ではこの先不安ばかりで、子供もいませんし、今のうちにやるべき事、福祉課からご指示でもありましたら幸いです。親族は地方にいる為、急を要した場合も不安に思います。
- 私含めて高齢者は今後ますます増加傾向にあります。私は現在、お陰様で健康であるが今後、いつかはお世話になるだろうと少しは不安があります。出来る限り健康に留意していきたいと思っています。

家族介護について

- 現在介護が必要な居住者や病人・認知症発症者の面倒を見ている方々の生の声を聞き、要望に最大限応える様な施策を実施してほしい。
- 介護や老人福祉に対する知識が足りないと思うので、それらがわかるように本人にも家族にも広めてもらいたい。自分から申請しなければサービスは受けられないのだろうか。みんなが均等に必要なサービスを受けられ、本当に必要な人に行き渡るようになれば良い。本人はもちろん、家族や介護者にも手を差しのべてもらえれば良いと思う。
- 介護者の休養を大切に考えてほしい。
- 介護者は心身共に無理をしてしまうので、気軽に相談できる窓口やストレスを発散できる場を作って欲しい。介護者にも手厚い支援は必要だと思う。
- 介護者を抱えた家族は精神的に辛くなることもあるので、相談にのっていただけで安心することができました

生きがい、社会参加

- 町内会など自治体の活動は、高齢者にとっても良い刺激になると思います。ぜひ活かして下さい。
- 目黒区に住んで、私は最高の人生を行っています。区の役所のみなさん、ありがとうございます。又、高齢福祉課いきがい支援係の方々には、大変お世話になっています。これからもいこいの家での楽しみを、毎日行っています。
- 介護される程でもない高齢者の家事支援やそれぞれの暮らしぶり等に合わせた「居場所」の設定等、気軽に利用出来る仕組を作っただけたらと思います。
- 散策や日帰り温泉などのツアーを計画してほしい。
- 今まで人の見守りや相談を受けて動いた自分が、今後は自分が介護を受けるか、まだ想像が付きません。地域の竹の子クラブを活発にしてほしい。
- 高齢者の集団は、気持ち下がります。年齢関係なく、幼児から高齢者まで集まるコミュニティなら参加したい。

- 65才～70才は高齢者とは云えないと思う。仕事がまだまだ出来る年令。
- 高齢所が楽しく遊べる場所があるといいです。老人会以外で…。
- 両親の介護をみながら、地域の方、ご近所の方との関わり（おつき合い）の大切さを思いました。高齢になってからではなく、もっと前からの関わり方が大事だと思います。さらにつきつめれば、日頃、地域に関わって協力的な方は、年を重ねても関わりを続けていけると思います。むしろそうでない方、地域の関わりがないまま過ごされている方に行政は何かしらの働きかけをしてほしいと思います。高齢になってからでは、関わりをスタートするのは、厳しいです。住んでいる場所でまずは近くの方たちとの関わりを行政がバックアップするきっかけづくりを提案します。

デジタル技術について

- 高齢福祉の現場でデジタル化は弱者を積み残すことになり、よほど慎重に進めていく必要がある。スマホやパソコンを持っていない、あるいは使えていない高齢者は相当数いるはず。その実態の把握に努めて行く必要があるのではないか。区職員は当たり前になっていることが高齢者にとっては当たり前ではないことを認識してほしい。
- 介護などの問題は、実際に自分や身近な家族に問題が起こらないと、どの様に対処して良いのか判らないことが多いと思います。現在も目黒区の介護サイトを活用していますが、今後も内容の充実を継続的に進めて頂きたいと思います。
- 未だお世話になる必要はありませんが、近い将来お世話になると思いますのでインターネットホームページでいろいろ教えていただけたら幸いです。

その他

- おかげさまで、今のところは介護等のお世話にはなっていませんが、この様なお質問をいただき、感謝です。日頃、あまり考えて過してきませんでしたので、良い機会を与えてくださったな、と思いました。ありがとうございます。
- 今、少しずつ終活に向かって動きつつあります。まだ介護を受けることに関しての心構えがなく、主人の介護はしてあげたいと思うのですが、自分となると考えられません。このアンケートで少し考えます。
- 目黒区の福祉行政に関し、当方はまあ満足している。問題は災害時の対応を充実して頂きたい。
- 孤独死した場合、その日のうちに発見できるよう、生きてるか確認できるシステムが必要。いくら終活してても死んで一週間見つけてもらえなければ意味ない。
- 介護ではなく死後の事等、家の整理等を少しずつしているつもりですが、日々の生活で未だ、時間が有ると思いなかなか出来てない。終活が大変むずかしい、と居ります。
- 生活に関する調査なので、項目がいろいろありましたがもう少し項目を絞っていただけた方が良いです。
- アンケートを実施してくださり、ありがとうございます。現在私は現役で仕事をしておりますが、近い（遠くない）将来のこととして、認識を新たにしました。

第7章 高齢者の生活に関する調査

- 団塊の世代です。この世代の高齢化は大問題だと思います。行政のサポートは大変だとは思いますが、宜しく御願ひ致します。
- 目黒区は高齢者に手あついが、もう少し若い世代や中年世代にも、考えてあげてほしい。
- 高齢になっても、生きることに不自由が生じて、人間としての尊厳がまもられ、幸せなくらしが実現するように、社会全体がサポートし合っているように、行政が良く聴き、よりそって、方策を講じてください。
- まだ介護は必要ないと思っていますがこのような調査があると自覚することができ、考えるタイミングを教えてくれるので何度（年に）かあれば良いと思う。情報も入るので良かったと思います。
- 高齢者福祉も必要だと思います。が、それ以上に、ヤングケアラー、若い夫婦、幼児等、将来を生きる方々に税金等を振り向けて下さい。
- 地域包括支援センターには大変お世話になり感謝しています。父の介護、入院に力添え頂きありがとうございました。